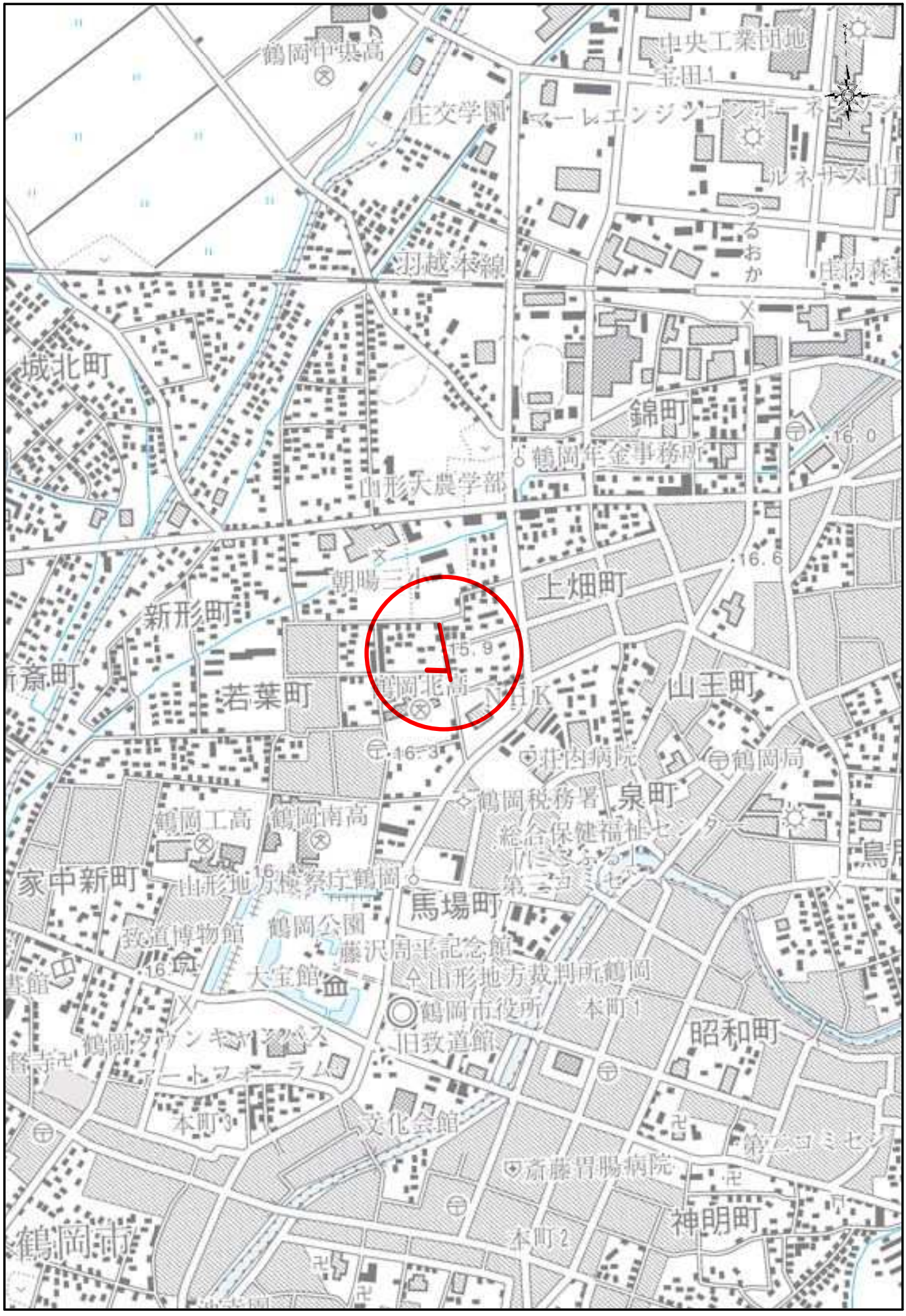
照 査 者	設 計 者

市 道 上 畑 町 若 葉 町 線　　道 路 改 良 工 事 設 計 書



北海道地図株式会社

0 100 200 300 400 500 m

1:10000

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の１地形図を使用した。（承認番号　平24情使、第244-30078号）」

工　事　番　号		施　工　年　度	令和８年度
工　事　名　称	市道上畑町若葉町線　道路改良工事		
工　事　場　所	鶴岡市上畑町・若葉町地内		
施　　工　　主	鶴岡市		
設　計　区　分	実施		
路　　線　　名	市道上畑町若葉町線		
工　事　期　間	令和　　年　　月　　日 ～ 令和　　年　　月　　日		
工　事　日　数	日		
部　　課　　名	土木課		
積　算　担　当	工務係		
合　　計　　額			
工　事　価　格			
消費税相当額			

工事概要

施工延長　L=137.6m

上畑町若葉町線　L=116m

防音側溝	B300*H300	L= 2.0m
勾配調整側溝	B500*600	L=11.0m
	B600*800	L= 7.0m
鉄筋工クリート水路	B600*800	L= 1.0m
遠心BOXカルバートφ500		L= 7.0m
φ700		L=10.0m
門型ボラード		N=10基

若葉町3号線　L=21.6m

防音側溝	B300*H300	L=18.0m
防音勾配調整	B300*H400	L= 4.0m

本　工　事　内　訳　書

工事区分	工　種	種　別	細　別	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要
本工事費	道路改良工事					週休２日 月単位	労務費　1.02	
	＜市道上畑町若葉町線＞				1			
	土工			式	1			
		土工		式	1			第　1号明細書
		残土処理工		式	1			第　2号明細書
	法面工			式	1			
		法面整形工		式	1			第　3号明細書
		防草コンクリート工		式	1			第　4号明細書
	排水工			式	1			
		作業土工		式	1			第　5号明細書
		水路工		式	1			第　6号明細書
		函渠工		式	1			第　7号明細書
		集水桝工		式	1			第　8号明細書

本　工　事　内　訳　書

工事区分	工　種	種　別	細　別	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要
	防護柵工			式	1			
		作業土工		式	1			第　9号明細書
		H型ボラード（対車両型）基礎工		式	1			第　10号明細書
		防護柵工	H型ボラード（対車両型）	式	1			第　11号明細書
	撤去工			式	1			
		撤去工		式	1			第　12号明細書
	構造物取壊し工			式	1			
		作業土工		式	1			第　13号明細書
		舗装版取壊し工		式	1			第　14号明細書
		構造物取壊し工	（無筋構造物）	式	1			第　15号明細書
		構造物取壊し工	（鉄筋構造物）	式	1			第　16号明細書
	舗装工			式	1			
		車道部舗装工		式	1			第　17号明細書

本　工　事　内　訳　書

工事区分	工　種	種　別	細　別	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要
		歩道部舗装工		式	1			第　18号明細書
		進入路工		式	1			第　19号明細書
		カラー舗装工	緑色	式	1			第　20号明細書
	区画線工			式	1			
		区画線工		式	1			第　21号明細書
	仮設工			式	1			
		水替え工		式	1			第　22号明細書
		交通管理工		式	1			第　23号明細書
	＜市道若葉町３号線＞				1			
	土工			式	1			
		土工		式	1			第　24号明細書
	排水工			式	1			
		作業土工		式	1			第　25号明細書

本　工　事　内　訳　書

工事区分	工　種	種　別	細　別	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要
		水路工		式	1			第　26号明細書
		側溝閉塞工		式	1			第　27号明細書
	舗装工			式	1			
		車道部舗装工		式	1			第　28号明細書
		コンクリート舗装工		式	1			第　29号明細書
	区画線工			式	1			
		区画線工		式	1			第　30号明細書
	構造物取壊し工			式	1			
		舗装版取壊し工		式	1			第　31号明細書
		構造物取壊し工	無筋構造物	式	1			第　32号明細書
		構造物取壊し工	鉄筋構造物	式	1			第　33号明細書
	撤去工			式	1			
		撤去工		式	1			第　34号明細書

本　工　事　内　訳　書

工事区分	工　種	種　別	細　別	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要
		規制標識工		式	1			第　35号明細書
	＜擁壁・フェンス工＞				1			
	擁壁工			式	1			
		小型重力式擁壁工		式	1			第　36号明細書
		フェンス工		式	1			第　37号明細書
		建設発生木材処分		式	1			第　38号明細書
	直接工事費計							
	共通仮設費計							
	共通仮設費			式	1			
	現場環境改善費			式	1			第　24号内訳書
	純工事費							
	現場管理費			式	1			
工事原価								

本　工　事　内　訳　書

工事区分	工　種	種　別	細　別	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要
	一般管理費		(契約保証費含む)	式	1			発注者が金銭的保証を必要とする
工事価格								
消費税相当額								
合計額								

間　接　工　事　明　細　書

設　計　条　件

工　　種	道路改良工事	工事日数(内冬日数		共通仮設費対象外額	
場所区分	市街地(DID補正)	週休２日工事	月単位	現場管理費対象外額	
前払い率	35%超え	支給品費		一般管理費対象外額	
契約保証区分	発注者が金銭的保証を必要とする	処分費		支給共仮費対象外額	
積雪寒冷地域	なし	処分除外費			

算　出　基　礎

※補正係数を乗じる場合は係数を乗じて、小数３位四捨五入２位止めとする。

共通仮設費 ＝ 対象額×率
＝　×　%
＝

対象額 ＝ 直接工事費＋支給品費＋事業損失防止施設費－共通仮設費対象外額－支給共仮費対象外額＋準備費処分費－処分除外費
＝　＋　＋　－　－　＋　－
＝

率 ＝ 対象額による率×地域補正係数×週休2日工事(月単位)補正
＝　%×　×
＝　%×　→　∴　%×　→　∴　%

対象額による率 ＝　%

現場環境改善費 ＝ 対象額×対象額による率
＝　×　%
＝

対象額 ＝ 直接工事費＋支給品費－共通仮設費対象外額－支給共仮費対象外額－処分費
＝　＋　－　－　－
＝

対象額による率 ＝　%

間　接　工　事　明　細　書

算　出　基　礎

現　場　管　理　費　＝　対象額×率
＝　　×　％
＝

対象額　＝　直接工事費＋共通仮設費＋支給品費＋支給品費(現)－現場管理費対象外額－支給現場費対象外額－処分除外費
＝　　＋　　＋　　＋　　－　　－　　－
＝

率　　＝　対象額による率×地域補正係数×週休2日工事(月単位)補正
＝　　％×　　×
＝　　％×　　→　　∴　％×　　→　　∴　％

対象額による率　＝　　％

一　般　管　理　費　＝　対象額×率＋対象額×契約保証補正値－調整額
＝　　×　％＋　　×　％－
＝

対象額　＝　工事原価－一般管理費対象外額－処分除外費＋一般管理補正額
＝　　－　　－　　＋
＝

率　　＝　対象額による率×前払補正
＝　　％×
＝　　％×　　→　　∴　％

対象額による率　＝　　％

第　1号　　1式当たり　　明細書

土工

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
掘削	バックホウ 小規模	m^3	0.2			第　1号単価表
計						

第　2号　　1式当たり　　明細書

残土処理工

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
残土運搬処理	小規模	m^3	0.2			第　2号単価表
計						

第　3号　　1式当たり　　明細書

法面整形工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
法面整形	切土部	㎡	7			第　3号単価表
計						

第　4号　　1式当たり　　明細書

防草コンクリート工

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
基面整正		㎡	3			第　4号単価表
基礎砕石	RC-80 t=100	㎡	3			第　5号単価表
型枠工	防草ｺﾝｸﾘｰﾄ	㎡	2			第　6号単価表
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設 防草ｺﾝｸﾘｰﾄ	人力打設 目地材設置有	㎡	8			第　7号単価表
計						

第　5号　　1式当たり　　明細書

作業土工

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
床堀	バックホウ 0.45㎥	㎥	90			第　8号単価表
埋戻工	バックホウ 0.45㎥	㎥	40			第　9号単価表
購入土　再利用土砂		㎥	50			第　10号単価表
残土運搬処理	バックホウ 0.45㎥	㎥	90			第　11号単価表
基面整正		㎡	43			第　12号単価表
計						

第　6号　　1式当たり　　明細書

水路工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
防音側溝	B300×H300×L2000　1000kg/個以下 基礎砕石	m	2			第　13号単価表
防音勾配調整側溝	B500×H600×L2000　1000kg/個以下 制約無,基礎砕石	m	11			第　14号単価表
自由勾配側溝　　(縦断用)	600×800×2000㎜	m	7			第　15号単価表
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄU型(落蓋式)	60×80×200cm(T-25t)	m	1			第　16号単価表
コンクリート蓋設置	防音側溝用　300用　(T-25)	枚	3			第　17号単価表
コンクリート蓋設置	防音側溝用　500用　(T-25)	枚	21			第　18号単価表
コンクリート蓋設置	側溝蓋(落蓋式U型用) 60cm用 (T-25 t)	枚	2			第　19号単価表
コンクリート蓋設置	自由勾配側溝用　　600用　(T-25)	枚	7			第　20号単価表
グレーチング蓋設置	防音側溝用　500用　(T-14)	枚	1			第　21号単価表
計						

第　7号　　1式当たり　　明細書

函渠工

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
遠心ボックスカルバート設置	Ⅰ型 φ500×L2400　1440kg/本	m	7			第　22号単価表
遠心ボックスカルバート設置	Ⅰ型 φ700×L2400　2590kg/本	m	10			第　23号単価表
計						

第　8号　　1式当たり　　明細書

集水桝工

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
第2号集水桝		式	1			第　39号明細書
第3号集水桝		式	1			第　40号明細書
集水桝工	プレキャスト集水桝	式	1			第　41号明細書
計						

第　9号　　1式当たり　　明細書

作業土工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
床堀	バックホウ 0.45㎥	㎥	10			第　24号単価表
埋戻工	バックホウ 0.45㎥	㎥	10			第　25号単価表
購入土	再利用土砂	㎥	10			第　26号単価表
残土運搬処理	バックホウ 0.45㎥	㎥	10			第　27号単価表
基面整正		㎡	5			第　28号単価表
計						

第　10号　　1式当たり　　明細書

H型ボラード（対車両型）基礎工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
H型ボラード基礎設置	400×400×500	基	20			第　29号単価表
計						

第　11号　　1式当たり　　明細書

防護柵工

H型ボラード（対車両型）

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
H型ボラード設置	コンクリート基礎式　二重管　無	本	10			第　30号単価表
計						

第　12号　　1式当たり　　明細書

撤去工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ撤去工（土中建込､耐雪型）	Gr-A3･B3･C2-3E	m	8			第　31号単価表
ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ設置工（土中建込､耐雪型）	塗装品 Gr-C2-3E､直線部,手間のみ	m	8			第　32号単価表
ガードパイプ撤去工	門型 支柱間隔3m	m	15			第　33号単価表
スクラップ	ヘビーH2	t	0.15			第　34号単価表
現場発生品運搬		t	0.15			第　35号単価表
カーブミラー撤去再設置		箇所	1			第　36号単価表
計						

第　13号　　1式当たり　　明細書

作業土工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
床堀	バックホウ 0.45㎥	㎥	10			第　37号単価表
埋戻し	バックホウ 0.45㎥	㎥	7			第　38号単価表
購入土	再利用土砂	㎥	9			第　39号単価表
残土運搬処理	バックホウ 0.45㎥	㎥	10			第　40号単価表
計						

第　14号　　1式当たり　　明細書

舗装版取壊し工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	m	18			第　41号単価表
舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	㎡	771			第　42号単価表
殻運搬処理	アスファルト殻	㎥	37			第　43号単価表
計						

第　15号　　1式当たり　　明細書

構造物取壊し工

（無筋構造物）

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
構造物とりこわし工(機械施工) 昼間	無筋構造物 制約無,低騒音・低振動対策不要	m^3	5			第　44号単価表
殻運搬処理	コンクリート殻　無筋構造物	m^3	5			第　45号単価表
計						

第　16号　　1式当たり　　明細書

構造物取壊し工

（鉄筋構造物）

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
構造物とりこわし工(機械施工) 昼間	鉄筋構造物 制約無,低騒音・低振動対策不要	m^3	2			第　46号単価表
殻運搬処理	コンクリート殻　鉄筋構造物	m^3	2			第　47号単価表
計						

第　17号　　1式当たり　　明細書

車道部舗装工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
不陸整正	粒調砕石　M-40 t=2cm	㎡	635			第　48号単価表
下層路盤工	RC-40　t =20ｃｍ	㎡	26			第　49号単価表
上層路盤工	M-40　t =8ｃｍ	㎡	37			第　50号単価表
表層工	再生密粒度As(13F)　t =5ｃｍ	㎡	660			第　51号単価表
計						

第　18号　　1式当たり　　明細書

歩道部舗装工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
不陸整正			50			第　52号単価表
路盤	RC-40 t=10cm	㎡	10			第　53号単価表
表層	再生細粒度As(13) t=3cm	㎡	86			第　54号単価表
計						

第　19号　　1式当たり　　明細書

進入路工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
下層路盤工	RC-40　t=15ｃｍ	㎡	2			第　55号単価表
上層路盤工	M-40　t=10ｃｍ	㎡	3			第　56号単価表
表層工	再生密粒度As(13F)　t=5cm	㎡	36			第　57号単価表
計						

第　20号　　1式当たり　　明細書

カラー舗装工

緑色

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
再加熱式舗装	アートフレーム工法参考（型押し無）	㎡	210			第　58号単価表
計						

第　21号　　1式当たり　　明細書

区画線工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
区画線工 ﾍﾟｲﾝﾄ式(車載式) 昼間 豪雪補正無	実線 15cm 制約無,供用区間	m	236			第　59号単価表
区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正無	実線 15cm 制約無,排水性舗装でない,供用区間	m	8			第　60号単価表
計						

第　22号　　1式当たり　　明細書

水替え工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
ﾎﾟﾝﾌﾟ設置･撤去		箇所	2			第　61号単価表
ﾎﾟﾝﾌﾟ運転工(作業時)	0≦排水量＜120㎥/h,全揚程10m	日				第　62号単価表
計						

第　23号　　1式当たり　　明細書

交通管理工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
交通誘導警備員	交通誘導警備員Ｂ	人	99			第　63号単価表
計						

第　24号　　1式当たり　　明細書

土工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
掘削工		㎥	60			第　64号単価表
床掘	バックホウ　0.80㎥	㎥	20			第　65号単価表
埋戻工		㎥	20			第　66号単価表
残土運搬処理	運搬・整地	㎥	60			第　67号単価表
計						

第　25号　　1式当たり　　明細書

作業土工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
床掘		㎥	3			第　68号単価表
埋戻し		㎥	5			第　69号単価表
残土運搬処理	運搬・整地	㎥	0.4			第　70号単価表
基面整正		㎡	11			第　71号単価表
計						

第　26号　　1式当たり　　明細書

水路工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
防音側溝設置工（L=2000㎜）昼間	B300×H300×L2000	m	18			第　72号単価表
防音勾配調整側溝設置工 T-25	B300×H400×L2000	m	4			第　73号単価表
勾配調整コンクリート	21-8-25	㎥	0.06			第　74号単価表
防音側溝用ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋	300用　(T-25)	枚	42			第　75号単価表
防音側溝用ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ	300用　(T-25)	枚	2			第　76号単価表
計						

第　27号　　1式当たり　　明細書

側溝閉塞工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
型枠	一般型枠	㎡	0.4			第　77号単価表
コンクリート	18-8-40	㎥	0.04			第　78号単価表
計						

第　28号　　1式当たり　　明細書

車道部舗装工

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
不陸整正	粒調砕石 M-40 t=2cm	㎡	65			第　79号単価表
下層路盤工	RC-40　t =20cm	㎡	58			第　80号単価表
上層路盤工	M-40　t =8cm	㎡	74			第　81号単価表
表層工	再生密粒度アスコン(13Ｆ) t=5cm	㎡	137			第　82号単価表
計						

第　29号　　1式当たり　　明細書

コンクリート舗装工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
路盤工	RC-40 t=10cm	㎡	5			第　83号単価表
表層工(コンクリート)	21-8-25 t=15cm	㎥	1			第　84号単価表
計						

第　30号　　1式当たり　　明細書

区画線工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
区画線工 ﾍﾟｲﾝﾄ式(車載式) 昼間 豪雪補正有,	実線 15cm 制約無,供用区間	m	44			第　85号単価表
計						

第　31号　　1式当たり　　明細書

舗装版取壊し工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
舗装版切断	アスファルト舗装版　ｔ=15ｃｍ以下	m	6			第　86号単価表
舗装版取壊し	15cm以下	㎡	81			第　87号単価表
殻運搬処理	アスファルト殻	㎥	8			第　88号単価表
計						

第　32号　　1式当たり　　明細書

構造物取壊し工

無筋構造物

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
コンクリート取壊し	無筋構造物	㎥	1			第　89号単価表
殻運搬処理	コンクリート殻　無筋構造物	㎥	1			第　90号単価表
計						

第　33号　　1式当たり　　明細書

構造物取壊し工

鉄筋構造物

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
構造物とりこわし工(機械施工) 昼間	鉄筋構造物 制約無,低騒音・低振動対策不要	m^3	8			第　91号単価表
殻運搬処理	コンクリート殻　鉄筋構造物	m^3	8			第　92号単価表
計						

第　34号　　1式当たり　　明細書

撤去工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
フェンス撤去	H=800㎜	m	21			第　93号単価表
スクラップ	アルミ　込みガラ	t	0.2			第　94号単価表
現場発生品運搬		t	0.2			第　95号単価表
計						

第　35号　　1式当たり　　明細書

規制標識工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
標識柱･基礎撤去工（路側式､単柱式）	φ60.5～φ101.6	基	1			第　96号単価表
標識柱･基礎設置工（路側式､単柱式）	φ60.5（下地亜鉛ﾒｯｷ+静電粉体塗装白色),手間のみ	基	1			第　97号単価表
計						

第　36号　　1式当たり　　明細書

小型重力式擁壁工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
基面整正		㎡	18			第　98号単価表
小型重力式擁壁	18-8-40	㎥	9			第　99号単価表
目地板	瀝青繊維質　t=10㎜	㎡	1			第 100号単価表
計						

第　37号　　1式当たり　　明細書

フェンス工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
フェンス設置	H=800㎜	m	19			第 101号単価表
計						

第　38号　　1式当たり　　明細書

建設発生木材処分

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
現場発生木材運搬処理		t	1			第 102号単価表
計						

第　39号　　1式当たり　　明細書

第2号集水桝

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
現場打ち集水桝	700×700×800	箇所	1			第 103号単価表
桝蓋設置工	グレーチング蓋 700×700用 T-14t	枚	1			第 104号単価表
調整コンクリート	18-8-40	m^3	0.03			第 105号単価表
計						

第　40号　　1式当たり　　明細書

第3号集水桝

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
現場打ち集水桝	900×900×700	箇所	1			第 106号単価表
桝蓋設置工	グレーチング蓋 900×900用 T-14t	枚	1			第 107号単価表
調整コンクリート	18-8-40	m^3	0.04			第 108号単価表
計						

第　41号　　1式当たり　　明細書

集水桝工

プレキャスト集水桝

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
プレキャスト集水桝(第2-1号～第2-3号集水桝)	800×800×1000	基	3			第 109号単価表
正方形桝蓋設置	800×800用 T-25	枚	3			第 110号単価表
調整コンクリート	18-8-40	m^3	0.24			第 111号単価表
計						

鶴岡市建設部土木課

土木工事特記仕様書

市道上畑町若葉町線道路改良工事

1. 共通仕様書の適用

本工事の施工にあたっては、「山形県県土整備部制定共通仕様書（土木工事共通仕様書、土木工事施工管理基準及び規格値、参考資料）令和８年４月」にもとづき実施しなければならない。

仕様書の記載内容の優先は「特記仕様書」、「共通特記仕様書」、「共通仕様書」の順とする。

なお、令和８年４月以降に一部改訂された内容は以下のホームページに掲載されているので、最新版を適用するものとする。

※共通仕様書の一部改訂内容は以下ページから確認できます。

（http://www.pref.yamagata.jp）

→ 県政情報

→ 山形県の紹介

→ 組織案内

→ 県土整備部

→ 建設企画課

→ 共通仕様書（土木工事）

2. 共通仕様書に対する特記事項

共通仕様書に対する特記仕様事項は次のとおりとする。

第1編 共通編

第1章 総則

~~1－1．余裕期間制度~~

~~1－2．監理技術者の専任義務の緩和に係る取扱い~~

1－3．工事種別

工事種別は、一般土木工事（道路改良工事）とする。

1－4．工事の下請け

受注者は、下請け契約の請負金額によらず工事の一部を下請負に付する場合は、下請計画（変更）報告書、下請け業者一覧表及び当該工事に係る下請け契約書の写しを提出しなければならない。また施工体制台帳及び体系図を作成し、速やかに監督職員に提出しなければならない。

なお、下請計画（変更）報告書が提出されずに下請負業者が施工している場合は、工事の一時中止を命じる場合もありうる。

１－５．技術者の専任期間

1. 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、落札決定後、監督職員との協議により定める。
2. 工事完成後、検査が終了し、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。

~~１－６．舗装技術者の配置~~

~~１－７．鋼橋塗装技能士の配置~~

１－８．標準断面での発注

標準断面で発注された工事は現況を測量し、側溝（水路）縦断計画及び舗装面積の展開図等の施工図を作成し、監督職員と協議の上、承諾を得ること。監督職員の承諾を得る前に、工事着工している場合は、工事の一時中止及び改造を命じる場合もありうる。なお、承諾の回答には、発注者側での検討があるため、1週間程度見込むこと。

また、計画時には路面排水を考慮するとともに、上下流の側溝勾配等を必ず調査し、流入、流出先の排水路等も調査すること。

１－９．設計変更の手続き

設計変更については、建設工事請負契約約款及び土木工事共通仕様書によるところであるが、その基本的な考え方や手続きについては、「土木工事施工円滑化関係集（令和7年2月改訂）山形県土木工事施工円滑化推進会議」の第1章「設計変更ガイドライン」及び第3章「工事一時中止に係るガイドライン」によるものする。

１－１０．揚重作業機械について

揚重作業機械は、クレーン車又はクレーン機能付バックホーを標準とする。やむを得ず、その他の機械を使用する場合は、書面により監督職員の承諾を得ること。

１－１１．沿線住民への周知

工事着工前に施工個所を示した住宅地図を添付した工事のお知らせを作成し、監督職員の承諾後に地元の町内会長と沿線住民に配布すること。また、全面通行止めで施工を行う際には、前もって予告看板等を設置し周知を図るとともに、関係機関（幼稚園、保育園、デイサービス等）に通知すること。

１－１２．官民境界

工事着工前には、境界立会を実施することを原則とする。側溝を設置する場合には、官民境界に設置すること。やむを得ず境界に設置できない場合は、監督職員の承諾と地権者又は住民の了解を得て側溝を設置し境界杭（境界プレート）等で、官民境界を明示すること。境界杭等設置後は、その記録を監督職員に提出すること。

1－13．工事支障物件について

1．地下埋設物等

(1) 現況測量時に周囲の状況（電力、NTTなどの架空電線）を確認し、埋設物に関しては、必ず地下埋設物証明申請書兼証明書により確認すること。

(2) 必要に応じて試掘を行い、地下埋設物等の種類、位置等を調査し地下埋設物等との離隔を、図面及び写真等により監督員に報告すること。

(3) (2)の結果、施工に支障する場合、監督員より地下埋設物等の施設管理者へ移設依頼し、施設管理者の支障物件移設工事完了後、本工事に着手すること。

2．施工にともなって支障となる物件（公共汚水桝、量水器など）が判明した場合は、設計図書に関して、すみやかに監督員と協議しなければならない。

1－14．工事現場発生品（工事現場再使用品）

従来施設の撤去により発生した二次製品等については、監督職員と処理方法及び数量確認について協議を行うこと。協議内容について工事打合簿により記録し提出すること。

1－15．建設副産物関係

1．本工事により発生する特定建設資材廃棄物（コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材）は、再資源化施設に搬出するものとする。特に、下記に示す特定建設資材廃棄物の搬出先はそれぞれ次の条件も満たすものとする。

【コンクリート塊】

規格品の再生クラッシャーラン（RC-40）として再資源化している再資源化施設

【アスファルト塊】

再生加熱アスファルト混合物の原材料として再利用している再資源化施設（アスファルトプラントでなくても、そのアスファルト塊が、最終的に再生加熱アスファルト混合物として利用されることが確認できる施設でも可）

2．建設リサイクル法第6条に規定する「建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用の適正な負担」に基づき、条件明示する特定建設資材廃棄物の搬出施設は、下記のとおりである。なお、搬出完了後、産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督職員から請求があった場合は提示しなければならない。

【コンクリート塊】

設計	①受入場所	②再資源化施設名	③受入時間
	鶴岡市西目字山田森 28-1	小野寺建設㈱	8:00～17:00
○	鶴岡市斎藤川原字石川端 77-1	田川砂利工業㈱	8:00～17:00
	鶴岡市勝福寺字根木瀞 158-1	鶴岡建設㈱	8:00～17:00
	鶴岡市大字馬町宮ノ腰 115	㈱三浦土建	8:00～17:00
	鶴岡市藤島字西細杖 262-2	日本海ｱｽｺﾝ共同企業体	8:00～17:00
	鶴岡市柳久瀬字武良免 17-7	㈱青木建材	8:00～17:00
	鶴岡市田代字広瀬 16-2	㈱渡会電機土木	8:00～17:00

【アスファルト塊】

設計	①受入場所	②再資源化施設名	③受入時間
○	鶴岡市勝福寺字根木瀞 158-1	鶴岡建設㈱	8:00～17:00
	鶴岡市藤島字西細杖 262-2	日本海ｱｽｺﾝ共同企業体	8:00～17:00

【舗装版切断時に発生する濁水】

設計	①受入場所	②再資源化施設名	③受入時間
○	東田川郡庄内町堤興屋字中島 38	㈱安藤組	8:00～17:00

3. 受注者は、自らの都合により、前項の条件明示事項と別の方法等による場合においては、土木工事共通特記仕様書第1編共通編1－1－12建設副産物第2項に規定する契約前の説明において説明を行うものとする。なお、この場合において、搬出予定の再資源化施設が第1項に規定する条件を満たすことを証する書類等の提出を求められた場合は、速やかにこれを提出しなければならない。また、この場合であっても、設計図書の変更は行わないものとする。
4. 受注者は、建設リサイクル法第18条第1項の規定により、特定建設資材（コンクリート、アスファルト、木材）廃棄物の再資源化等が完了した場合、共通仕様書で定める建設廃棄物処理結果報告書に特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用を追記し、監督職員に提出しなければならない。
5. 受注者は、建設資材（コンクリート、コンクリート及び鉄からなる建設資材、木材、アスファルト混合物、土砂、砕石等）を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、「再生資源利用計画書」を施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、法令に基づき、「再生資源利用計画書」を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
6. 受注者は、建設副産物（コンクリート塊、建設発生木材、アスファルトコンクリート塊、建設汚泥、建設混合廃棄物、金属くず、廃プラスチック、建設発生土等）を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、「再生資源利用促進計画書」を施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、法令に基づき、「再生資源利用促進計画書」を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
7. 受注者は、再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成した場合には、工事完了後速やかに、実施状況を記録した「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進実施書」を監督職員に提出しなければならない。
8. 土木共通特記仕様書第1編共通編1－1－11建設副産物第4項に規定する再生資源利用計画書（実施書）及び再生資源利用促進計画書（実施書）作成は、「コブリス・プラス」（（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）Web版入力システム） により行う。なお、システムの操作に要する費用は、共通仮設費率分（技術管理費）に含まれている。

1－16．履行報告

受注者は、当初の請負代金が1件1，000万円以上の工事については、毎月の履行状況を工事履行報告書（鶴岡市，様式第10号の3）により監督職員に提出しなければならない。

1－17．前金払について

1．中間前金払

契約約款第36条第3項に基づき中間前払金の支払を請求しようとするときは、あらかじめ、中間前金払認定請求書（鶴岡市，様式第10号の2）に、監督職員の確認を受けた直近の工事履行報告書（鶴岡市，様式第10号の3）の写しを添えて提出するものとする。

1－18．工事名標示板に関する事項（安全確保関係）

工事名標示板に記載する、工事の種類及び工事内容の説明は次のとおりとする。なお、本工事は道路工事であることから、工事名看板記載の「工事期間」は交通上支障を与える実際の期間とする。

工事の種類	（例）道路改良工事中
工事内容の説明	（例）交通安全対策を行っています。

1－19．交通安全に関する事項（交通安全管理関係）

1．施工方法

本工事の施工にあたっては、片側交互通行により施工するものとする。

2．交通誘導員の配置

交通管理に要する交通誘導員の配置計画は任意とする。なお、交通管理者との協議により配置計画について条件が付された場合には、設計図書に関して監督職員と協議しなければならない。本工事では、工事期間中の交通整理として、交通整理員 99 名を計上している。

1－20．事業損失に関する事項（環境対策関係）

1．施工途中において、工事騒音、振動、地下水低下等の影響により、調査及び対策の必要が生じた場合は、監督職員と協議しなければならない。

2．工事の施工に伴い、騒音振動の測定が必要になった場合は、監督職員と協議しなければならない。

1－21．他工事との関連事項について（工程関係）

1．別途発注の他工事について、本工事の施工に際して支障が生じた場合は、監督職員と協議しなければならない。

1－22．施工時期、時間、施工方法に関する事項（工程関係）

1．本工事の作業時間帯は、8：30～17：00とする。なお、受注者は、関係機関等との調整の結果、作業時間帯に変更が生じた場合は作業時間帯に関して、速やかに監督職員と協議しなければならない。

2．工期には雨休率0．83※を見込んでいる。

※施工に必要な日数に対し、土日・祝日・年末年始休暇（6日）夏季休暇（3日）を休日とした日数及び天候による作業不能日（1日の降雨・降雪量10㎜/日以上及び8時～17時までのWGBT値31以上の時間を合計して換算した日数（過去5年平均））を見込むための係数

1－23．災害時の協力体制

1. 緊急巡回

(1) 緊急巡回とは、台風、豪雨、豪雪、地震等により、工事現場において災害が発生した場合又はそのおそれがある場合にその状況を把握し、適切な措置を講じるもので、監督職員の指示により巡回を行うものである。

(2) 緊急巡回担当者は、工事現場の異常等を発見した場合には、速やかにその危険を防止するため、その場でとりうる適切な措置を講ずるとともにその状況について、監督職員に報告するものとする。

(3) 緊急巡回にあたっては、写真撮影をし、日時及びその状況を記録しておくものとする。

(4) 緊急巡回中に事故が発生したときは、速やかにその状況を監督職員に報告しなければならない。

2. 災害時の協力体制と緊急時の諸作業

工事現場が災害等で被災した場合に備え、協力体制を確立するとともに、指示があった場合は、被害を最小限に抑えるため、緊急時における諸作業を実施する。

3. 緊急巡回及び緊急時の諸作業に関する詳細については、発注者・受注者双方の協議により行うものとする。

1－24．事故報告

1. 受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、第1報を直ちに監督職員へ電話にて通報するとともに、通報後速やかに工事事故報告書（山形県、参考様式5）を FAX、又は E-Mail により提出しなければならない。

2. 報告する事故の分類は、当該建設工事現場に関係する「労働災害」、「もらい事故」、「死傷公衆災害」、「物損公衆災害」とし、事故の規模を問わず、すべて報告すること。

3. 工事事故報告書様式は、以下のホームページに掲載している。

山形県のホームページ（http://www.pref.yamagata.jp）

→ 県政情報

→ 山形県の紹介

→ 組織案内

→ 県土整備部

→ 建設企画課

→ 共通仕様書（土木工事）

1－25．工事写真に関する事項

1. 工事完成後、完成写真のデータを監督職員に提出すること。データの形式は、監督職員と協議すること。

2. 工事写真のデータは、監督職員の指示により提出を求める場合もありうる。

1－26．デジタル工事写真の小黒板情報電子化について

デジタル工事写真の小黒板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における小黒板の記載情報の電子的記入および、工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図る

ものである。

本工事でデジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得たうえでデジタル工事写真の小黒板情報電子化対象工事（以下「対象工事」という。）とすることができる。対象工事では、以下の第1項から第4項の全てを実施することとする。

1. 対象機器の導入

受注者は、デジタル工事写真の小黒板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等（以下「使用機器」という）については、共通仕様書　写真管理基準「2－2 撮影方法」に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認（改ざん検知機能）を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認（改ざん検知機能）は、

「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト（CRYPTREC 暗号リスト）」

（URL：https://www.cryptrec.go.jp/list.html）

に記載している技術を使用していること。

また、受注者は監督職員に対し、工事着手前に、本工事での使用機器について提示するものとする。なお、使用機器の事例として、

「デジタル工事写真の小黒板情報電子化対応ソフトウェア」

（URL：https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html）

を参照とすること。ただし、この使用機器事例からの選定に限定するものではない。

2. デジタル工事写真における小黒板情報の電子的記入

受注者は、前項の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黒板情報を電子画像として同時に記録してもよい。小黒板情報の電子的記入を行う項目は、共通仕様書　写真管理基準「2－2 撮影方法」による。ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。

3. 小黒板情報の電子的記入の取扱い

本工事の工事写真の取扱いは、共通仕様書　写真管理基準（デジタル写真管理情報基準）に準ずるが、前項に示す小黒板情報の電子的記入については、写真管理基準「2－4 写真の編集等」及びデジタル写真管理情報基準「6．写真編集等」で規定されている写真編集には該当しない。

1－27．1日未満で完了する作業の積算

1.「1日未満で完了する作業の積算」（以下「1日未満積算基準」という。）は、変更積算のみに適用する。

2. 受注者は、施工パッケージ型積算基準と乖離があった場合に、1日未満積算基準の適用について発注者と協議することができる。

3. 同一作業員の作業が他工種・細別の作業を組合せで1日作業となる場合には、1日未満積算基準は適用しない。

4. 受注者は、協議に当って、1日未満積算基準に該当することを示す書面、その他協議に必要となる根拠資料（日報、実際に費用がわかる資料等）を監督職員に提出すること。実際に費用がわかる資料（見積書、契約書、請求書等）により、施工パッケージ型積算基準との乖離が確認できない場合には、1日未満積算基準は適用しない。

5.「時間的制約を受ける公共土木工事の積算」を適用して積算する場合等、1日未満積算基準

以外の方法によることが適当と判断される場合には、1日未満積算基準を適用しない。

6. 1日未満積算基準「3. 判定方法 (3)判定に使用する作業量の考え方」により、別箇所として扱う場合は、「1－19 施工箇所が点在する工事の積算」第1項の箇所とする。

1－28. 労働者確保に関する積算方法の試行工事

1. 本工事は、「共通仮設費(率分)のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労働管理費」の下記に示す費用について(以下「実績変更対象間接費」という) 、工事実施にあたって不足する技術者や技能者を広域的に確保せざるを得ない場合も考えられることから、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、土木工事標準積算基準書(山形県県土整備部)の金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終清算変更時点で設計変更する施行工事である。

営 繕 費:労働者送迎費、宿泊費、借上費

(宿泊費、借上費については労働者確保に係るものに限る)

労務管理費:募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用

2. 本工事の予定価格の算出の基礎とした設計額(土木工事標準積算基準書に基づき算出した額)における実績変更対象間接費の割合は次のとおりである。

(1) 共通仮設費(率分)に占める実績変更対象間接費

(労働者送迎費、宿泊費、借上費)の割合:12. 82%

(2) 現場管理費に占める実績変更対象間接費

(募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用)の割合:1. 52%

3. 受注者は、実績変更対象間接費に係る費用の内訳を記載した「労働者確保に係る実績報告書(様式1)」及び実績変更対象間接費について実際に支払った全ての証明書類(領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。)を監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。

4. 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。

5. 発注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象間接費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、土木工事標準積算基準に基づき算出した額における実績変更対象間接費を差し引いた費用を加算して算出する。なお、すべての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって金額の変更を行うものとする。

6. 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び入札参加資格制限等の措置を行う場合がある。

7. 受注者は、実績変更対象間接費に係る設計変更について疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

1－29. 不可抗力による損害に関する事項

本工事における天災等は、共通仕様書第1編共通編第1章総則1－1－45第2項の各号に掲げる基準を超えるものとする。

1－30. 建設現場における遠隔臨場について

1. 建設現場における遠隔臨場の実施

「建設現場における遠隔臨場の実施」は、受注者における「段階確認に伴う手待ち時間の削減や確認書類の簡素化」や発注者（監督員）における「現場臨場の削減による効率的な時間の活用」を目指し、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）と Web 会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」の遠隔臨場を行うものである。なお、遠隔臨場は、『建設現場における遠隔臨場に関する実施要領（案）』（山形県県土整備部）の内容に従い実施する。

ただし通信環境が整わない現場や工種によって不十分、非効率になってしまう恐れのある場合は、この限りではない。

2. 遠隔臨場を適用する工種、確認項目

現場条件により遠隔臨場の適用性が一致しない場合も想定されることから、現場での適用・不適用については、受発注者間にて協議の上、適用する工種・確認項目を選定することができるとする。受注者は適用する工種、確認項目に関する協議資料作成にあたり、『建設現場における遠隔臨場に関する実施要領（案）』別表 1～3 を参考とする。

3. 実施内容

(1) 段階確認・材料確認、立会いでの確認

受注者が動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）により取得した映像及び音声を、Web 会議システム等を介して「段階確認」・「材料確認」と「立会」を行うものである。

(2) 機器の準備

遠隔臨場に要する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）や Web 会議システム等は受注者が手配、設置するものとする。これによらない場合は監督職員等と協議し、決定するものとする。

(3) 遠隔臨場を中断した場合の対応

電波状況等により遠隔臨場が中断された場合の対応について、事前に受発注者間で協議を行う。対応方法に関しては、確認箇所を画像・映像で記録したものをメール等の代替手段で共有し、監督職員等は机上確認することも可能とする。なお、本項目は受発注者間で協議し、別日の現場臨場に変更することを妨げるものではない。

(4) 効果の検証

遠隔臨場を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。

(5) 費用

遠隔臨場にかかる費用については、技術管理費に積上げ計上する。なお、詳細については、最新の遠隔臨場に関する事務連絡等を参照とすること。

(6) 不正行為

遠隔臨場において故意に不良箇所を撮影しない等の不正行為等を行った場合は、『山形県建設業者の不正行為等に対する監督処分の基準』等に従い、監督処分を実施する場合がある。

1－31．週休2日確保工事について

●発注者指定型の場合

1. 本工事は月単位の4週8休以上の現場閉所を実施する発注者指定型の週休2日確保工事である。実施にあたっては『鶴岡市建設工事「週休2日確保工事」実施要領』に基づくため、詳細

については、実施要領を確認すること。

2. 発注者は、当初（発注）時において月単位の4週8休以上の現場閉所に応じた経費の補正を行い工事費を積算しているため、現場閉所が完全週休2日（土日）を達成した場合、完全週休2日（土日）の補正係数に変更するものとする。なお、現場閉所が月単位の4週8休に満たない場合は、月単位の週休2日の補正係数を除して、工事費を積算するものとする。

3. 発注者は、週休2日確保工事において月単位の4週8休以上又は完全週休2日（土日）の現場閉所を達成した場合、主任（監理）技術者に対して「週休2日確保工事実施証明書」を発行するものとする。

4. 受注者は、工事名標示板に月単位又は完全週休2日（土日）の週休2日確保工事に取り組んでいる旨を明示すること。明示の方法は下図を参考にするものとし、監督職員と協議し決定する。

1－32．週休2日確保工事について

●発注者指定型（交替制）の場合

1. 本工事は発注者指定型（交替制）の月単位の週休2日確保工事である。実施にあたっては『鶴岡市建設工事「週休2日確保工事」実施要領』に基づくため、詳細については、実施要領を確認すること。

2. 発注者は、当初（発注）時において月単位の4週8休以上の休日率に応じた経費の補正を行い工事費を積算しているため、完全週休2日（交替制）を達成した場合、完全週休2日（交替制）の補正係数に変更するものとする。なお、休日率が月単位の4週8休に満たない場合は、月単位の週休2日の補正係数を除して、工事費を積算するものとする。

3. 発注者は、週休2日確保工事において月単位の4週8休以上又は完全週休2日の交替制を達成した場合、主任（監理）技術者に対して「週休2日確保工事実施証明書」を発行するものとする。

4. 受注者は、週休2日確保工事を実施する場合は工事名標示板に月単位又は完全週休2日（交替制）の週休2日確保工事に取り組んでいる旨を明示すること。明示の方法は下図を参考にするものとし、監督職員と協議し決定する。

（図）工事名標示板への明示の例

1－33．ウィークリースタンス等の推進

本工事は、受発注者協力のもと、工事の円滑化と品質の向上を図るとともに、働き方改革を推進し、担い手確保に努めること目的にウィークリースタンス等の推進を図ることとし、次の事項について工事着手前に受発注者間で共有し、工事を進めていくこととする。

1. 打合せ時間の配慮

受注者の移動時間が勤務時間外にならないよう配慮し、午後4時以降の打合せは行わない。

2. 作業依頼の配慮

(1) 作業内容に見合った作業期間を確保する。

(2) 休前日（金曜日など）に休日明け日（月曜日など）が期限日の依頼をしない。

(3) 受注者の定めるノー残業デーにかかわらず、定時間際や定時後に依頼をしない。

3. ワンデーレスポンスの再徹底

(1) 問い合わせに対して、ワンデーレスポンスを徹底する。

4. 留意事項

(1) 緊急性を要する災害対応などにおいて、やむを得ず上記の原則に沿った対応ができない場合は、作業依頼時に受発注者双方で作業内容や提出期限等を確認し、合意を図る。

(2) 設計変更を伴う作業依頼については、「設計変更ガイドライン」に基づき適正に対応する。

1－34．情報共有システム利用の対象工事

1. 本工事は、情報共有システムを利用する対象工事であり、情報共有システムを利用することを原則とする。ただし、契約締結後に受注者が監督職員と協議し、通信回線を確保出来ない等の理由により利用することが困難と判断した場合は、この限りでない。
2. 使用する工事情報共有システムは、LGWAN 環境で使用できるものを選定し、監督員の承諾を得たうえで決定すること。
3. 情報共有システムの利用に関する費用については、共通仮設費の率分に含まれる。 また、登録料及び利用料については、受注者が支払うものとする。
4. 情報共有システムの利用については、「鶴岡市情報共有システム利用要領」に基づき実施すること。
5. これらに定められていない事項は、監督職員と協議するものとする。
6. 情報共有システムの運用にあたっては、「山形県情報共有システム運用ガイドライン」を準用し実施するものとする。ガイドラインは山形県のホームページから入手できる

   山形県のホームページ（http://www.pref.yamagata.jp）

   → 県政情報 → 山形県の紹介 → 組織案内 → 県土整備部 → 建設企画課 → CALS/EC → 山形県の情報共有

1－35．中東情勢の変化による建設資材の流通状況を踏まえた設計変更

1. 本工事は、供給の偏りや流通の目詰まりにより入手が困難となっているナフサを由来とする建設資材（以下、「調達検討資材」）の調達に必要となる経費（以下、「別途調達経費」）について、設計変更を行う対象工事である。
2. 調達検討資材は下表を想定している。これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。

調達検討資材

資材名	規格	設計数量	単価適用年月	単価適用地区
塩化ビニル管	○○mm	○○m	R ○.○月	○○地区
塗料用シンナー	○○用シンナー	○○L	R ○.○月	○○地区

（※想定される資材がない場合：発注にあたって本文は非表示）

3. 受注者は、調達検討資材について別途調達経費が必要となる場合には、事前に監督職員と協議するものとする。ただし、迅速な対応が求められる場合には、口頭、ファクシミリ、電子メールなどで協議することも可能とするが、事後、遅滞なく書面により協議するものとする。

   なお、別途調達経費が必要となる場合とは、以下を想定している。

   ① 調達検討資材の代替資材を調達した場合

   ② 調達検討資材の流通経路を見直して調達した場合

   ③ 調達検討資材を調達した場合（ただし別途調達経費を含む）

4. 受注者は、別途調達経費に係る証明書類(実際の取引伝票等)を監督職員に提出するものとし、その別途調達経費については設計変更の対象とする。

1－36. その他

1. 工事費の増減を伴う変更が生じた場合、すみやかに監督職員に連絡し、指示をあおぐこと。了解を得ずに増工(増額)したものについては変更の対象としない。
2. 当初工程表より現場着工時期(実作業期間)に遅れが生じた場合は、現場着工前に変更工程表を作成し、監督職員に提出すること。
3. 当該工事期間中に、建設業退職金共済組合の証紙を追加購入した場合は、工事完成時に追加分の建設業退職金共済組合掛金収納書届を提出すること。また、工事完成時に建設業退職金共済組合の証紙の受払状況の確認できる書類を監督職員に提示すること。

第2章 土　工

2－1. 残土受入地

鶴岡市菱津地内とし運搬距離は 8.0km を想定している。
受注後、土砂運搬工着手までに発注者が運搬先を指定する。

第3章 無筋・鉄筋コンクリート

3－1. 配　合

1. 下記工種のコンクリートは、共通仕様書(参考資料)　レディーミクストコンクリート標準使用基準の次の規格によるものとする。

工　種	区分番号	呼び強度	摘　要
防草 CO・集水桝・重力式擁壁	②	18N/mm^2	18-8-40

第2編 材料編

第1章 一般事項

1－1. 指定材料の確認

受注者は、下記の工事材料を使用する場合には、その外観及び品質規格証明書等を照合して確認した資料を事前に監督職員に提出し、監督職員の確認を受けなければならない。

区　分	確 認 材 料 名	摘　要
防護柵工	門型ボラード	

１－２．工事材料の確認

市が一括承認済みの資材については、承認図等の添付を省略することができる。一括承認済みの資材は発注担当部署にて確認すること。

１－３．納入時の材料確認

使用材料は、納入された時点で必ずその品質や形状について適当なものか審査し、不良品は、返却等の処置を施すこと。検査時に不良品を発見した場合、撤去再設置等の手直しを指示する場合がある（例えば二次製品、路盤材料の入替えなど）。

第2章 土木工事材料

２－１．再生資材の使用

工事に使用する再生資材は次表のとおりとする。

材 料 名	規　格	使用箇所	摘　要
再生クラッシャーラン	80 ㎜以下	基礎砕石	
〃	40 ㎜以下	下層路盤	
再生アスファルト合材	再生密粒度 As13F 再生細粒度 As13	表層	

1. 再生クラッシャーランは、廃棄物であるコンクリート塊、アスファルトコンクリート塊を破砕、選別、混合物除去、粒土調整等を行うことにより再資源化された資材をいい、これら以外の材料（新材の砕石、ズリ、コンクリートを製造し破砕したもの等）が混合されていない状態のものをいう。
2. 下層路盤材、歩道路盤材に使用する再生砕石（RC-40）は下記の品質基準を満足するものとする。
3. 修正 CBR

   下層路盤材　修正 CBR 値　40%以上

   歩道路盤材　修正 CBR 値　20%以上

２－２．購入土

1. 適用用途に応じた土質区分の再利用土砂の使用を原則とし、監督職員の承諾を得なければならない。
2. 路床に使用する購入土は、CBR12%以上とし監督職員の承諾を得なければならない。

２－３．セメント

工事に使用するセメントは、高炉セメント（JIS R5211）B種とし、その種類については監督職員の承諾を得なければならない。

２－４．セメントコンクリート製品等

本工事で使用する材料については、監督職員の承諾を得なければならない。

防音ゴム付側溝蓋を使用する場合は、防音ゴムの一部がコンクリート内に埋設されたアンカータイプを使用すること。鋼製溝蓋についても防音ゴムが容易にはがれないねじ式等を使用すること。

2－5．建設資材調達

次の資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。

また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類（実際の取引伝票等）を監督職員に提出するものとし、その費用について設計変更することとする。

資 材 名	規　格	調達地域等
砕石	RC-40	庄内地区
砕石	M-40	庄内地区
土砂	再利用土砂	庄内地区

第3編 土木工事共通編

第1章 総則

1－1．段階確認

共通仕様書　第 3 編　共通編 1-1-2 監督職員による確認・立会等により指定された工種に、次の工種を追加するものとする。

種　別	細　別	確認時期
準備工	丁張り確認	丁張り完了時
路盤工	上層路盤	表層施工前
〃	下層路盤	上層路盤施工前

1－2．工事中の安全確保

土木工事にあっては、共通仕様書　第 1 編　1-1-30 施工管理の規定に加え、以下の規定によらなければならない。請負者は、建設工事公衆災害防止対策要綱（国土交通省告示第 496 号、令和元年 9 月 2 日）を遵守して災害の防止を図らなければならない。なお、詳細については監督職員と協議を行うこと。

また、受注者は鶴岡警察署に申請する道路使用許可申請書の道路使用許可条件に従い、施工すること。

第2章 一般施工

2－1．濁水処理

1. 舗装版切断時に発生する濁水等については、周囲に流出しないよう、排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとし、適正に処理を行わなければならない。なお、回収に要する費用は設計図書に含まれる。

2.「適正に処理」する際には、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者（受注業者）が産業廃棄物の処理を委託する際、排出事業者（受注業者）は、その責任において、適正な処理のために必要な廃棄物情報（成分や性状等）を把握し処理業者に提供することが必要である。

２－２．舗装工

道路改良工事等において、排水構造物と接する舗装仕上げ面は、排水構造物天端より低くなってはならない。

２－３．瀝青材料の散布

プライムコートの使用量は1．26 L/㎡を標準とする。

タックコートの使用量は0．43L/㎡を標準とする。

２－４．工事現場の現場環境改善費

1. 本工事は、工事の現場環境改善費を計上する工事である。

この現場環境改善とは、地域との積極的なコミュニケーションを図りつつ工事関係者の意識を高め、現場労働者の作業環境改善を行うものであり、受注者は、この趣旨を理解し発注者と協力しつつ地域との連携を図り、適正に工事の円滑な執行を実施しなければならない。

2. 現場環境改善を行う内容は、下記の4計上費目ごとに1内容ずつ（いずれか1費目のみ2内容）の計 5 つの内容を選定のうえ、実施するものとする。

3. 上記のほか熱中症・防寒対策を実施するものとし、費用については対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上にて設計変更の対象とする。なお積み上げによる費用は、率分で計上される額の 80%を上限とし、設計変更時に費用を証明するもの（領収書等）を提出するものとする。

計上費目	実施する内容（率計上分）
設備関係	1. 昇降設備の充実 2. 環境対策の充実 3. ICT 設備の充実 4. 作業負荷の低減
営繕関係	1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舎の充実 3. 現場休憩所の充実（交通誘導員待機室含む） 4. 衛生設備・厚生施設の充実
安全関係	1. 工事標識・照明等安全施設の充実 2. 盗難防止対策 3. 健康関連施設の充実 4. 野生生物・害虫対策

地域連携	1. 工法活動等（完成予想図、パンフレット、工法説明、PR看板等） 2. 見学会・イベント等の開催（見学施設等の設置・管理運営等含む） 3. 社会貢献・地域対策費等（地域行事等の経費含む） 4. 現場景観向上（美装化・デザイン看板等）

3. 受注者は、具体的な実施内容と実施時期を事前に監督職員と協議し、その結果を報告すること。

4. 以下の項目については、現場環境改善の内容に含まれないことから、実施にあたっては留意すること。

(1) 仮設関係：仮囲い、模様フェンス、仮歩道マット

(2) 営繕関係：デザインボックス、倉庫及び材料保管庫、監督員詰所、シャワー施設、ウォータークーラー、観葉植物、意見箱の設置

(3) 安全関係：バリケード、転落防止柵

2－5. 快適トイレの設置

1. 内容

受注者は、現場に以下の（1）～（11）の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。（12）～（17）については、満たしていればより快適に使用できると思われる項目であり、必須ではない。なお、快適トイレの手配が困難な場合は、監督職員と協議の上、本条項の対象外とする。

◆快適トイレに求める機能

(1) 洋式（洋風）便器

(2) 水洗及び簡易水洗機能（し尿処理装置付き含む）

(3) 臭い逆流防止機能

(4) 容易に開かない施錠機能

(5) 照明設備

(6) 衣類掛け等のフック、又は荷物の置ける棚等（耐荷重を5kg以上とする）

◆付属品として備え付けるもの

(7) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示

(8) 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫

(9) サニタリーボックス

(10) 鏡と手洗器

(11) 便座除菌クリーナー等の衛生用品

◆推奨する仕様と付属品

(12) 内寸法900×900㎜以上（面積ではない）

(13) 擬音装置（機能を含む）

(14) 着替え台

(15) 臭気対策機能の多重化

(16) 室内温度の調整が可能な設備

(17) 小物置き場（トイレットペーパー予備置き場等）

2. 快適トイレに要する費用

快適トイレに要する費用について、当初設計では計上していない。

受注者は、上記1の内容を満たす快適トイレであることを示す資料を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとし、設計変更時に見積書を提出するものとする。上記(1)～(11)の費用については従来品相当額を差し引いた後、51,000円／基・月を上限に設計変更の対象とする。なお、設計変更数量の上限については、男女別で各1基ずつ2基／●工事(施工箇所)までとする。また、運搬費は、共通仮設費(率)に含むものとし、2基／●工事(施工箇所)よりも多く設置する場合や上限額を超える費用については、現場環境改善費(率)での支出を認めるものとして、別途計上は行わない。

一 般 明 示 事 項

1－1．提出書類

受注者は、建設工事請負契約約款第３条に規定する工程表を所定の様式に基づき作成し、監督職員を経由して発注者に提出しなければならない。

また、工事の一部を下請負に付する場合は、下請計画（変更）報告書を提出し、監督職員の承諾を得なければならない。承諾後は、施工体制台帳及び体系図を作成し、速やかに監督職員に提出しなければならない。

なお、下請計画（変更）報告書が提出されずに下請負業者が施工している場合は、工事の一時中止を命じる場合もありうる。

1－2．施工計画書

受注者は、工事着手前に本工事の施工計画書を監督職員に提出しなければならない。ただし、維持工事や小規模工事（請負金額200万円以下）においては監督職員の承諾を得て記載内容の一部を省略することができる。

また、施工計画書の内容に変更が生じた場合には、その都度変更施工計画書を監督職員に提出しなければならない。ただし、変更内容が数量のわずかな増減等の場合は、後日の提出で良いものとする。

1－3．環境対策

当該工事を施工するにあたり、排出ガス対策型の建設機械を使用するものとする。なお、排出ガス対策型建設機械の使用ができない場合は、その理由を書面により監督職員に提出し承諾を得ること。なお、対策型を使用しない場合は、変更の対象とする。

また、工事写真により使用機械を判定するため、現場との整合が図れるように記録すること。

設 計 数 量 調 書

上段:当初
下段:変更

市道上畑町若葉町線　道路改良工事

工　種	種　別	細　別	単　位	数　量	摘　要
＜市道上畑町若葉町線＞					
土　工					
掘削工					
	掘削	バックホウ 小規模	m³	0.2	0.2
残土処理工					
	残土運搬処理	運搬・整地	m³	0.2	0.2
法面工					
法面整形工					
	法面整形	切土部	m²	7	7.0
防草コンクリート工					
	基面整正		m²	3	3.4
	基礎砕石	RC-80 t=100	m²	3	3.0
	型枠		m²	2	2.46
	防草コンクリート	18-8-40 高炉 t=10cm	m²	8	7.97
排水工					
作業土工					
	床堀	バックホウ 0.45m³	m³	90	92.4
	埋戻し	バックホウ 0.45m³	m³	40	42.9
		購入土 再利用土砂	m³	50	54.1
	残土運搬処理	運搬・整地	m³	90	92.4
	基面整正		m²	43	42.5

設 計 数 量 調 書

上段:当初
下段:変更

市道上畑町若葉町線　道路改良工事

工　種	種　別	細　別	単　位	数　量	摘　要
水路工					
	防音側溝	B300×H300×L2000 T-25 341kg/2m	m	2	1.5
	防音勾配調整側溝	B500×H600×L2000 T-25 765kg/2m	m	11	10.9
	自由勾配側溝	US9-B-B600-H800 960kg/2m	m	7	7.4
	鉄筋コンクリート U型(落蓋式)	US2-B600-H800 1140kg/2m	m	1	1.2
	防音側溝 コンクリート蓋	B300 T-25 L=0.50m/枚	枚	3	3
	防音勾配調整側溝 コンクリート蓋	B500 T-25 L=0.50m/枚	枚	21	21
	鉄筋コンクリートU型 コンクリート蓋	B600 T-25 L=0.50m/枚	枚	2	2
	自由勾配側溝 コンクリート蓋	B600 T-25 L=0.50m/枚	枚	7	7
	防音勾配調整側溝 グレーチング蓋	B500 T-14 L=0.50m/枚	枚	1	1
管渠工					
	遠心 ボックスカルバート	CSB-φ500 1440kg/2.4m	m	7	6.8
	遠心 ボックスカルバート	CSB-φ700 2590kg/2.4m	m	10	9.6
集水桝工					
第2号集水桝					
	SM-B700-H800 (現場打)	コンクリート 18-8-40(0.558m³)	箇所	1	1
	正方形桝蓋 グレーチング	700×700用 T-14	組	1	1
	調整コンクリート	18-8-40	m³	0.03	0.034
第3号集水桝					
	SM-B900-H700 (現場打)	コンクリート 18-8-40(0.954m³)	箇所	1	1
	正方形桝蓋 グレーチング	900×900用 T-14	組	1	1
	調整コンクリート	18-8-40	m³	0.04	0.041

設計数量調書

上段:当初
下段:変更

市道上畑町若葉町線　道路改良工事

工種	種別	細別	単位	数量	摘要
第2-1～2-3号集水桝					
	SM-B800-H1000 (プレキャスト)		箇所	3	3
	正方形桝蓋 グレーチング	800×800用 T-25	組	3	3
	調整コンクリート	18-8-40	m³	0.24	0.24
防護柵工					
作業土工					
	床堀	バックホウ 0.45m³	m³	10	14.5
	埋戻し	バックホウ 0.45m³	m³	10	10.2
	購入土	再利用土砂	m³	10	12.9
	残土運搬処理	運搬・整地	m³	10	14.5
	基面整正		m²	5	5
H型ボラード基礎工					
	H型ボラード基礎	400×400×500	基	20	20.0
H型ボラード工					
	H型ボラード設置	コンクリート基礎式 H700×L1500	本	10	10
撤去工					
撤去工					
	ガードレール撤去	Gr-C2-3E	m	8	8.0
	ガードレール再設置	Gr-C2-3E	m	8	8.0
	ガードパイプ撤去	門型 L=3.0m/基	m	15	15.0
	スクラップ	ヘビーH2	t	0.15	0.15
	カーブミラー 撤去再設置	参考重量56.7kg	箇所	1	1

設 計 数 量 調 書

上段:当初
下段:変更

市道上畑町若葉町線　道路改良工事

工　種	種　別	細　別	単　位	数　量	摘　要
構造物取壊し工					
作業土工					
	床堀	バックホウ 0.45m³	m³	10	9.3
	埋戻し	バックホウ 0.45m³	m³	7	6.5
	購入土	再利用土砂	m³	9	8.8
	残土運搬処理	運搬・整地	m³	10	9.3
舗装版取壊し工					
	舗装版切断	アスファルト舗装版 t=15ｃｍ以下	m	18	18.4
	舗装版取壊し	アスファルト舗装版 t=15ｃｍ以下	m²	771	770.8
	殻運搬処理	アスファルト殻	m³	37	36.8
構造物取壊し工(無筋構造物)					
	コンクリート取壊し	無筋構造物	m³	5	4.6
	殻運搬処理	コンクリート殻 無筋構造物	m³	5	4.6
構造物取壊し工(鉄筋構造物)					
	コンクリート取壊し	鉄筋構造物	m³	2	2.0
	殻運搬処理	コンクリート殻 鉄筋構造物	m³	2	2.0
舗装工					
車道部舗装工					
	不陸整正	粒調砕石 M-40 t=2cm	m²	635	635.2
	下層路盤工	再生切込砕石 RC-40 t=20cm	m²	26	26.2
	上層路盤工	粒調砕石 M-40 t=8cm	m²	37	37.0
	表層工	再生密粒度As(13F) 3.0m超 t=5cm	m²	660	660

設計数量調書

上段:当初
下段:変更

市道上畑町若葉町線　道路改良工事

工種	種別	細別	単位	数量	摘要
歩道部舗装工					
	不陸整正	再生切込砕石 RC-40 t=2cm	㎡	50	49.9
	路盤工	再生切込砕石 RC-40 t=10cm	㎡	10	10.4
	表層工	再生細粒度As(13) t=3cm	㎡	86	85.5
進入路					
	下層路盤工	再生切込砕石 RC-40 t=15cm	㎡	2	2
	上層路盤工	粒調砕石 M-40 t=10cm	㎡	3	3.2
	表層工	再生密粒度As(13F) t=5cm	㎡	36	35.9
カラー舗装工					
	再加熱式 カラー舗装	緑色	㎡	210	209.8
区画線工					
区画線工					
	外側線設置	ペイント式・加熱式 実線(白) W=15cm	m	236	235.5
	横断指導線	溶融式　白 実線 W=15cm t=1mm	m	8	8.0
仮設工					
水替え工					
	ポンプ据付撤去		箇所	2	2
	ポンプ運転	作業時排水	式	1	1
交通管理工					
	交通誘導警備員	交通誘導警備員Ｂ	式	1	1

設 計 数 量 調 書

上段:当初
下段:変更

市道上畑町若葉町線　道路改良工事

工　種	種　別	細　別	単　位	数　量	摘　要
＜市道若葉町３号線＞					
土　工					
土　工					
	掘削工	バックホウ 0.80㎥	㎥	60	59.1
	床掘工	バックホウ 0.80㎥	㎥	20	23.2
	埋戻工	バックホウ 0.80㎥	㎥	20	18.8
	残土運搬処理	BH 0.80㎥ 運搬・整地	㎥	60	61.4
排水工					
作業土工					
	床掘	バックホウ 0.45㎥	㎥	3	2.8
	埋戻し	バックホウ 0.45㎥	㎥	5	4.5
	残土運搬処理	BH 0.45㎥ 運搬・整地	㎥	0.4	0.4
水路工					
	基面整正		㎡	11	11.1
	防音側溝	B300×H300×L2000 357kg/2m	m	18	18.30
	防音勾配調整側溝	B300×H400×L2000 398kg/2m	m	4	3.78
	勾配調整 コンクリート	 21-8-25	㎥	0.06	0.061
	防音側溝 コンクリート蓋	300用 T-25 31kg/枚	枚	42	42
	防音側溝 グレーチング蓋	300用 T-25 17kg/枚	枚	2	2
側溝閉塞工					
	型枠工		㎡	0.4	0.4
	コンクリート	18-8-40 高炉	㎥	0.04	0.04

設計数量調書

上段:当初
下段:変更

市道上畑町若葉町線　道路改良工事

工種	種別	細別	単位	数量	摘要
舗装工					
車道部舗装工					
	不陸整正	粒調砕石 M-40 t=2cm	㎡	65	64.7
	下層路盤工	再生切込砕石 RC-40 t=20cm	㎡	58	58.2
	上層路盤工	粒調砕石 M-40 t=8cm	㎡	74	73.8
	表層工	再生密粒度As(13F) 3.0m超 t=5cm	㎡	137	137.0
コンクリート舗装工					
	路盤工	RC-40 t=10cm	㎡	5	4.8
	表層 コンクリート	21-8-25 t=15cm	㎥	1.0	0.7
区画線工					
区画線工					
	外側線設置	ペイント式・加熱式 実線(白) W=15cm	m	44	44.3
構造物取壊し工					
舗装版取壊し工					
	舗装版切断	アスファルト舗装版 t=15cm以下	m	6	6.0
	舗装版取壊し	アスファルト舗装版 t=15cm以下	㎡	81	81.2
	殻運搬処理	アスファルト殻	㎥	8	8.4
構造物取壊し工(無筋構造物)					
	コンクリート取壊し	無筋構造物	㎥	1	0.7
	殻運搬処理	コンクリート殻 無筋構造物	㎥	1	0.7

設 計 数 量 調 書

上段:当初
下段:変更

市道上畑町若葉町線　道路改良工事

工　種	種　別	細　別	単　位	数　量	摘　要
構造物取壊し工(鉄筋構造物)					
	コンクリート取壊し	鉄筋構造物	m³	8	8.4
	殻運搬処理	コンクリート殻 鉄筋構造物	m³	8	8.4
撤去工					
撤去工					
	フェンス撤去	H=0.8m	m	21	20.5
	スクラップ	アルミ 込みガラ	t	0.2	0.22

設 計 数 量 調 書

上段:当初
下段:変更

市道上畑町若葉町線　道路改良工事

工　種	種　別	細　別	単　位	数　量	摘　要
＜小型重力式擁壁＞					
擁壁工					
小型重力式擁壁					
	基面整正		㎡	18	17.6
	コンクリート	18-8-40 高炉	㎥	9	8.8
	目地材	瀝青繊維質 t=10㎜	㎡	1	0.9
フェンス工					
	目隠しフェンス設置工	H=800㎜	m	19.0	19.4
建設発生木材処分					
	建設発生木材処分		t	1	1

現 場 説 明 事 項 書

市道上畑町若葉町線道路改良工事

［　共通事項　］

１．現場説明事項書について

　現場説明事項は、制約をうける当該工事に関する施工条件を明示することによって工事の円滑な執行に資することを目的としており、当該契約においてやむを得ず施工方法等について仮指定せざるを得ないもの、又は変更が予想されるもの、あるいは制約される工事工程等について現場説明参加業者が充分な見積りができるよう条件明示するものです。

［　工事の施工関係　］

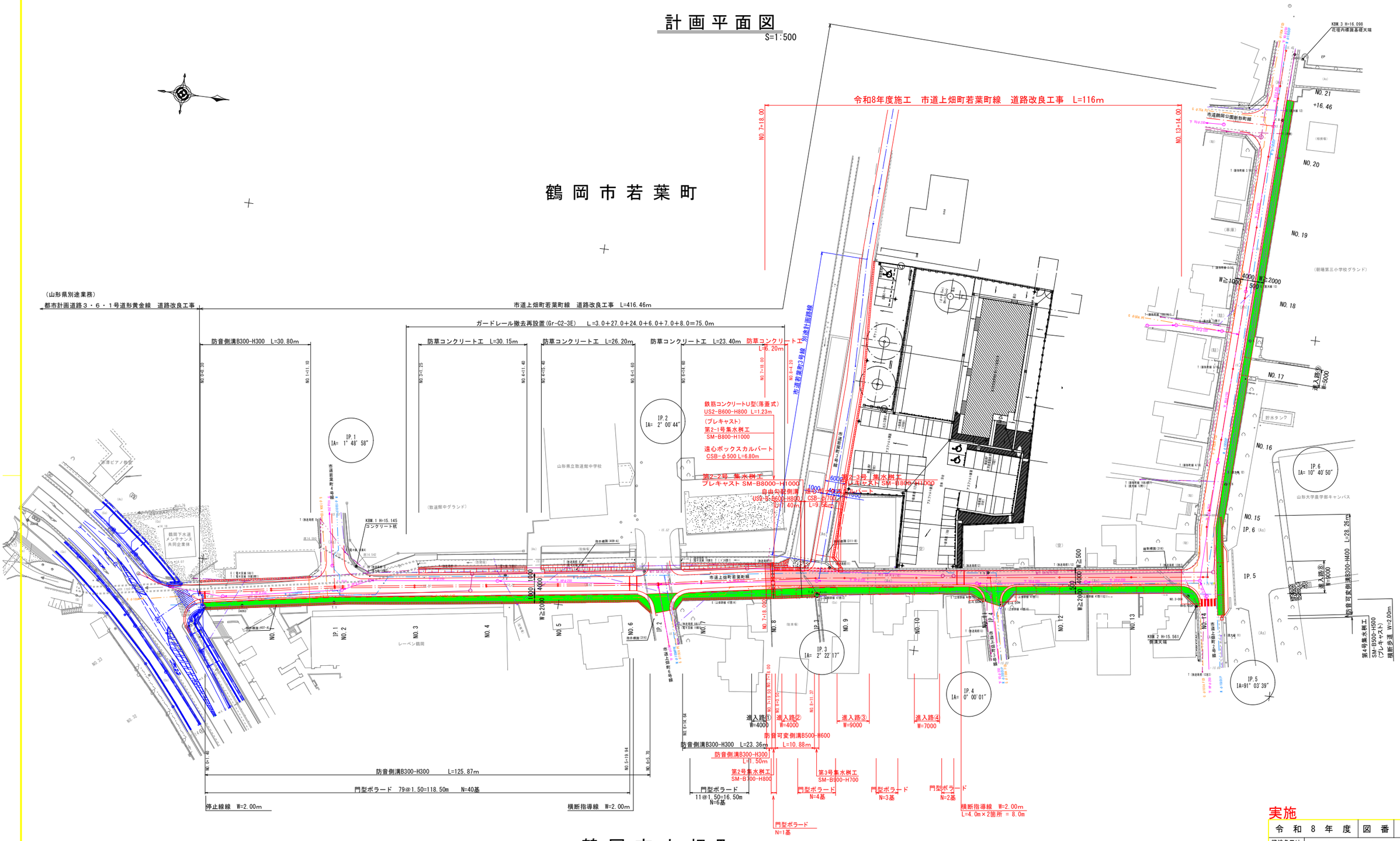
１．道路横断部において、水道管の移設工事（企業団発注）との同時施工を予定している。

［　工程関係　］

１．第三学区放課後児童クラブ建設工事と工程調整を行うこと。

計画平面図

S=1:500



特記事項

※ 県道部青色計画線は、山形県業務（都市計画道路3・6・1号道形黄金線　道路改良工事）を示す。

実施

令和８年度	図番	14 葉	1
路線名又は河川名	市道上畑町若葉町線		
工事名	市道上畑町若葉町線道路改良工事		
位置	鶴岡市上畑町・若葉町地内		
計画平面図		1 葉	1
縮尺	S=1:500	鶴岡市	

県道別途工事

市道上畑町若葉町線　道路改良工事　L=420.00m

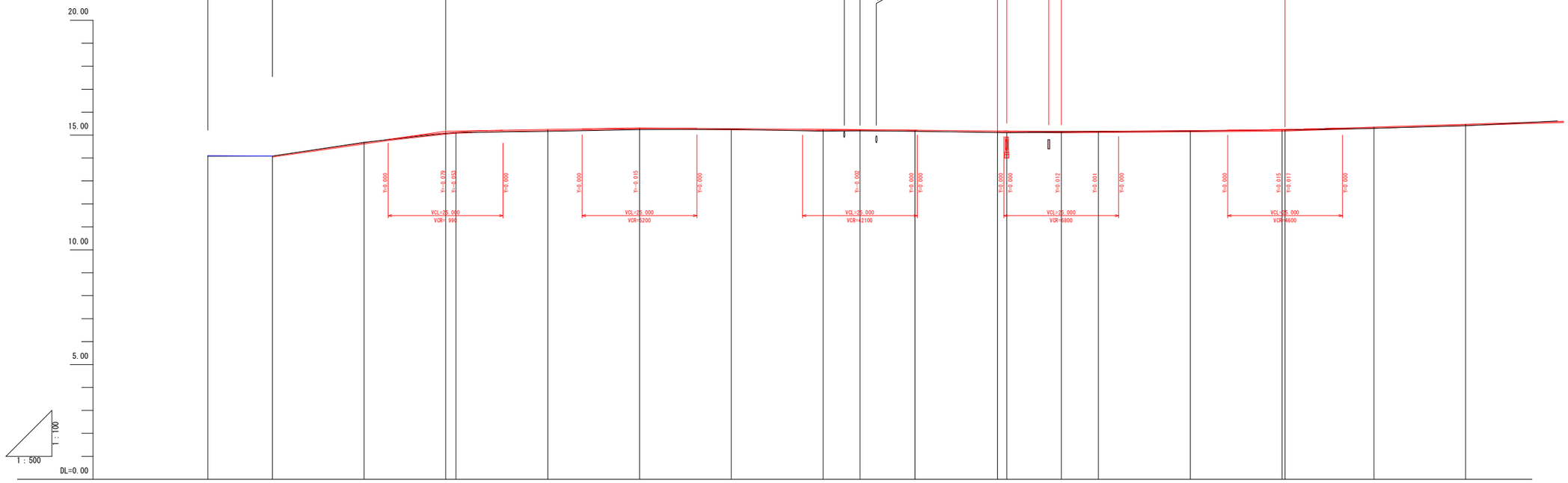
2003A
H=14.144m

KBM.1
H=15.145m

KBM.2
H=15.561m

平成8年度 市道上畑町若葉町線 道路改良工事　施工　L=116.00m

NO.7+18.000



| | | |

市道上畑町若葉町線　道路改良工事　L=420.00m

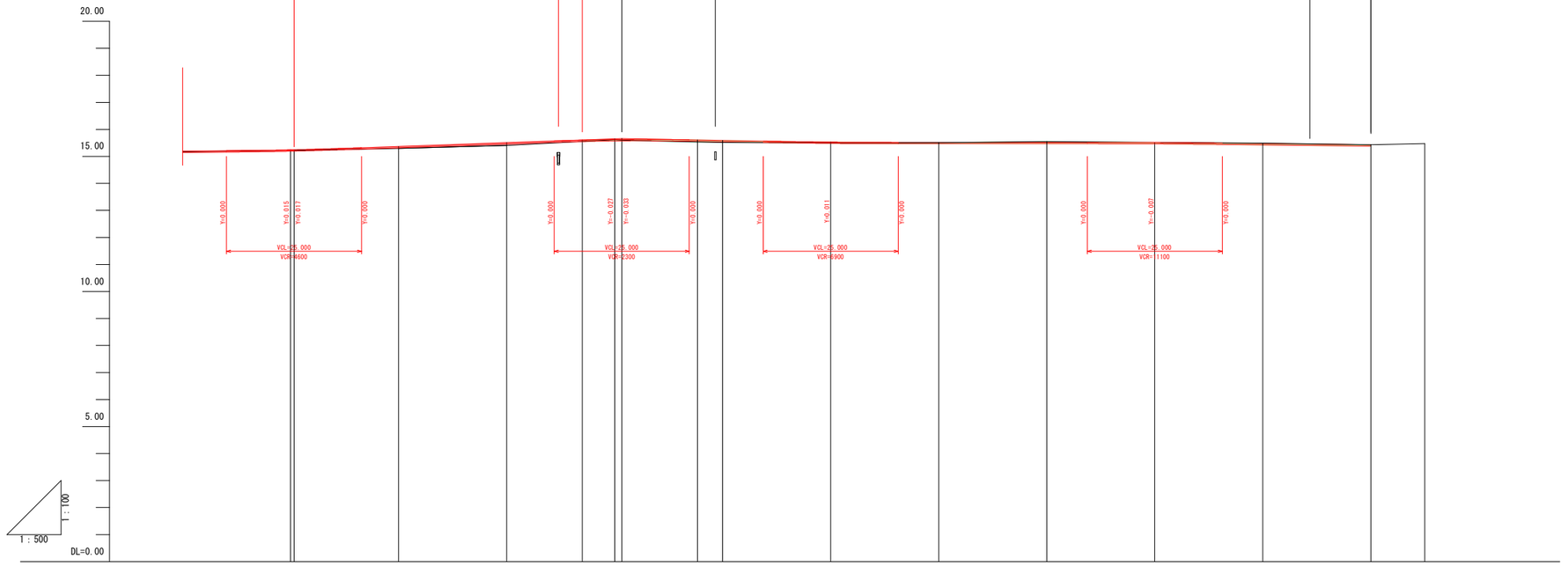
平成8年度 市道上畑町若葉町線 道路改良工事　施工　L=116.00m

KBM.2
H=15.561m

KBM.3
H=16.098m

NO.13+9.00 R53.5 A=60.0 A=60.0 DL=14.75

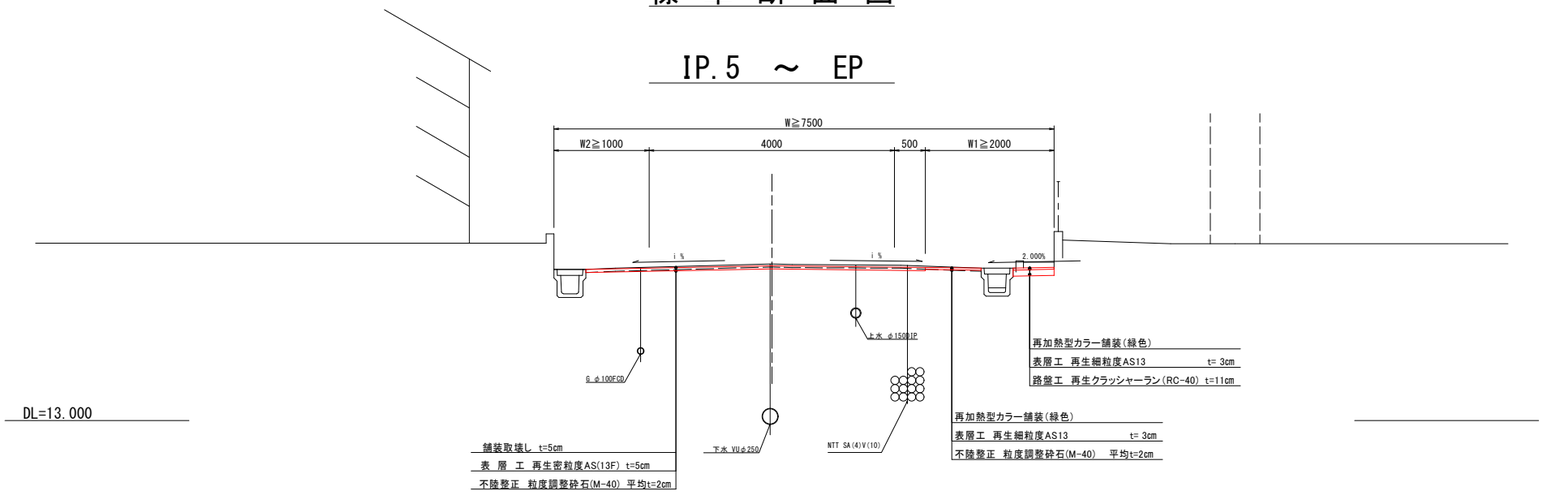
NO.14+14.5 R=60.0 A=60.0 DL=14.67



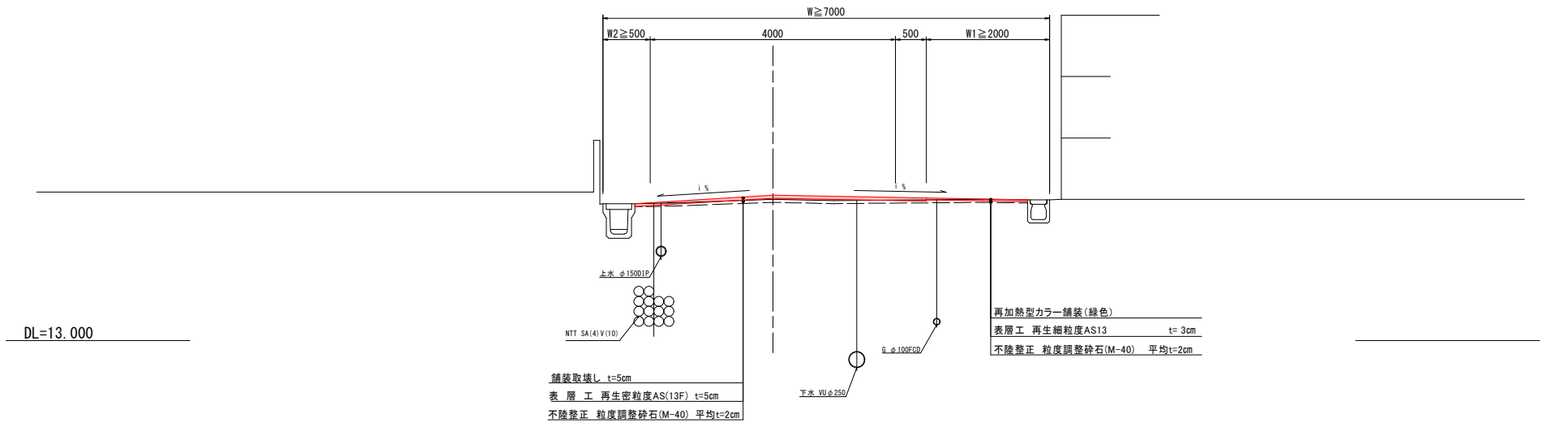
| | | |

標 準 断 面 図

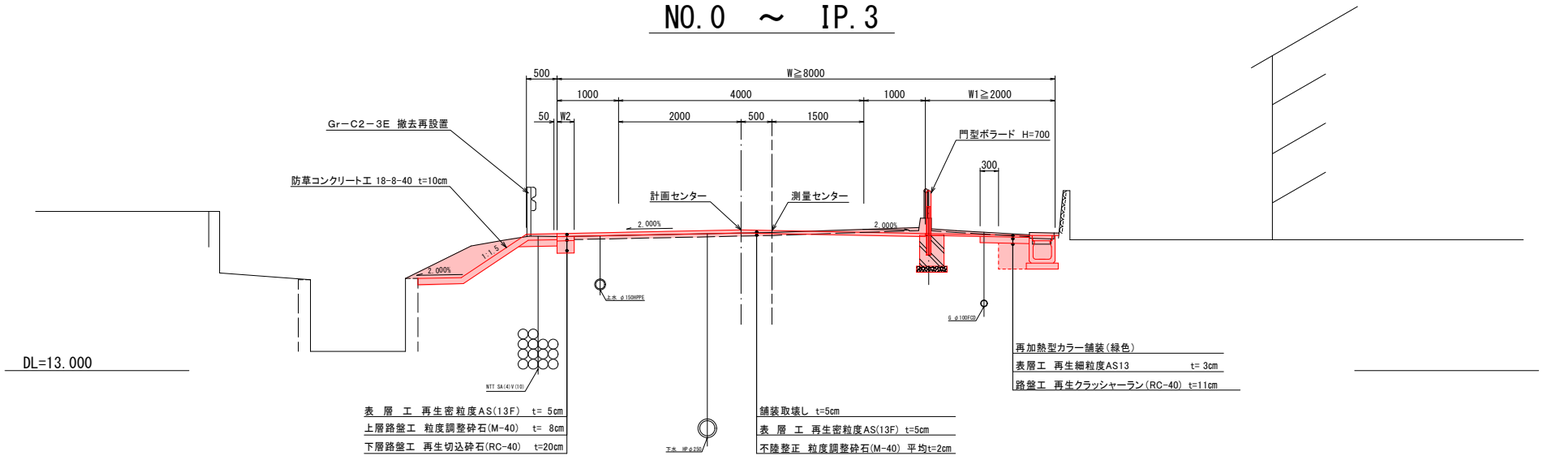
IP.5 ～ EP



IP.3 ～ IP.5



NO.0 ～ IP.3



設 計 条 件

道 路 規 格	第 4 種 第 4 級
設 計 速 度	V＝30km/h
交 通 量 区 分	N 2

舗 装 構 成 表

鶴岡市舗装復旧標準構成表（N２交通）

工 種	種 別	厚さ（cm）
表 層 工	再生密粒度AS(13F)	5
上層路盤工	粒調砕石 M－40	8
下層路盤工	再生クラッシャーランRC-40	20
合 計		33

表層工打替部構成表

工 種	種 別	厚さ（cm）
表 層 工	再生密粒度AS(13F)	5
不陸整正工	粒調砕石 M－40	平均 2
合 計		平均 7

歩道工(グリーンベルト)構成表

工 種	種 別	厚さ（cm）
再加熱型カラー舗装	緑色	
表 層 工	再生細粒度AS(13)	3
路 盤 工	再生クラッシャーランRC-40	11
合 計		14

歩道工表層工打替部構成表

工 種	種 別	厚さ（cm）
再加熱型カラー舗装	緑色	
表 層 工	再生細粒度AS(13)	3
不陸整正工	粒調砕石 M－40	平均 2
合 計		平均 5

特 記 事 項

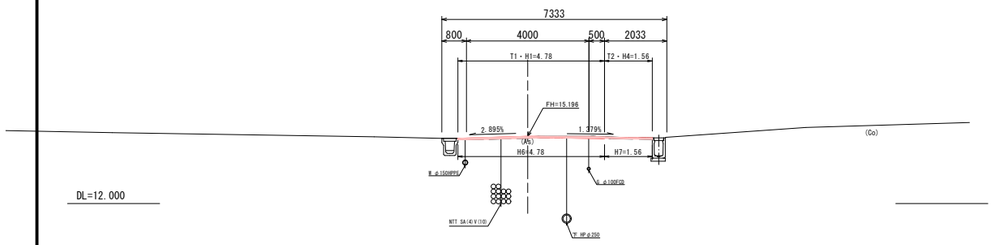
・表層工打替え前に既存舗装厚を確認すること。

実施

令 和 8 年 度		図 番	14 葉 4
路線名又は河川名	市道上畑町若葉町線		
工 事 名	市道上畑町若葉町線道路改良工事		
位 置	鶴岡市上畑町・若葉町地内		
標 準 横 断 図			1 葉 1
縮 尺	S=1:50	鶴 岡 市	

NO.10

GH=15.18
FH=15.196

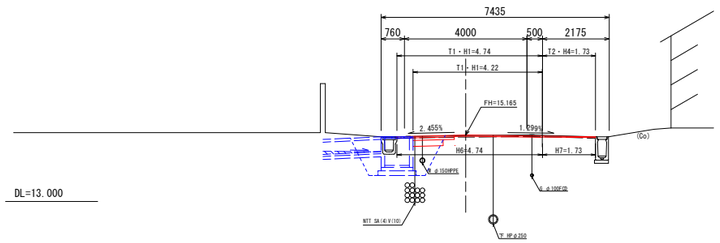


DL=12.000

土　工		m2
C1	掘　削　工　(左側)	—
B1	盛　土　工	—
RB1	埋　戻　工	—
舗 装 工		m
H1	表層工 再生密粒度AS(13F)	4.78
H2	上層路盤工　粒調砕石W-40	—
H3	下層路盤工　再生切込砕石RC-40	—
H4	再加熱型カラー舗装 表層工　再生細粒度AS13	1.56
H5	路盤工　再生切込砕石RC-40	—
H6	不陸整正　粒調砕石W-40	4.78
H7	不陸整正　再生切込砕石RC-40	1.56
舗装取壊し		m
T1	車道表層工　t=5cm	4.78
T2	歩道表層工　t=3cm	1.56

NO.9

GH=15.15
FH=15.165

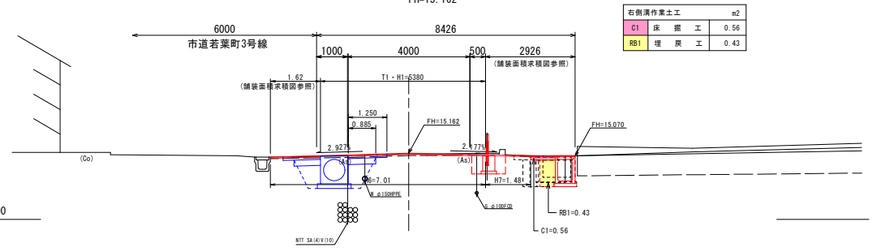


DL=13.000

土　工		m2
C1	掘　削　工　(左側)	—
B1	盛　土　工	—
RB1	埋　戻　工	—
舗 装 工		m
H1	表層工 再生密粒度AS(13F)	4.74 (4.22)
H2	上層路盤工　粒調砕石W-40	—
H3	下層路盤工　再生切込砕石RC-40	—
H4	再加熱型カラー舗装 表層工　再生細粒度AS13	1.73
H5	路盤工　再生切込砕石RC-40	—
H6	不陸整正　粒調砕石W-40	4.74
H7	不陸整正　再生切込砕石RC-40	1.73
舗装取壊し		m
T1	車道表層工　t=5cm	4.74
T2	歩道表層工　t=3cm	1.73

IP.3

GH=15.13
FH=15.162



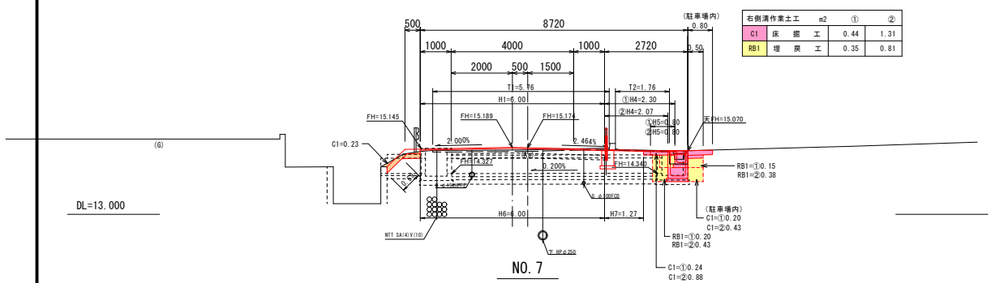
DL=13.000

右側溝作業土工		m2
C1	床　掘　工	0.56
RB1	埋　戻　工	0.43

土　工		m2
C1	掘　削　工　(左側)	—
B1	盛　土　工	—
RB1	埋　戻　工	—
舗 装 工		m
H1	表層工 再生密粒度AS(13F)	5.38
H2	上層路盤工　粒調砕石W-40	—
H3	下層路盤工　再生切込砕石RC-40	—
H4	再加熱型カラー舗装 表層工　再生細粒度AS13	—
H5	路盤工　再生切込砕石RC-40	—
H6	不陸整正　粒調砕石W-40	7.01
H7	不陸整正　再生切込砕石RC-40	1.48
舗装取壊し		m
T1	車道表層工　t=5cm	4.47
T2	歩道表層工　t=3cm	—

NO.8

GH=15.10
FH=15.174



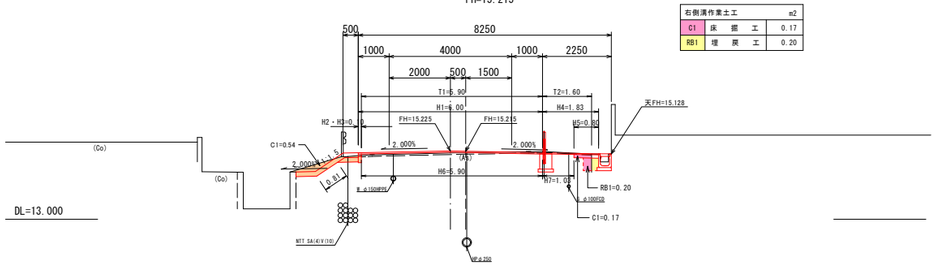
DL=13.000

右側溝作業土工		m2	①	②
C1	床　掘　工	0.44	1.31
RB1	埋　戻　工	0.35	0.81

土　工		m2	①	②
C1	掘　削　工　(左側)	0.23	0.23
B1	盛　土　工	—	—
RB1	埋　戻　工	—	—
舗 装 工		m	①	②
H1	表層工 再生密粒度AS(13F)	6.00	6.00
H2	上層路盤工　粒調砕石W-40	—	—
H3	下層路盤工　再生切込砕石RC-40	—	—
H4	再加熱型カラー舗装 表層工　再生細粒度AS13	2.30	2.07
H5	路盤工　再生切込砕石RC-40	0.80	0.80
H6	不陸整正　粒調砕石W-40	6.00	6.00
H7	不陸整正　再生切込砕石RC-40	1.27	1.27
舗装取壊し		m	①	②
T1	車道表層工　t=5cm		5.76	5.76
T2	歩道表層工　t=3cm		1.76	1.76
	切土法面整形		0.69	0.69

NO.7

GH=15.17
FH=15.215



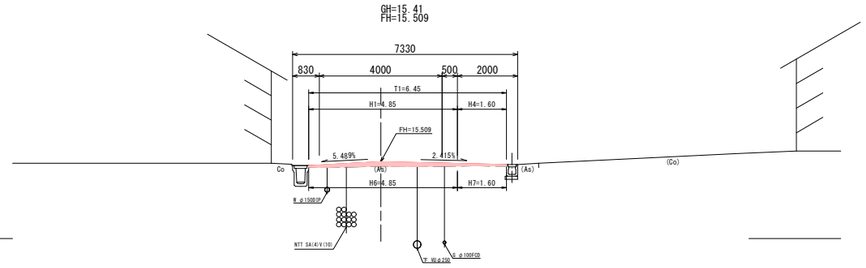
DL=13.000

右側溝作業土工		m2
C1	床　掘　工	0.17
RB1	埋　戻　工	0.20

土　工		m2
C1	掘　削　工　(左側)	0.54
B1	盛　土　工	—
RB1	埋　戻　工	—
舗 装 工		m
H1	表層工 再生密粒度AS(13F)	6.00
H2	上層路盤工　粒調砕石W-40	0.10
H3	下層路盤工　再生切込砕石RC-40	0.10
H4	再加熱型カラー舗装 表層工　再生細粒度AS13	1.83
H5	路盤工　再生切込砕石RC-40	0.80
H6	不陸整正　粒調砕石W-40	5.90
H7	不陸整正　再生切込砕石RC-40	1.03
舗装取壊し		m
T1	車道表層工　t=5cm	5.90
T2	歩道表層工　t=3cm	1.60
	切土法面整形	0.81

NO.13

GH=15.41
FH=15.509

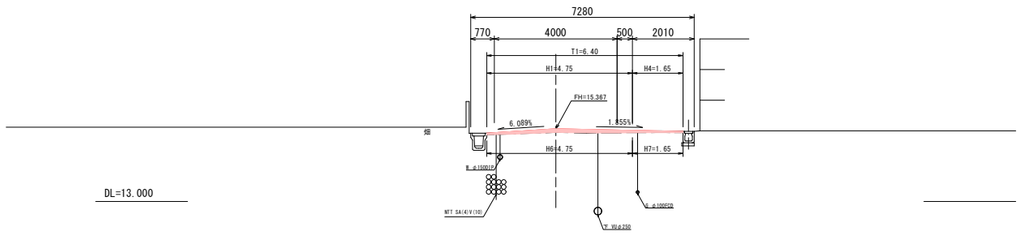


DL=13.000

土　工		m2
C1	掘　削　工　(左側)	—
B1	盛　土　工	—
RB1	埋　戻　工	—
舗 装 工		m
H1	表層工 再生密粒度AS(13F)	6.45
H2	上層路盤工　粒調砕石W-40	—
H3	下層路盤工　再生切込砕石RC-40	—
H4	再加熱型カラー舗装 表層工　再生細粒度AS13	1.60
H5	路盤工　再生切込砕石RC-40	—
H6	不陸整正　粒調砕石W-40	6.45
H7	不陸整正　再生切込砕石RC-40	—
舗装取壊し		m
T1	車道表層工　t=5cm	6.45
T2	歩道表層工　t=3cm	—

NO.12

GH=15.30
FH=15.367

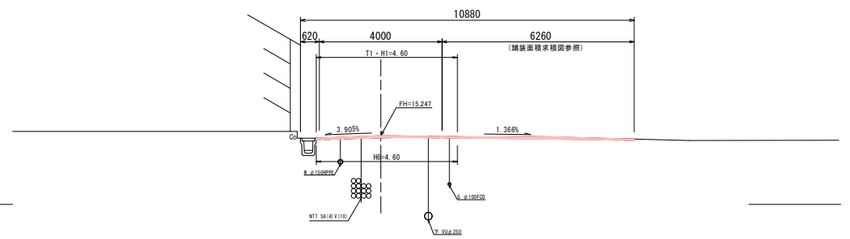


DL=13.000

土　工		m2
C1	掘　削　工　(左側)	—
B1	盛　土　工	—
RB1	埋　戻　工	—
舗 装 工		m
H1	表層工 再生密粒度AS(13F)	4.75
H2	上層路盤工　粒調砕石W-40	—
H3	下層路盤工　再生切込砕石RC-40	—
H4	再加熱型カラー舗装 表層工　再生細粒度AS13	1.65
H5	路盤工　再生切込砕石RC-40	—
H6	不陸整正　粒調砕石W-40	4.75
H7	不陸整正　再生切込砕石RC-40	1.65
舗装取壊し		m
T1	車道表層工　t=5cm	6.40
T2	歩道表層工　t=3cm	—

IP.4

GH=15.22
FH=15.247

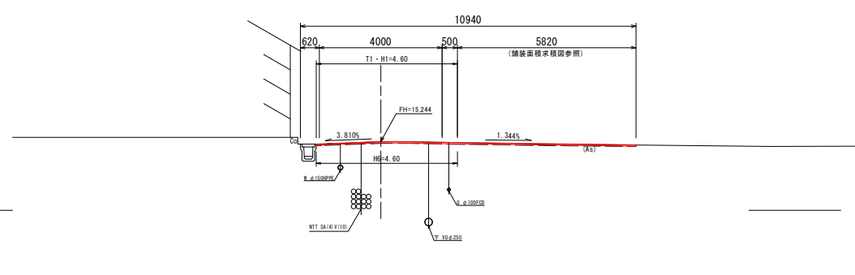


DL=13.000

土　工		m2
C1	掘　削　工　(左側)	—
B1	盛　土　工	—
RB1	埋　戻　工	—
舗 装 工		m
H1	表層工 再生密粒度AS(13F)	4.60
H2	上層路盤工　粒調砕石W-40	—
H3	下層路盤工　再生切込砕石RC-40	—
H4	再加熱型カラー舗装 表層工　再生細粒度AS13	—
H5	路盤工　再生切込砕石RC-40	—
H6	不陸整正　粒調砕石W-40	4.60
H7	不陸整正　再生切込砕石RC-40	—
舗装取壊し		m
T1	車道表層工　t=5cm	4.60
T2	歩道表層工　t=3cm	—

NO.11

GH=15.23
FH=15.244

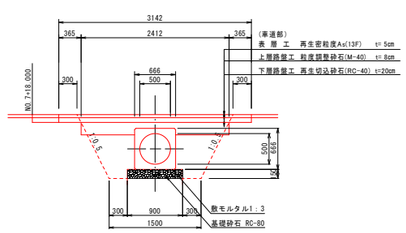


DL=13.000

土　工		m2
C1	掘　削　工　(左側)	—
B1	盛　土　工	—
RB1	埋　戻　工	—
舗 装 工		m
H1	表層工 再生密粒度AS(13F)	4.60
H2	上層路盤工　粒調砕石W-40	—
H3	下層路盤工　再生切込砕石RC-40	—
H4	再加熱型カラー舗装 表層工　再生細粒度AS13	—
H5	路盤工　再生切込砕石RC-40	—
H6	不陸整正　粒調砕石W-40	4.60
H7	不陸整正　再生切込砕石RC-40	—
舗装取壊し		m
T1	車道表層工　t=5cm	4.60
T2	歩道表層工　t=3cm	—

NO.8横断函渠控除延長

s=1:50

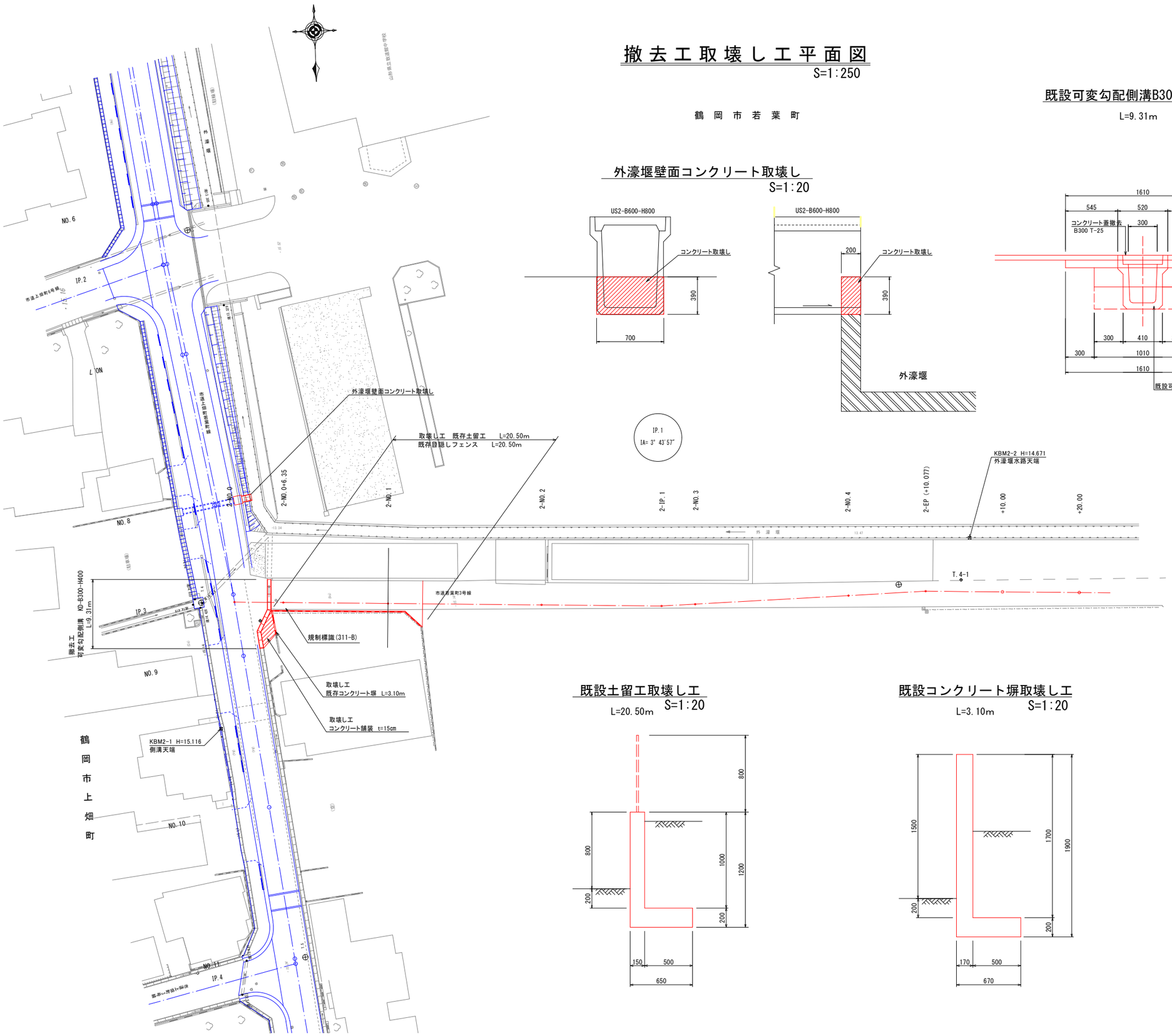


実施

令　和　8　年　度	図　番	14 葉 5
路線名又は河川名	市道上畑町若葉町線	
工事名	市道上畑町若葉町線道路改良工事	
位　置	鶴岡市上畑町・若葉町地内	
横断図（2／4）		4 葉 2
縮　尺　S=1:100	鶴　岡　市	

撤去工取壊し工平面図

S=1:250

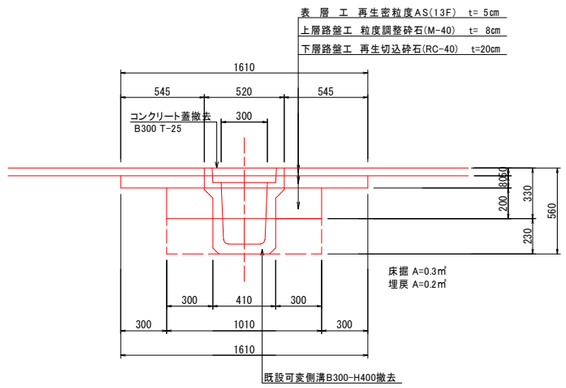


外濠堰壁面コンクリート取壊し

S=1:20

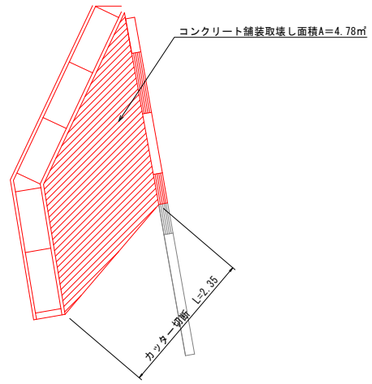
既設可変勾配側溝B300-H400撤去工

L=9.31m S=1:20



コンクリート舗装取壊し工

S=1:50



既設土留工取壊し工

L=20.50m S=1:20

既設コンクリート塀取壊し工

L=3.10m S=1:20

特記事項

・指示標識の撤去移設については、公安委員会に依頼する。

・青色の計画線は、市道上畑町若葉町線の計画を示す。

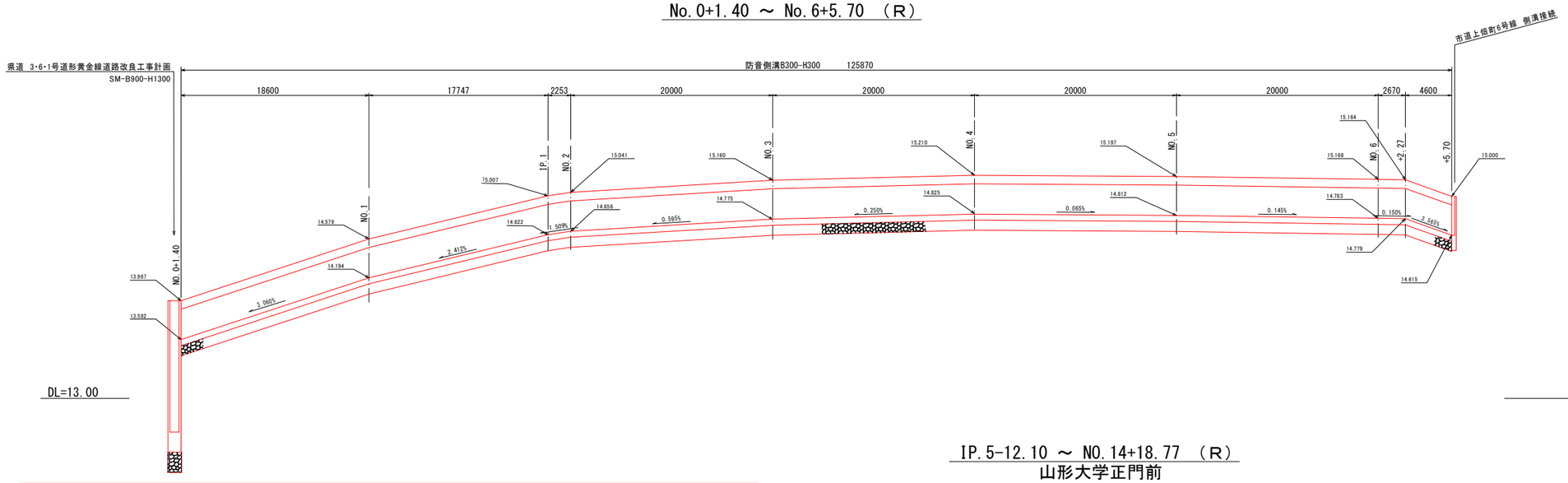
実施

令和8年度	図番	14葉 6	
路線名又は河川名	市道若葉町3号線		
工事名	市道上畑町若葉町線道路改良工事		
位置	鶴岡市上畑町・若葉町地内		
撤去工取壊し平面図 1葉 1			
縮尺	図示	鶴岡市	

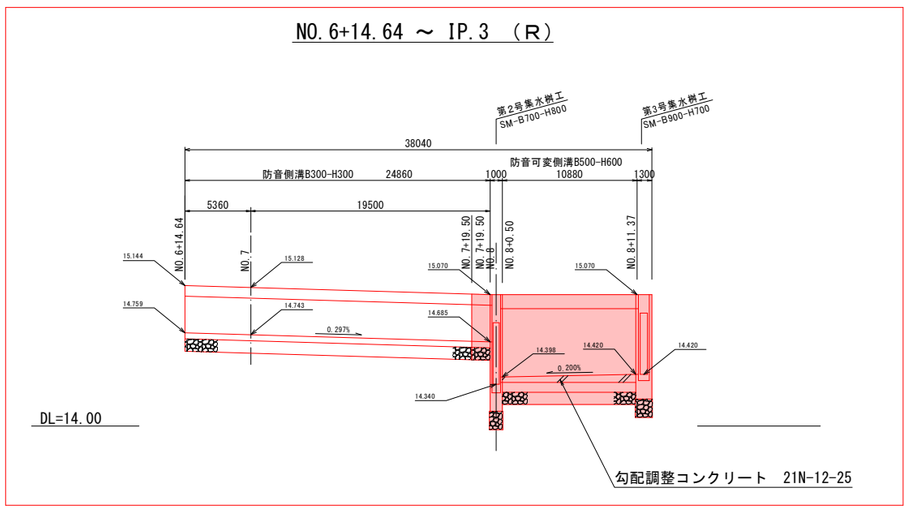
排水施設側面図

V=1:25
H=1:250

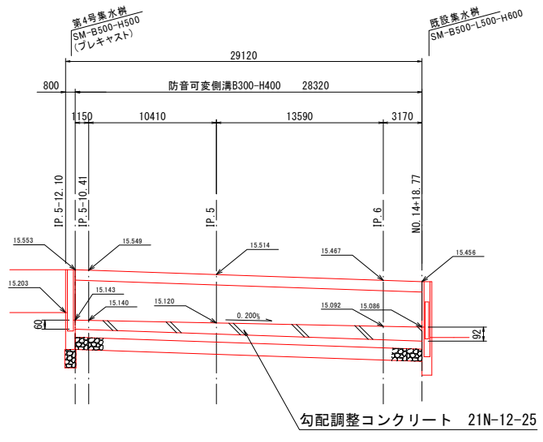
No.0+1.40 ～ No.6+5.70 （R）



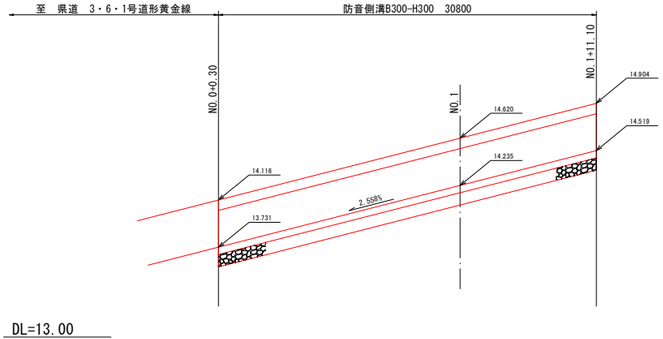
NO.6+14.64 ～ IP.3 （R）



IP.5-12.10 ～ NO.14+18.77 （R）
山形大学正門前

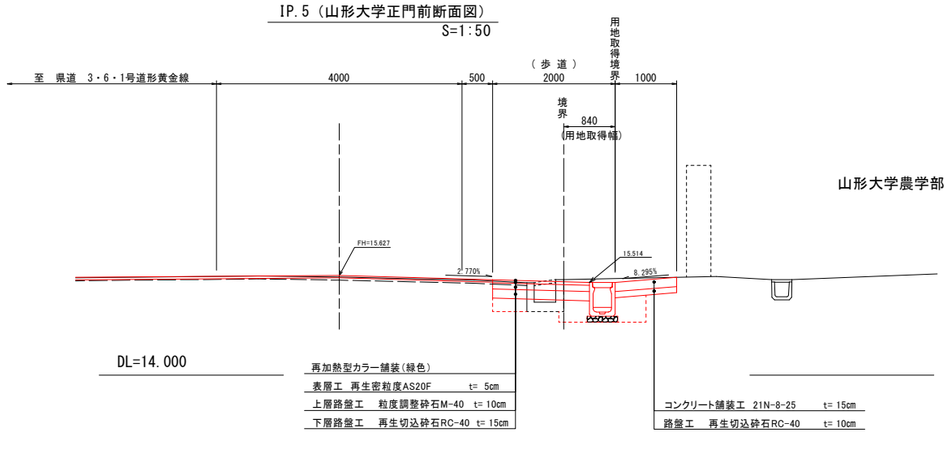


NO.0+0.30 ～ NO.1+11.10 （L）



IP.5（山形大学正門前断面図）

S=1:50

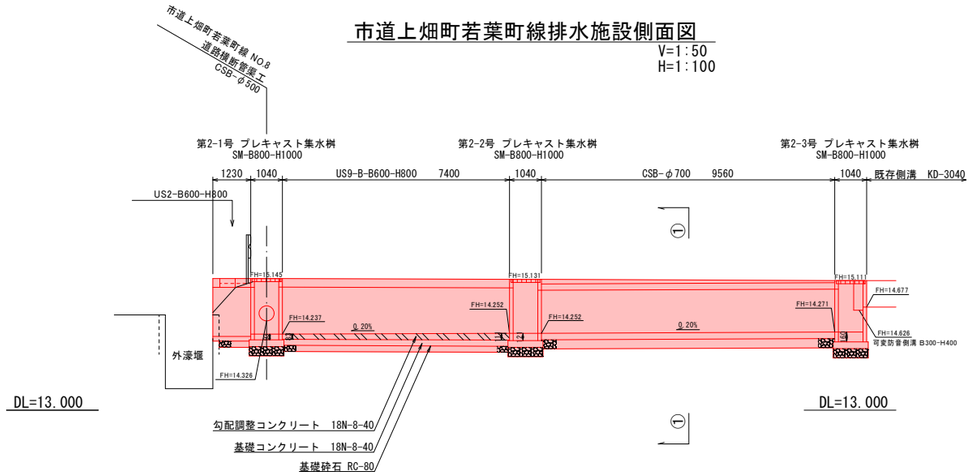


実施

令 和 8 年 度		図 番	14 葉 7
路線名又は河川名	市道上畑町若葉町線		
工 事 名	市道上畑町若葉町線道路改良工事		
位 置	鶴岡市上畑町・若葉町地内		
排水施設側面図 2葉1			
縮 尺 図 示	鶴 岡 市		

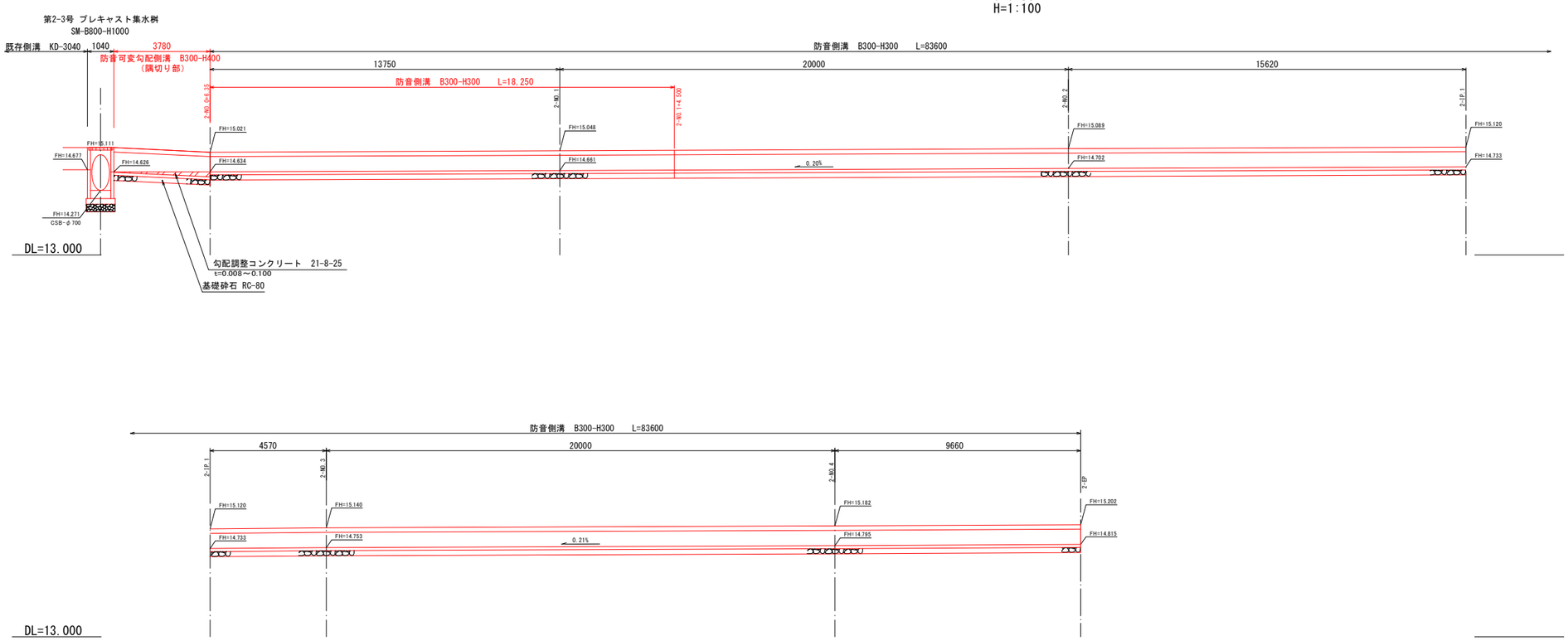
市道上畑町若葉町線排水施設側面図

V=1:50
H=1:100



市道若葉町３号線排水施設側面図

V=1:50
H=1:100



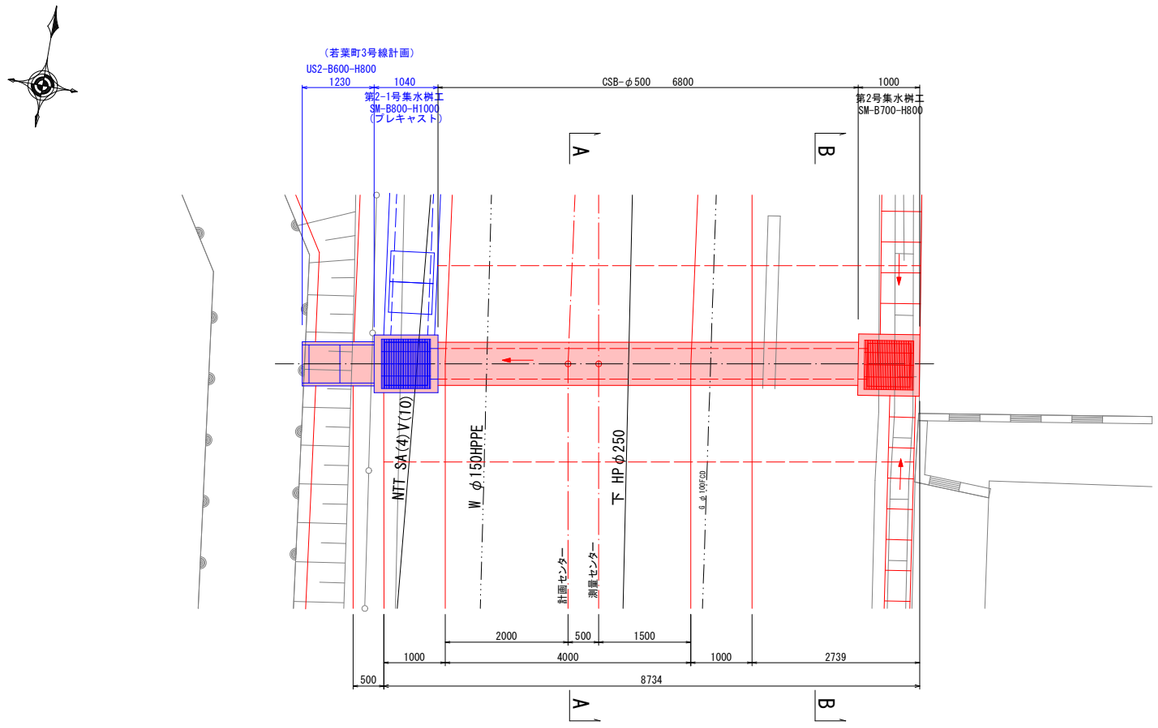
実施

令和 8 年度	図番	14 葉 8
路線名又は河川名	市道若葉町3号線	
工事名	市道上畑町若葉町線道路改良工事	
位置	鶴岡市上畑町・若葉町地内	
排水施設側面図(参考図) 1 葉 1		
縮尺	V= 1:50 H=1:100	鶴岡市

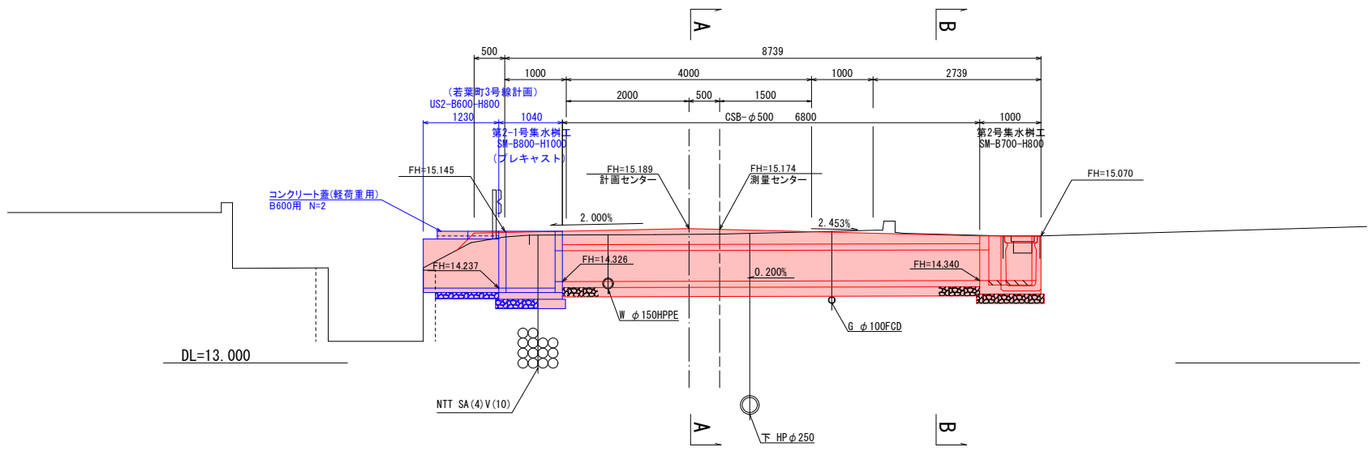
横断排水工詳細図

NO.8

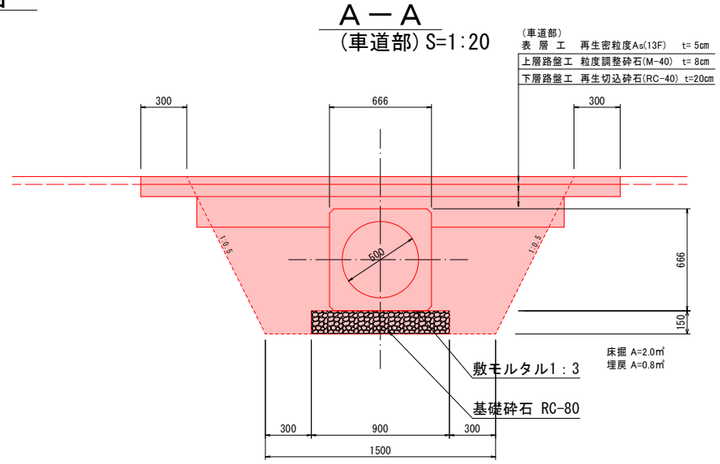
平面図
S=1:50



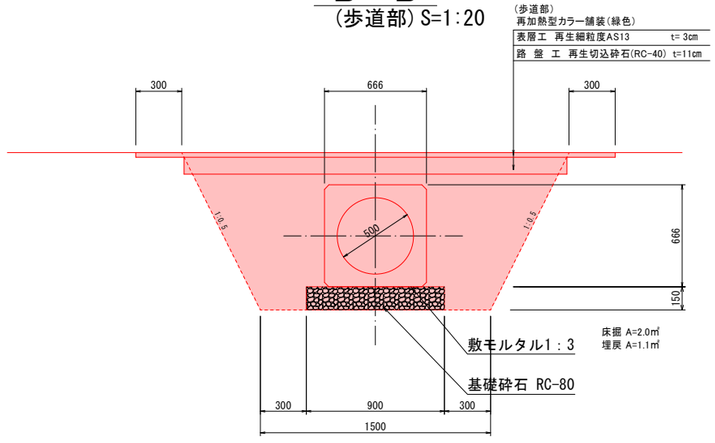
側面図
S=1:50



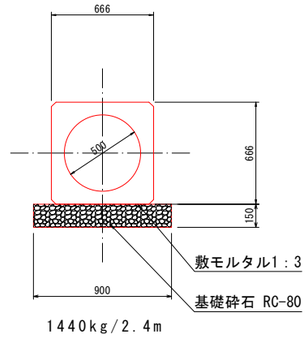
Ａ－Ａ
（車道部）S=1:20



Ｂ－Ｂ
（歩道部）S=1:20



遠心ボックスカルバート
ＣＳＢ－φ500 S=1:20



1440kg/2.4m

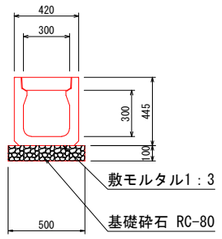
実施

令 和 8 年 度		図 番	14 葉 9
路線名又は河川名	市道上畑町若葉町線		
工 事 名	市道上畑町若葉町線道路改良工事		
位 置	鶴岡市上畑町・若葉町地内		
横断図排水工詳細図 1 葉 1			
縮 尺	図 示	鶴 岡 市	

排 水 施 設 構 造 図

防音側溝　B300-H300

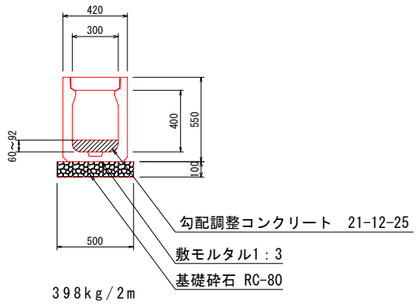
S=1:20



357kg/2m

防音可変側溝　B300-H400

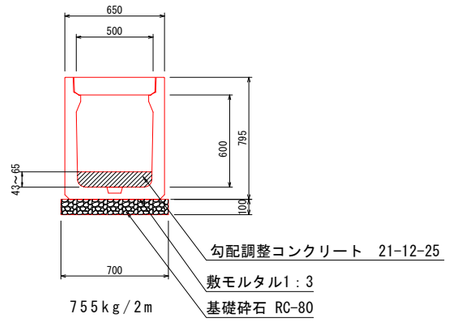
S=1:20



398kg/2m

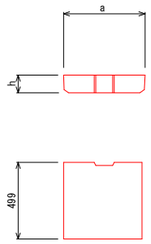
防音可変側溝　B500-H600

S=1:20



755kg/2m

防音側溝用蓋



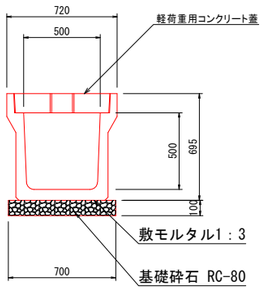
防音側溝用蓋

記　号	寸法表（mm） a	h	
B300	322	85	31kg/枚
B500	532	115	69kg/枚

管理用として10mに1箇所程度
ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋を設置する。

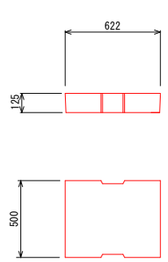
US2-B500-H500

S=1:20



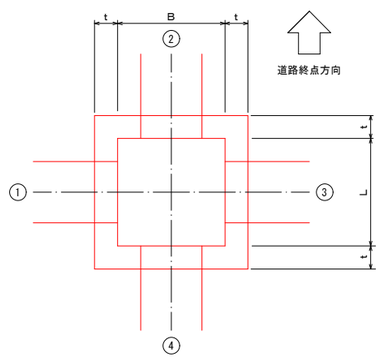
594kg/2m

US2型用蓋(T-25)　124kg/枚



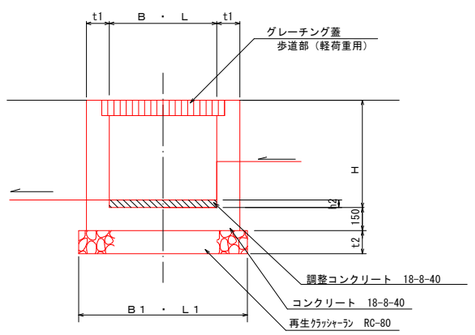
集水桝工構造図（参考図）

平面図



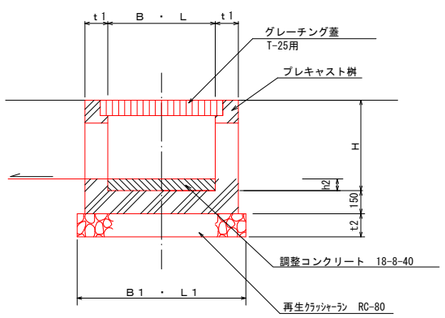
現場打構造図

側面図



プレキャスト構造図

側面図



集水桝寸法表

桝種別	規格名称	B	L	H	t1	B1	L1	t2	h2	摘要
第2－1号	SM-B800-H1000	800	800	1000	120	1240	1240	150	93	プレキャスト
第2－2号	SM-B800-H1000	800	800	1000	120	1240	1240	150	93	プレキャスト
第2－3号	SM-B800-H1000	800	800	1000	120	1240	1240	150	93	プレキャスト
第２号	SM-B700-H800	700	700	800	150	1100	1100	150	70	現場打
第３号	SM-B900-H700	900	900	700	200	1400	1400	200	50	現場打
第４号	SM-B500-H500	500	500	500	150	900	900	150	90	プレキャスト

集水桝配置表

種別	位置	①	②	③	④	天端高	桝蓋
第2－1号	NO.8 (L)	US2-B600-H800 EL=14.237	US3-B-B600-H800 EL=14.237	CSB－φ500 EL=14.326		EL=15.145	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋　T-25
第2－2号	NO.8+8.30 (L)	自由勾配側溝-B600-H800 EL=14.252		CSB－φ700 EL=14.252		EL=15.131	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋　T-25
第2－3号	NO.8+19.00 (L)	CSB－φ700 EL=14.271	防音可変側溝-B300-H400 EL=14.626	既存側溝　KD-3040 EL=14.677		EL=15.111	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋　T-25
第２号	NO.8 (R)	CSB－φ500 EL=14.340	防音可変側溝-B500-H600 EL=14.398		防音側溝-B300-H300 EL=14.685	EL=15.070	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋　T-14
第３号	IP.3 (R)		既存防音側溝B300-H300 EL=14.428	既存側溝B400-H400 EL=14.420	防音可変側溝-B500-H600 EL=14.420	EL=15.070	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋　T-14
第４号	IP.5-12.10(R)		防音可変側溝-B300-H400 EL=14.143		既存側溝B350-H350 EL=15.203	EL=15.553	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋　T-25

※ 青色記載事項は、若葉町3号計画を示す。

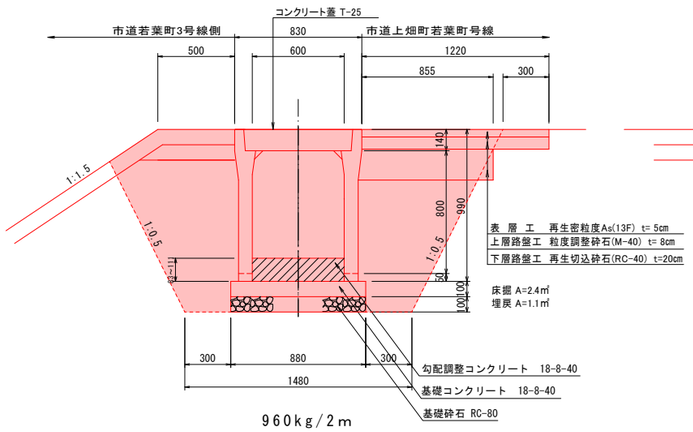
特記事項

・プレキャスト集水桝はT-25対応製品とする。
・プレキャスト集水桝の選定は、発注者と協議の上決定すること。
・メーカーに構造寸法を確認すること。
・上記参考図は「土木工事標準設計図集」を参照.

実施

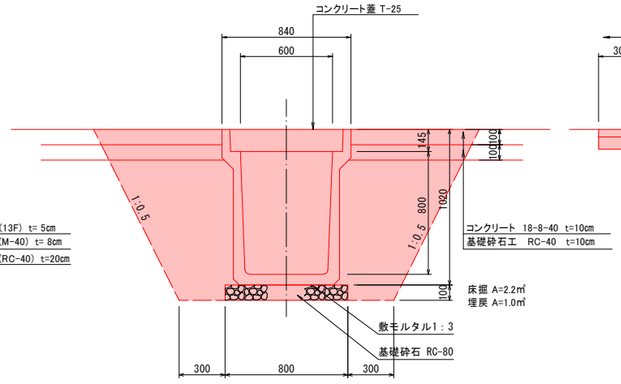
令和8年度		図番	14葉10
路線名又は河川名	市道上畑町若葉町線		
工事名	市道上畑町若葉町線道路改良工事		
位置	鶴岡市上畑町・若葉町地内		
排水施設構造図		2葉1	
縮尺	S=1:20	鶴岡市	

自由勾配側溝
US9-B-B600-H800
T-25　S=1:20



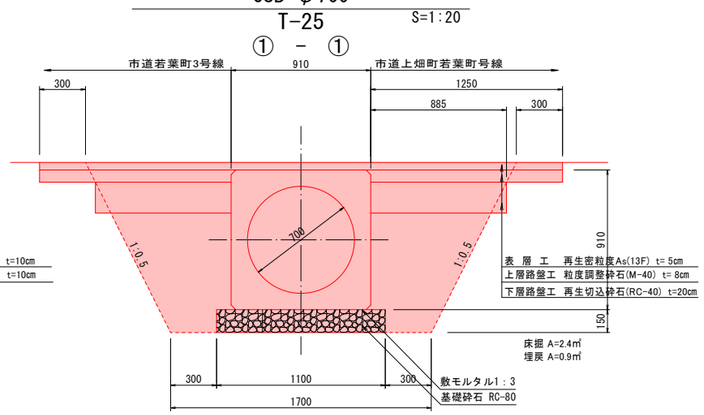
960kg/2m

鉄筋コンクリートU型(落蓋式)
US2-B600-H800
T-25　S=1:20



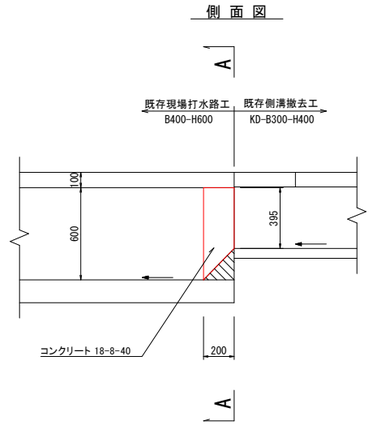
1140kg/2m

遠心ボックスカルバート
CSB-φ700
T-25　S=1:20

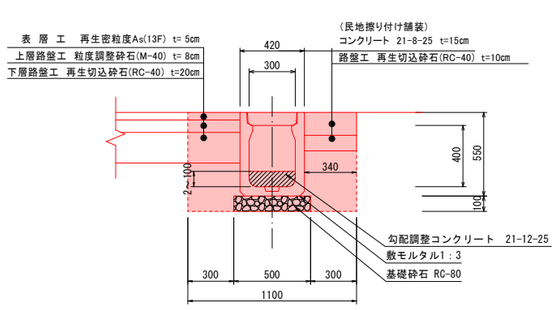


2590kg/2.4m

既存側溝閉塞工
S=1:20

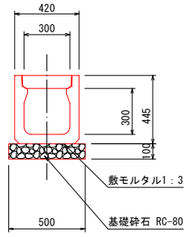


防音可変勾配側溝
B300-H400
T-25　S=1:20



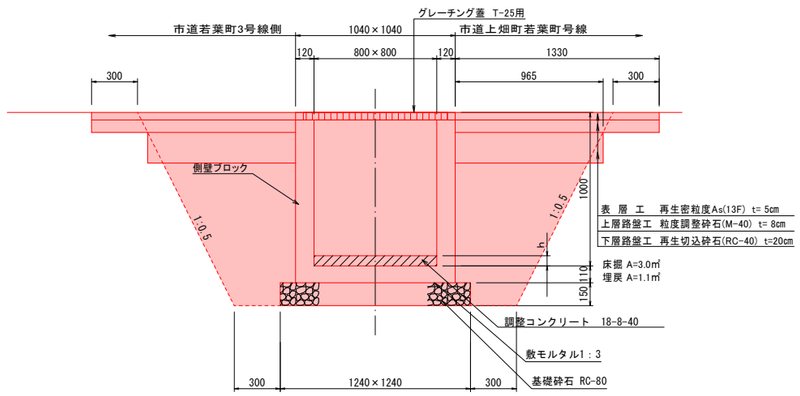
398g/2m

防音側溝
B300-H300
T-25　S=1:20



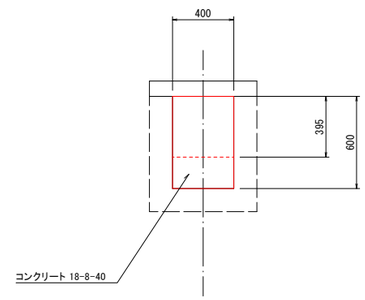
357g/2m

プレキャスト集水桝工(参考図)
SM-B800-H1000
T-25　S=1:20



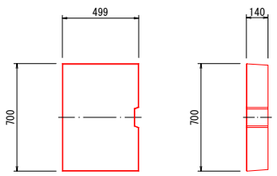
904kg/個

A － A



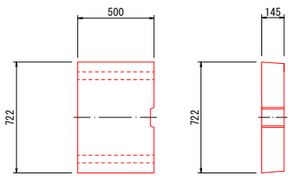
コンクリート蓋
S=1:20

重荷重用(T-25)
US9-B　側溝用



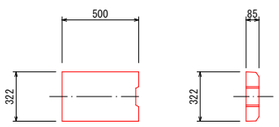
109kg/枚

重荷重用(T-25)
US2　側溝用



124kg/枚

防音側溝蓋
S=1:20



31kg/枚

管理用として10mに1箇所程度
ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋を設置する。

特記事項

・プレキャスト集水桝はT-25対応製品とする。
・プレキャスト集水桝は受注生産となるため、
　メーカーに構造寸法を確認すること。
・上記参考図は「土木工事標準設計図集」を参照.

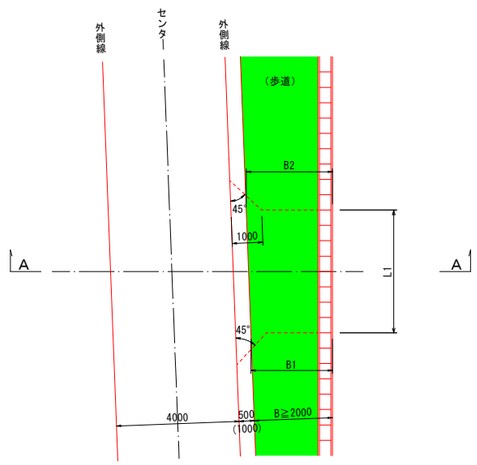
実施

令 和 8 年 度		図 番	14 葉 11
路線名又は河川名	市道上畑町若葉町線		
工 事 名	市道上畑町若葉町線道路改良工事		
位 置	鶴岡市上畑町・若葉町地内		
排水施設構造図		2 葉 2	
縮 尺	S=1:20	鶴 岡 市	

進 入 路 工 標 準 図

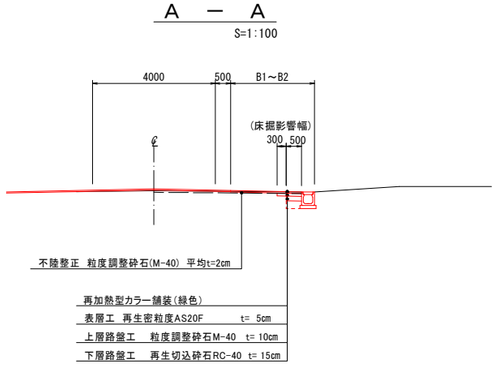
平 面 図

S=1:100



A ― A

S=1:100



進入路工寸法表

ｾﾝﾀｰ測点	L1	B1	B2	備 考
NO. 7+16.10	4000	2520	2630	進入路①
NO. 8+ 4.50	4000	2750	2770	進入路②
NO. 9+1.40	9000	2160	2100	進入路③
NO.10+ 3.25	7000	2010	2000	進入路④
NO.11+16.75	6500	2120	2100	進入路⑤
NO.12+15.25	12500	2080	2000	進入路⑥
NO.13+ 6.25	5500	2050	2030	進入路⑦
IP.5-(0.60)	9000	2000	2000	進入路⑧ 山形大学農学部
NO.17+1.30	5000	2000	2000	進入路⑨ 朝暘第三小学校

特記機構

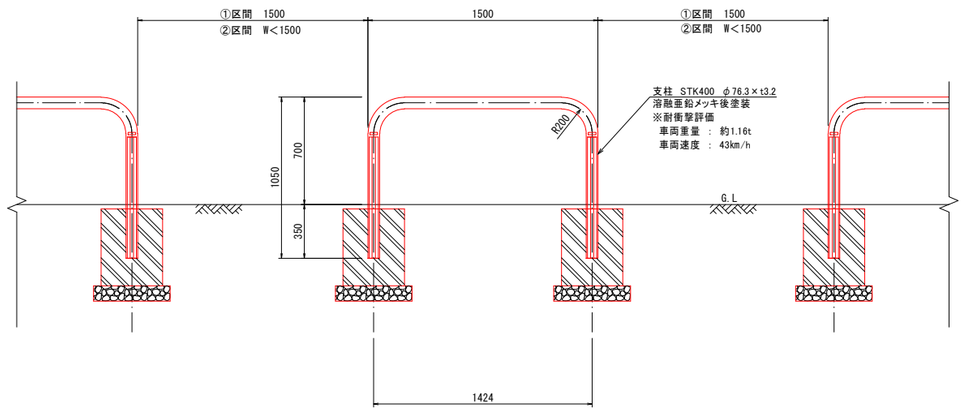
・進入路幅については、現況機能補償を考慮し現道進入路幅を設定している。

・現道舗装構成は車道及び既存進入路の舗装構成となっているものと想定できるため、
床掘影響範囲以外については既存表層工を撤去後、不陸整正を施しｺﾝｸﾘｰﾄ舗装工のみ打設することとする。

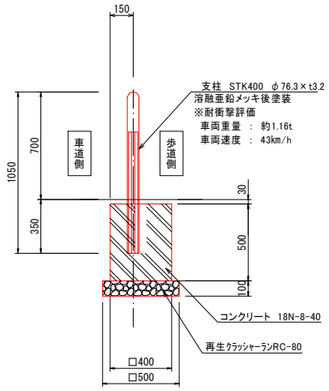
ボラード詳細図（参考図）

S=1:20

正 面 図



側 面 図



特 記 事 項

・上記参考図と同等程度以上の製品を使用すること。

・ボラード設置間隔は以下間隔を標準とする。

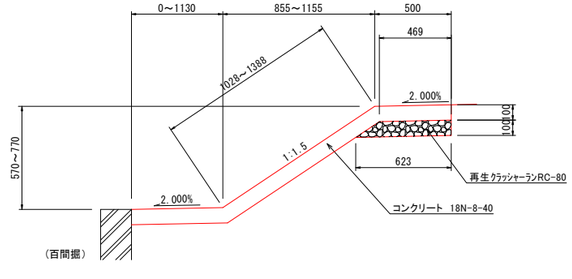
① NO.0～IP.3間のボラード間隔を1.50m以下を標準とする。

② IP.3～NO.10+10.00間のボラード間隔は、既存歩道縁石の範囲以内に設置するものとし、ボラード間隔は1.5m以下で配置する。

・右図進入路の路肩隅切り間範囲にボラードは設置しないこと。

防草コンクリート工標準図

S=1:20



特 記 事 項

・奥行10m間隔に目地工を設けること。

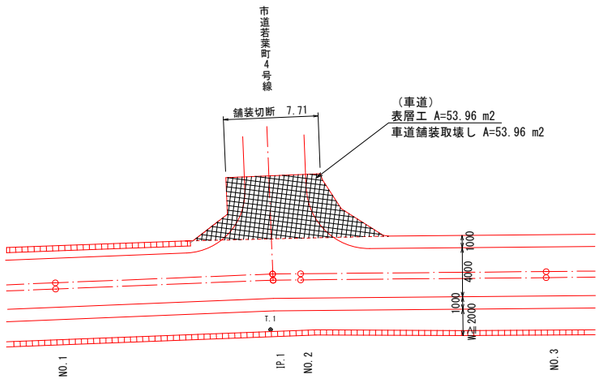
実施

令 和 8 年 度		図 番	14 葉 12
路線名又は河川名	市道上畑町若葉町線		
工 事 名	市道上畑町若葉町線道路改良工事		
位 置	鶴岡市上畑町・若葉町地内		
進入路工標準図 H型ボラード詳細図 1葉1 安全施設構造図（参考図）			
縮 尺 図 示	鶴 岡 市		

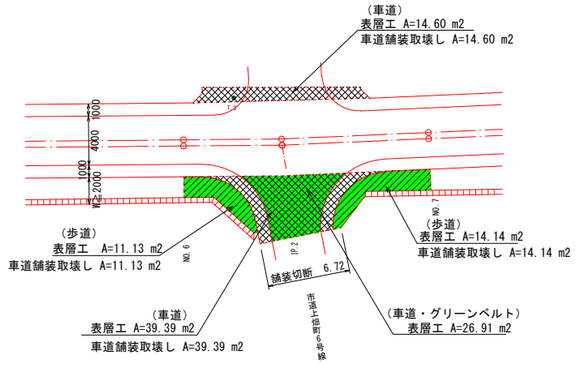
舗 装 面 積 算 出 図

S=1:250

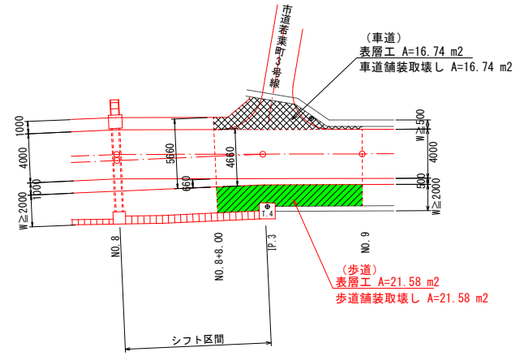
IP.1（市道若葉町4号線交差点）



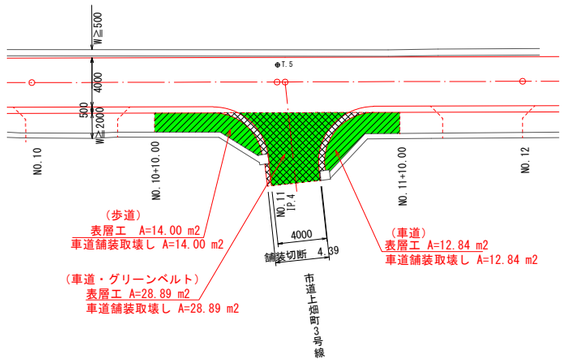
IP.2（市道上畑町6号線交差点）



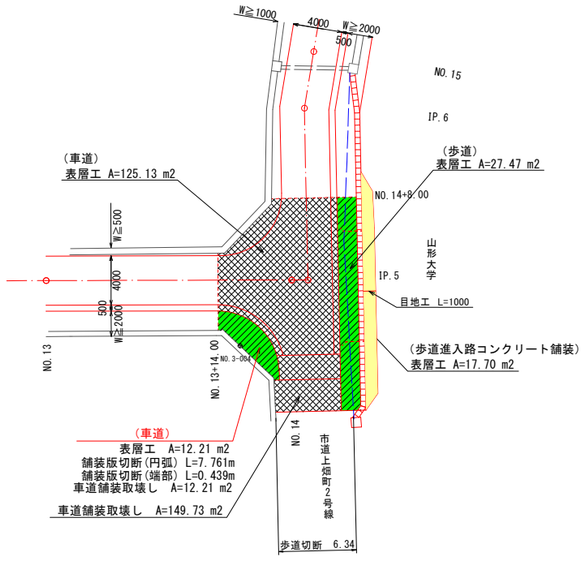
IP.3（市道若葉町3号線交差点）



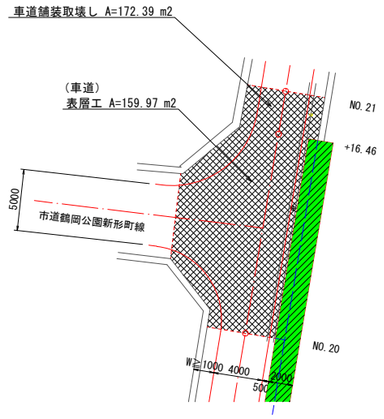
IP.4（市道上畑町3号線交差点）



IP.5（市道上畑町2号線交差点）



（市道鶴岡公園新形町線交差点）



実施

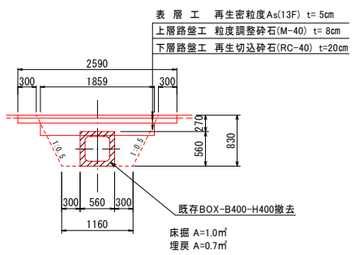
令 和 8 年 度		図 番	14 葉 13
路線名又は河川名	市道上畑町若葉町線		
工 事 名	市道上畑町若葉町線道路改良工事		
位 置	鶴岡市上畑町・若葉町地内		
舗 装 面 積 算 出 図		1 葉 1	
縮 尺	S=1:250	鶴 岡 市	

撤去工取壊し工平面図

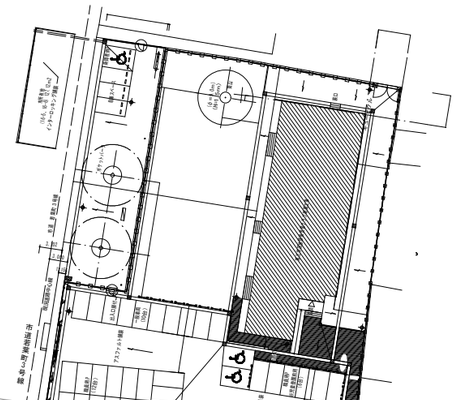
S=1:500

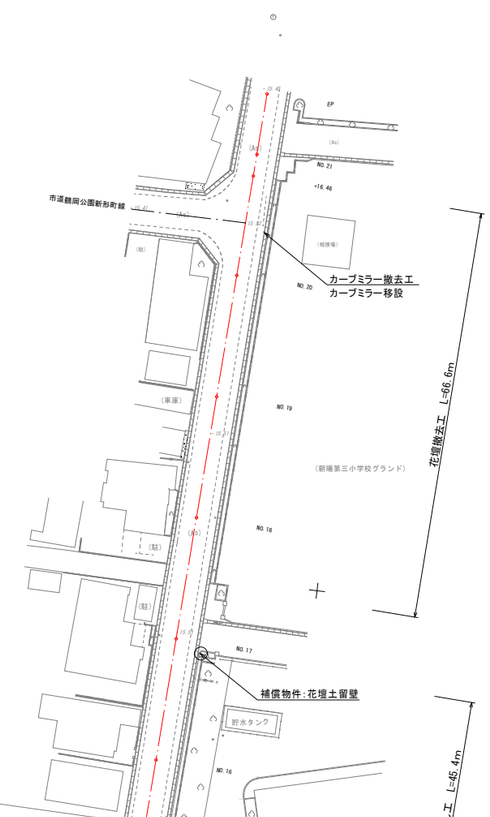
既設BOX-B400-H400撤去工

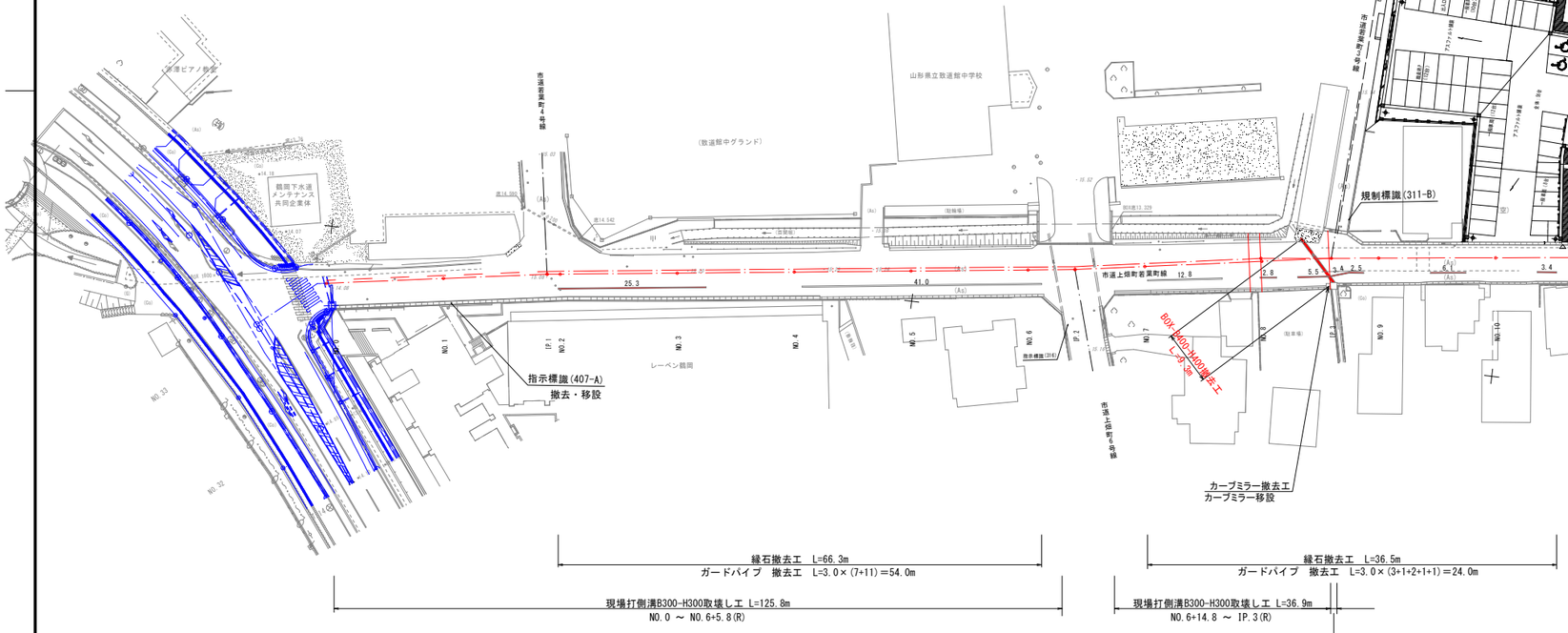
S=1:50



鶴岡市若葉町







緑石撤去工　L=66.3m
ガードパイプ　撤去工　L=3.0×(7+11)＝54.0m
現場打側溝B300-H300取壊し工 L=125.8m
NO.0 ～ NO.6+5.8(R)

緑石撤去工　L=36.5m
ガードパイプ　撤去工　L=3.0×(3+1+2+1+1)＝24.0m
現場打側溝B300-H300取壊し工 L=36.9m
NO.6+14.8 ～ IP.3(R)
現場打集水桝取壊し工
B=1.30×L=1.30×H0.80

鶴岡市上畑町

実施

令和 8 年度	図番	14 葉 14	
路線名又は河川名	市道上畑町若葉町線		
工事名	市道上畑町若葉町線道路改良工事		
位置	鶴岡市上畑町・若葉町地内		
撤去工取壊し工平面図　1 葉 1			
縮尺	図示	鶴岡市	

計画平面図

S=1:250

鶴岡市若葉町

市道上畑町若葉町線区間

市道若葉町３号線　道路改良工事　L=87.127m

令和8年度　市道若葉町３号線　道路改良工事 L=21.60m

可変防音側溝　B300-H400
L=3.78m

防音側溝　B300-H300　L=83.60m

防音側溝　B300-H300　L=18.30m

小型重力式擁壁工　SGW17　L=19.50m
目隠しフェンス　H=0.80　L=19.40m

外側線　実線（白）　W=15cm　L=131.6m

外側線　実線（白）W=15cm　L=20.5m

既存側溝閉塞工

2-NO.0+2.892
2-NO.0+3.78
2-NO.0+5.50
2-NO.1+4.37
2-NO.1+4.500
2-NO.0+6.350
2-NO.0
2-NO.1
2-NO.2
2-IP.1
2-NO.3
2-NO.4
2-EP (+10.077)
+10.00
+20.00

IP.1
IA= 3° 43' 57"

KBM2-2　H=14.671
外濠堰水路天端

KBM2-1　H=15.116
側溝天端

外側線　実線（白）W=15cm　L=23.8m

外側線　実線（白）　W=15cm　L=131.8m

NO.6
NO.7
NO.8
NO.9
NO.10
NO.11
IP.2
IP.3
IP.4

鶴岡市上畑町

特記事項

※　青色計画線は「市道上畑町若葉町線」の計画を示す。

実施

令和８年度		図番	８葉１
路線名又は河川名	市道若葉町3号線		
工事名	市道上畑町若葉町線道路改良工事		
位置	鶴岡市上畑町・若葉町地内		
計画平面図			１葉１
縮尺	S=1:250	鶴岡市	

KBM2-1
H=15.116

KBM2-2
H=14.671

市道上畑町若葉町線

市道若葉町３号線　道路改良工事　L=87.127m

EP.1

NO.0+2.892

令和8年度 市道若葉町3号線 道路改良工事 L=21.60m

2-NO.1+4.50

市道上畑町若葉町線用地境界杭設置センター
(NO.0+13.941)

擁壁高さ=1250～0 700 DL=14.281

市道若葉町線U300-H400 番号

Y=0.000

Y=0.000

Y=0.000

Y=0.000

VCL=25.000
VCR=540.000

20.00
15.00
10.00
5.00
DL=0.00

1：250

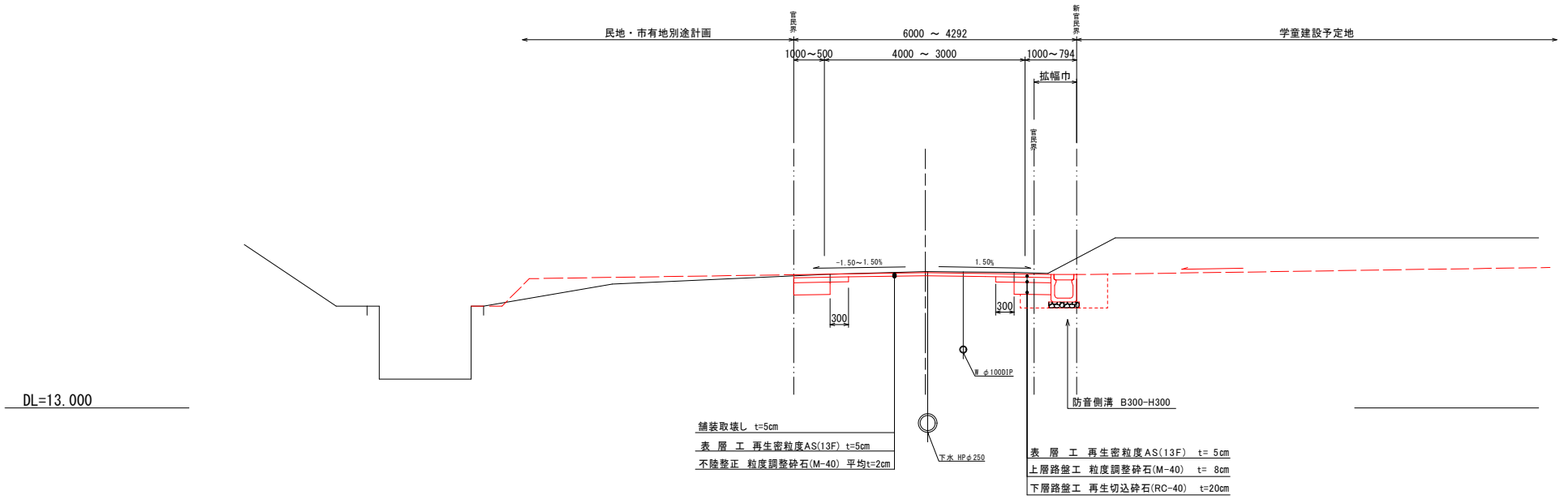
1：100

i=1.606%
L=6.350

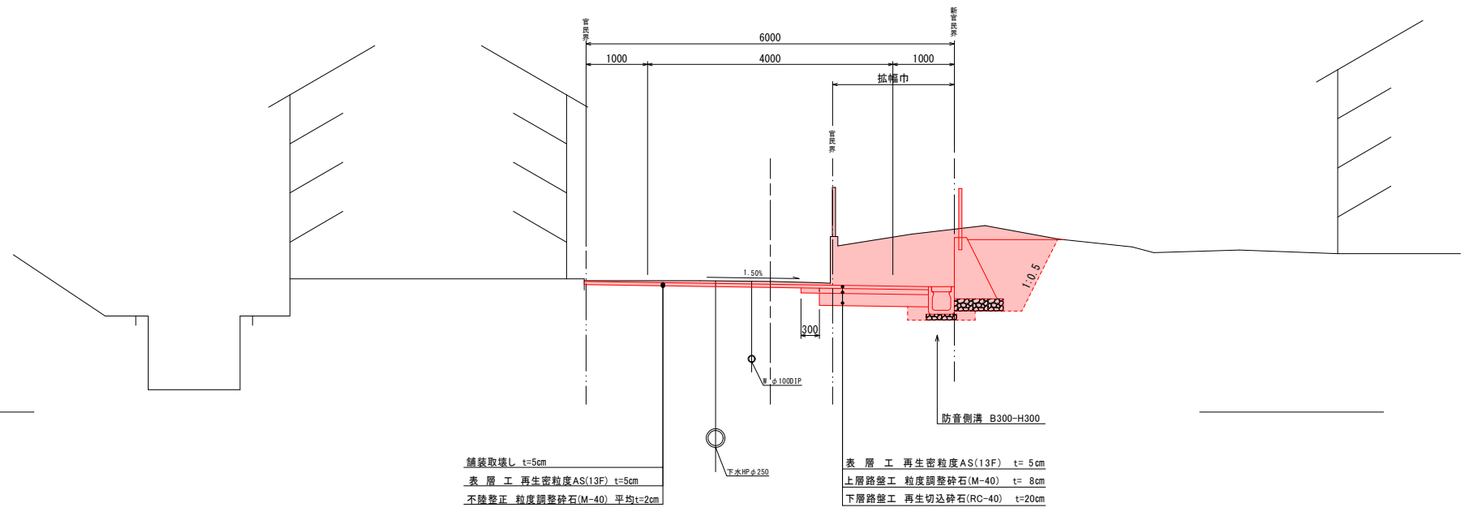
| | | |

標 準 断 面 図

2-NO.1+4.50～EP



2-NO.0+6.35～2-NO.1+4.50



設 計 条 件

道 路 規 格	第 4 種 第 4 級
設 計 速 度	V＝30km/h
交 通 量 区 分	N 2

舗 装 構 成 表

鶴岡市舗装復旧標準構成表（N２交通）

工 種	種 別	厚さ（cm）
表 層 工	再生密粒度AS(13F)	5
上層路盤工	粒調砕石 M－40	8
下層路盤工	再生クラッシャーランRC-40	20
合 計		33

表層工打換え部構成表

工 種	種 別	厚さ（cm）
表 層 工	再生密粒度AS(13F)	5
不陸整正工	粒調砕石 M－40	平均 2
合 計		平均 7

特 記 事 項

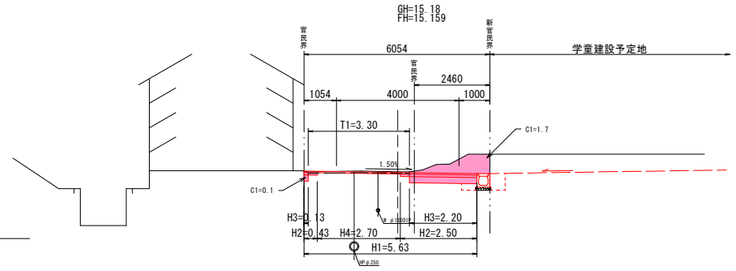
・表層工打換え前に既存舗装厚を確認すること。

実施

令 和 8 年 度		図 番	8 葉 3
路線名又は河川名	市道若葉町3号線		
工 事 名	市道上畑町若葉町線道路改良工事		
位 置	鶴岡市上畑町・若葉町地内		
標 準 横 断 図			1 葉 1
縮 尺	S=1:50	鶴 岡 市	

2-IP.1

GH=15.18
FH=15.159



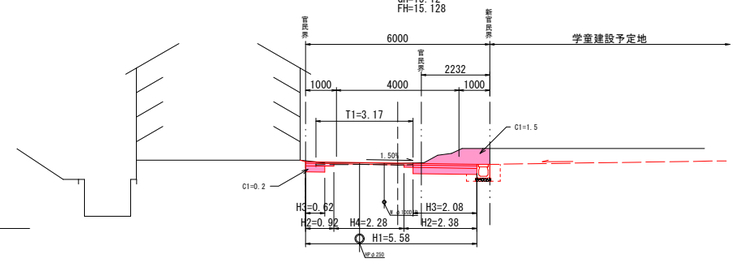
土　工		m2
C1	掘　削　工	1.8
舗装工		m
H1	表層工 再生密粒度AS(13F)	5.63
H2	上層路盤工　粒調砕石M-40	2.93
H3	下層路盤工　再生切込砕石RC-40	2.33
H4	不陸整正　粒調砕石M-40	2.70
舗装取壊し		m
T1	車道表層工　t=5cm	3.30

2-NO.1+4.37～2-NO.2

土　工		m2
C1	掘　削　工	1.7
舗装工		m
H1	表層工 再生密粒度AS(13F)	5.58
H2	上層路盤工　粒調砕石M-40	3.30
H3	下層路盤工　再生切込砕石RC-40	2.70
H4	不陸整正　粒調砕石M-40	2.28
舗装取壊し		m
T1	車道表層工　t=5cm	3.17

2-NO.2

GH=15.12
FH=15.128

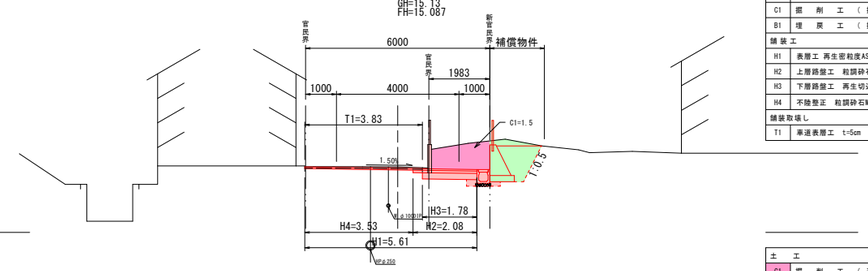


2-NO.1～2-NO.1+4.37

土　工		m2
C1	掘　削　工（道路部）	1.5
C2	床　掘　工（道路部）	1.1
C1	掘　削　工（擁壁部）	1.9
B1	埋　戻　工（擁壁部）	1.0
舗装工		m
H1	表層工 再生密粒度AS(13F)	5.61
H2	上層路盤工　粒調砕石M-40	2.08
H3	下層路盤工　再生切込砕石RC-40	1.78
H4	不陸整正　粒調砕石M-40	3.53
舗装取壊し		m
T1	車道表層工　t=5cm	3.83

2-NO.1

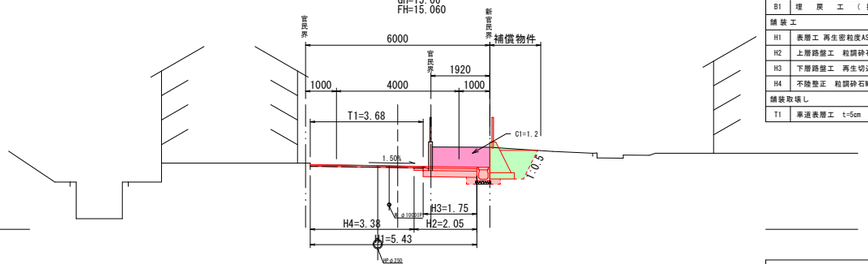
GH=15.13
FH=15.087



土　工		m2
C1	掘　削　工（道路部）	1.2
C2	床　掘　工（道路部）	1.0
C1	掘　削　工（擁壁部）	1.3
B1	埋　戻　工（擁壁部）	0.9
舗装工		m
H1	表層工 再生密粒度AS(13F)	5.43
H2	上層路盤工　粒調砕石M-40	2.05
H3	下層路盤工　再生切込砕石RC-40	1.75
H4	不陸整正　粒調砕石M-40	3.38
舗装取壊し		m
T1	車道表層工　t=5cm	3.68

2-NO.0+6.35

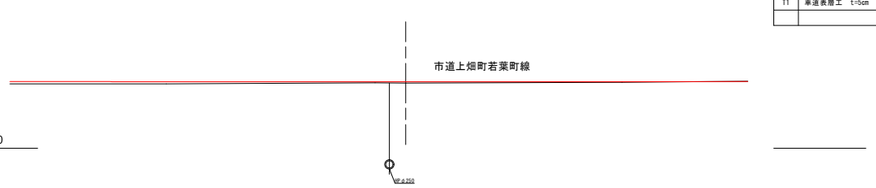
GH=15.06
FH=15.060



土　工		m2
C1	掘　削　工	—
舗装工		m
H1	表層工 再生密粒度AS(13F)	—
H2	上層路盤工　粒調砕石M-40	—
H3	下層路盤工　再生切込砕石RC-40	—
H4	不陸整正　粒調砕石M-40	—
舗装取壊し		m
T1	車道表層工　t=5cm	—

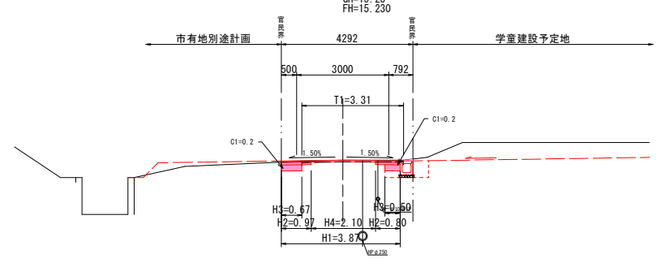
2-NO.0

GH=15.12
FH=15.162



2-EP

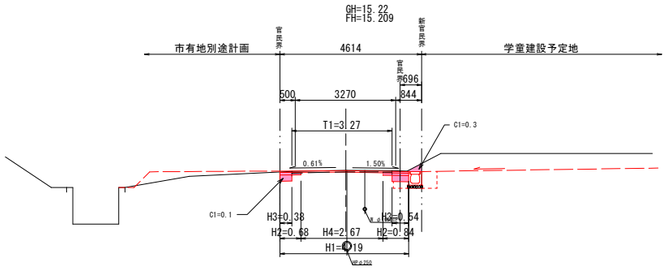
GH=15.23
FH=15.230



土　工		m2
C1	掘　削　工	0.4
舗装工		m
H1	表層工 再生密粒度AS(13F)	3.87
H2	上層路盤工　粒調砕石M-40	1.77
H3	下層路盤工　再生切込砕石RC-40	1.17
H4	不陸整正　粒調砕石M-40	2.10
舗装取壊し		m
T1	車道表層工　t=5cm	3.31

2-NO.4

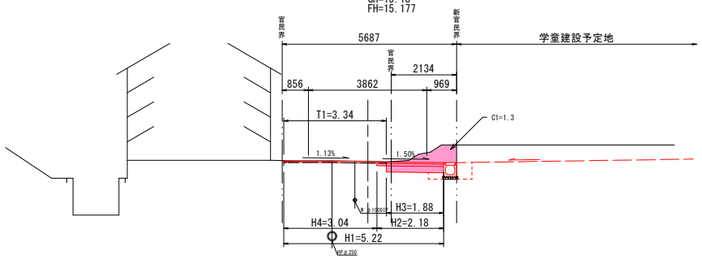
GH=15.22
FH=15.209



土　工		m2
C1	掘　削　工	0.4
舗装工		m
H1	表層工 再生密粒度AS(13F)	4.19
H2	上層路盤工　粒調砕石M-40	1.52
H3	下層路盤工　再生切込砕石RC-40	0.92
H4	不陸整正　粒調砕石M-40	2.67
舗装取壊し		m
T1	車道表層工　t=5cm	3.27

2-NO.3

GH=15.18
FH=15.177

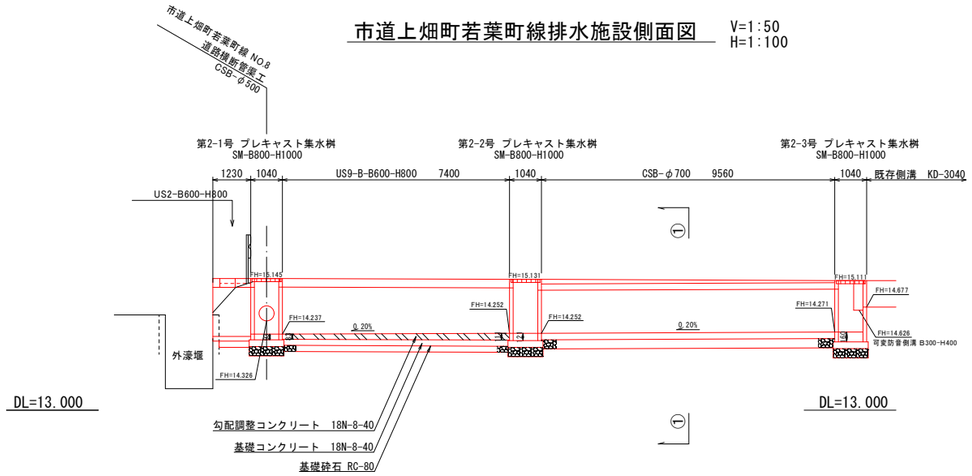


土　工		m2
C1	掘　削　工	1.3
舗装工		m
H1	表層工 再生密粒度AS(13F)	5.22
H2	上層路盤工　粒調砕石M-40	2.18
H3	下層路盤工　再生切込砕石RC-40	1.88
H4	不陸整正　粒調砕石M-40	3.04
舗装取壊し		m
T1	車道表層工　t=5cm	3.34

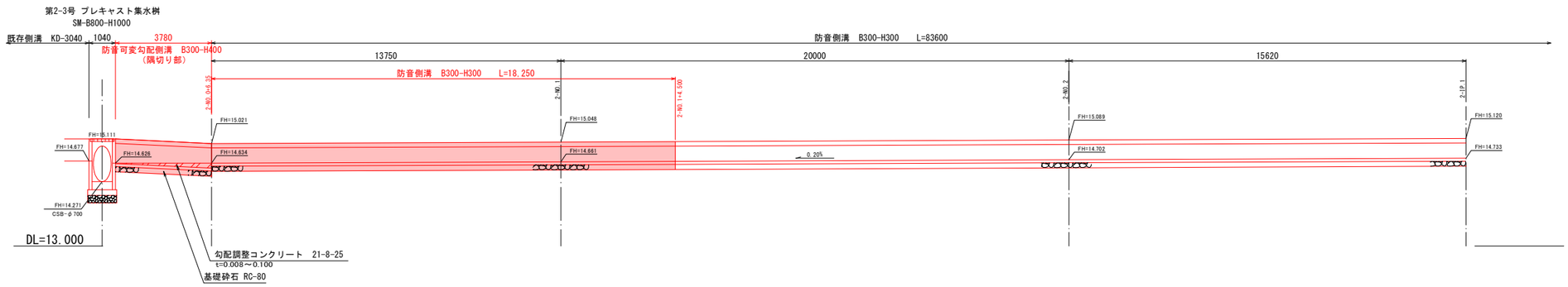
実施

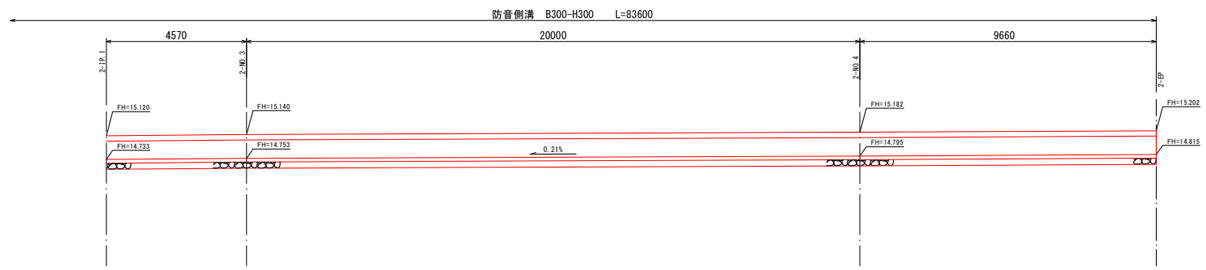
令　和　8　年　度	図　番	8 葉 4
路線名又は河川名	市道若葉町3号線	
工 事 名	市道上畑町若葉町線道路改良工事	
位　置	鶴岡市上畑町・若葉町地内	
縦　断　図		1 葉 1
縮　尺　S=1:100	鶴　岡　市	

市道上畑町若葉町線排水施設側面図　V=1:50 H=1:100



市道若葉町３号線排水施設側面図　V=1:50 H=1:100

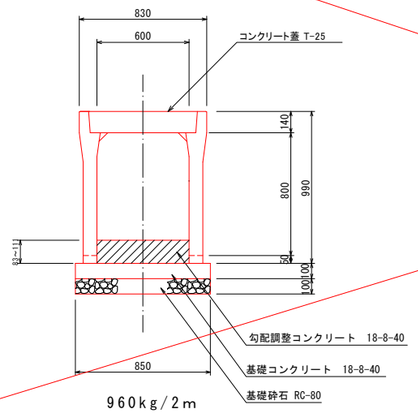




実施

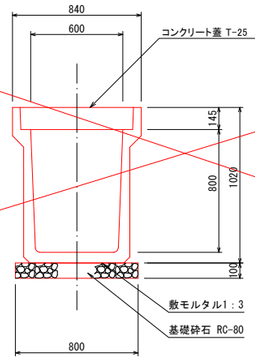
令 和 8 年 度		図 番	8 葉 5
路線名又は河川名	市道若葉町3号線		
工 事 名	市道上畑町若葉町線道路改良工事		
位 置	鶴岡市上畑町・若葉町地内		
排水施設側面図(参考図) 1 葉 1			
縮 尺	V= 1:50 H=1:100	鶴 岡 市	

自由勾配側溝　US9-B-B600-H800
T-25　S=1:20



960kg/2m

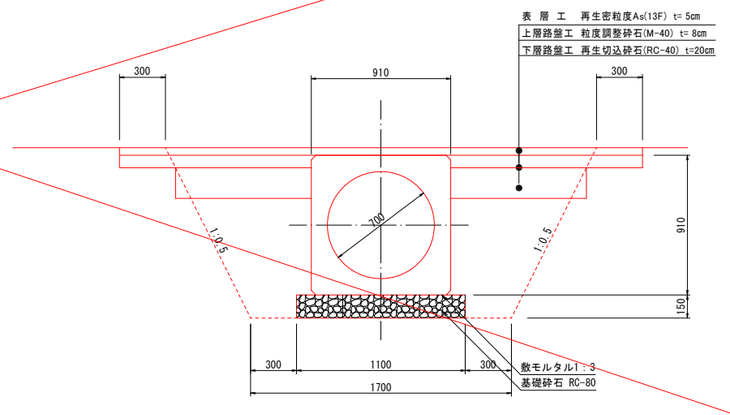
鉄筋コンクリートU型(落蓋式)
US2-B600-H800
T-25　S=1:20



1140kg/2m

遠心ボックスカルバート
CSB-φ700　S=1:20

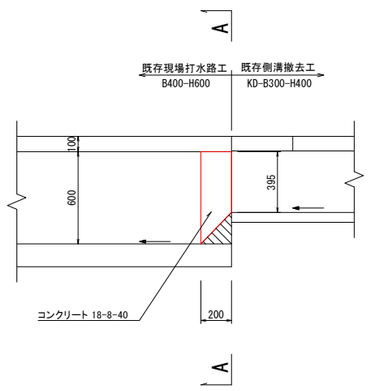
①　－　①



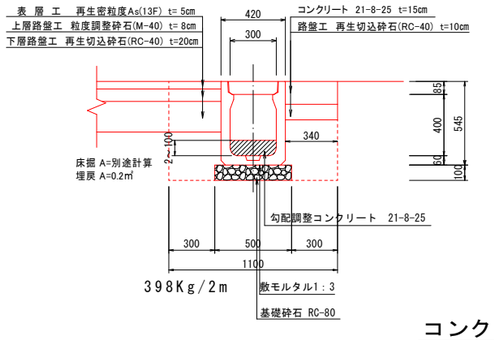
2590kg/2.4m

既存側溝閉塞工
S=1:20

側 面 図

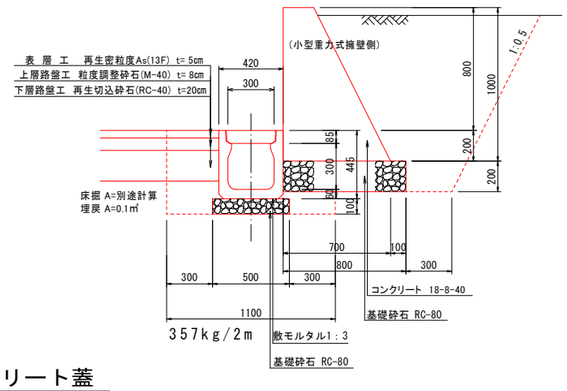


防音可変勾配側溝　B300-H400
T-25　S=1:20



398Kg/2m

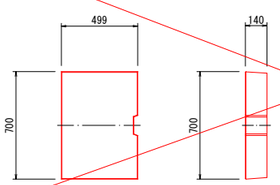
防音側溝　B300-H400
T-25　S=1:20



357kg/2m

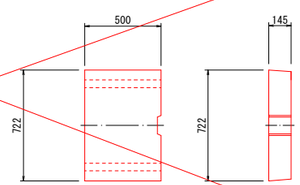
コンクリート蓋
S=1:20

重荷重用(T-25)
US9-B　側溝用



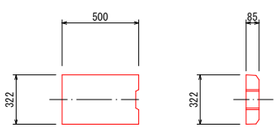
109kg/枚

重荷重用(T-25)
US2　側溝用



124kg/枚

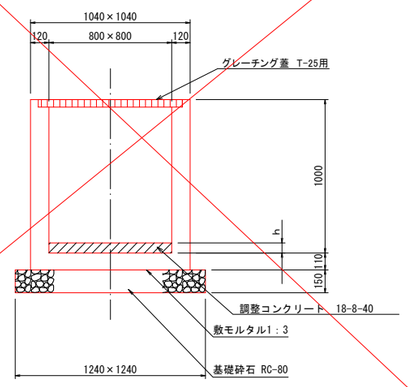
防音側溝蓋
S=1:20



31kg/枚

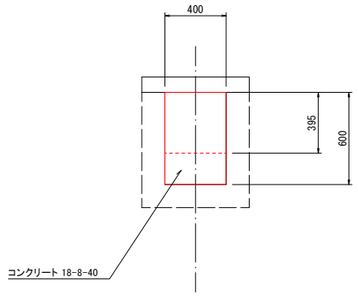
管理用として10mに1箇所程度
ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋を設置する。

プレキャスト集水桝工（参考図）
SM-B800-H1000　S=1:20



特記事項
- プレキャスト集水桝はT-25対応製品とする。
- プレキャスト集水桝は受注生産となるため、メーカーに構造寸法を確認すること。
- 上記参考図は「土木工事標準設計図集」を参照。

A － A

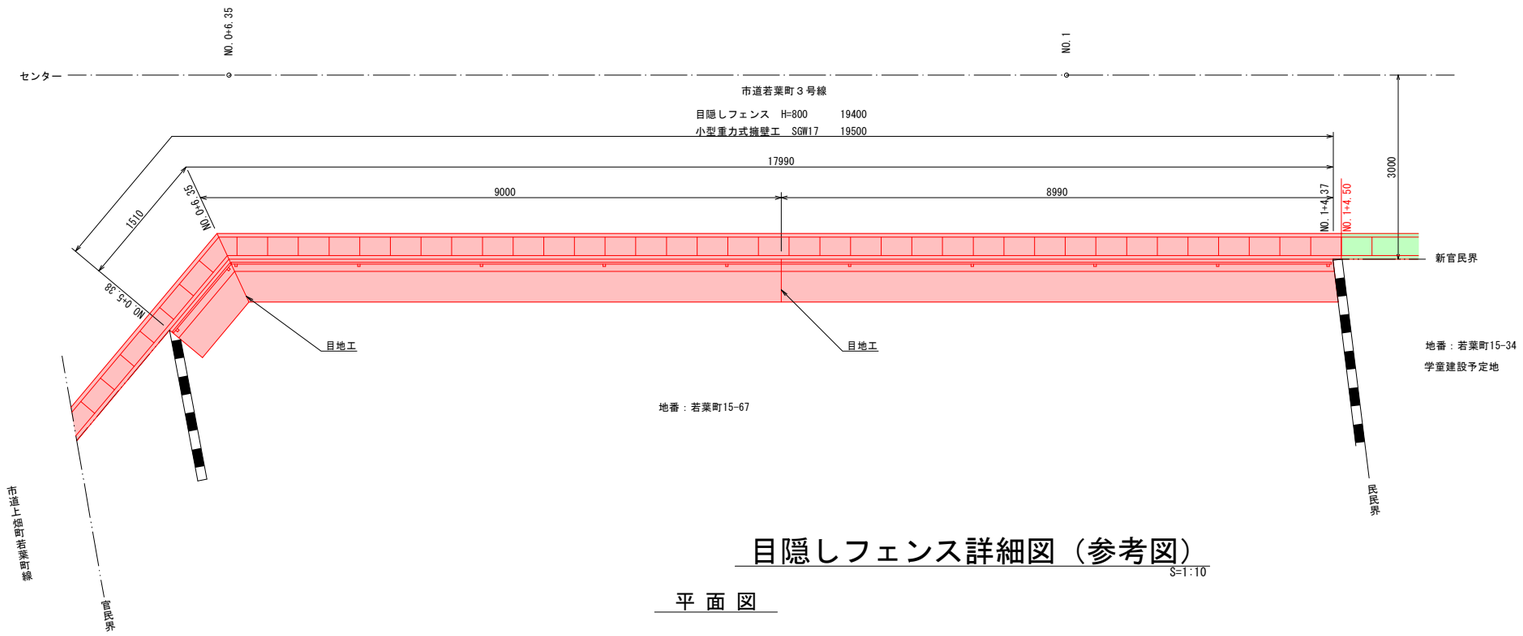


実施

令和8年度		図番	8葉6
路線名又は河川名	市道若葉町3号線		
工事名	市道上畑町若葉町線道路改良工事		
位置	鶴岡市上畑町・若葉町地内		
排水施設図(参考図)		1葉1	
縮尺	S=1:20	鶴岡市	

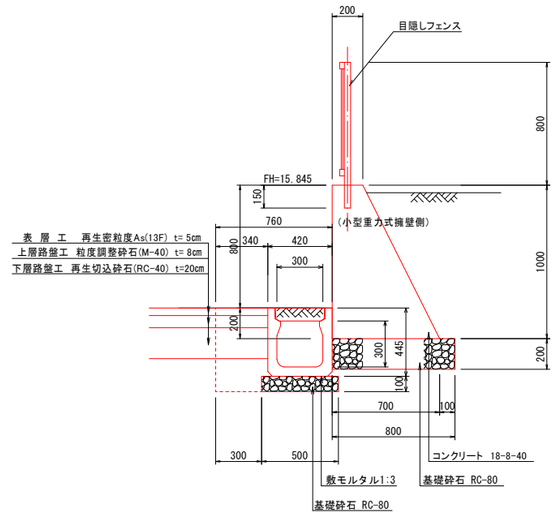
小 型 重 力 式 擁 壁 工 構 造 図

平 面 図
S=1:50



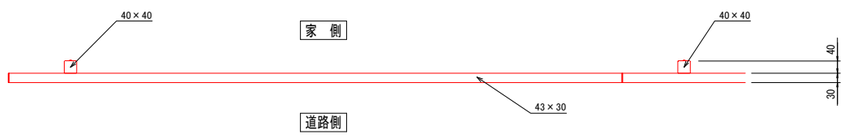
標準断面図
S=1:20

小型重力式擁壁工　SGW17

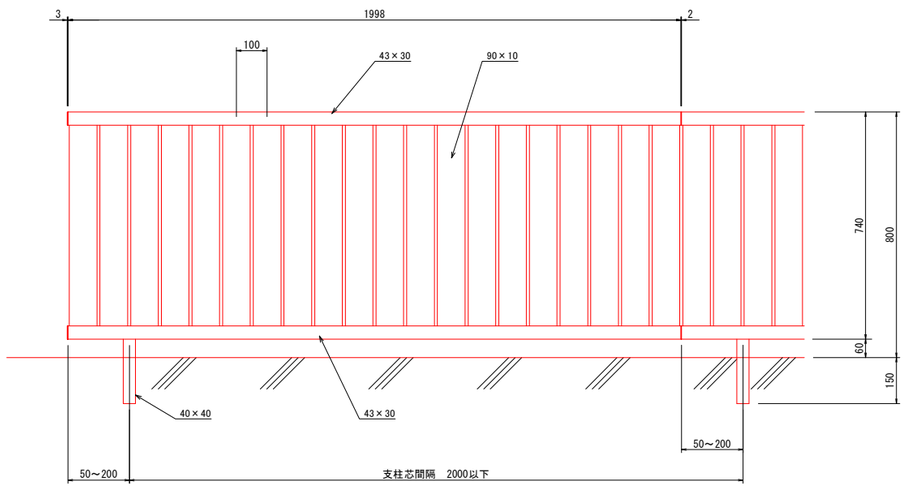


# 目隠しフェンス詳細図（参考図）
S=1:10

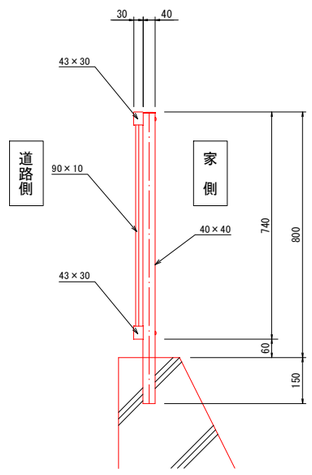
平 面 図



正 面 図



側 面 図



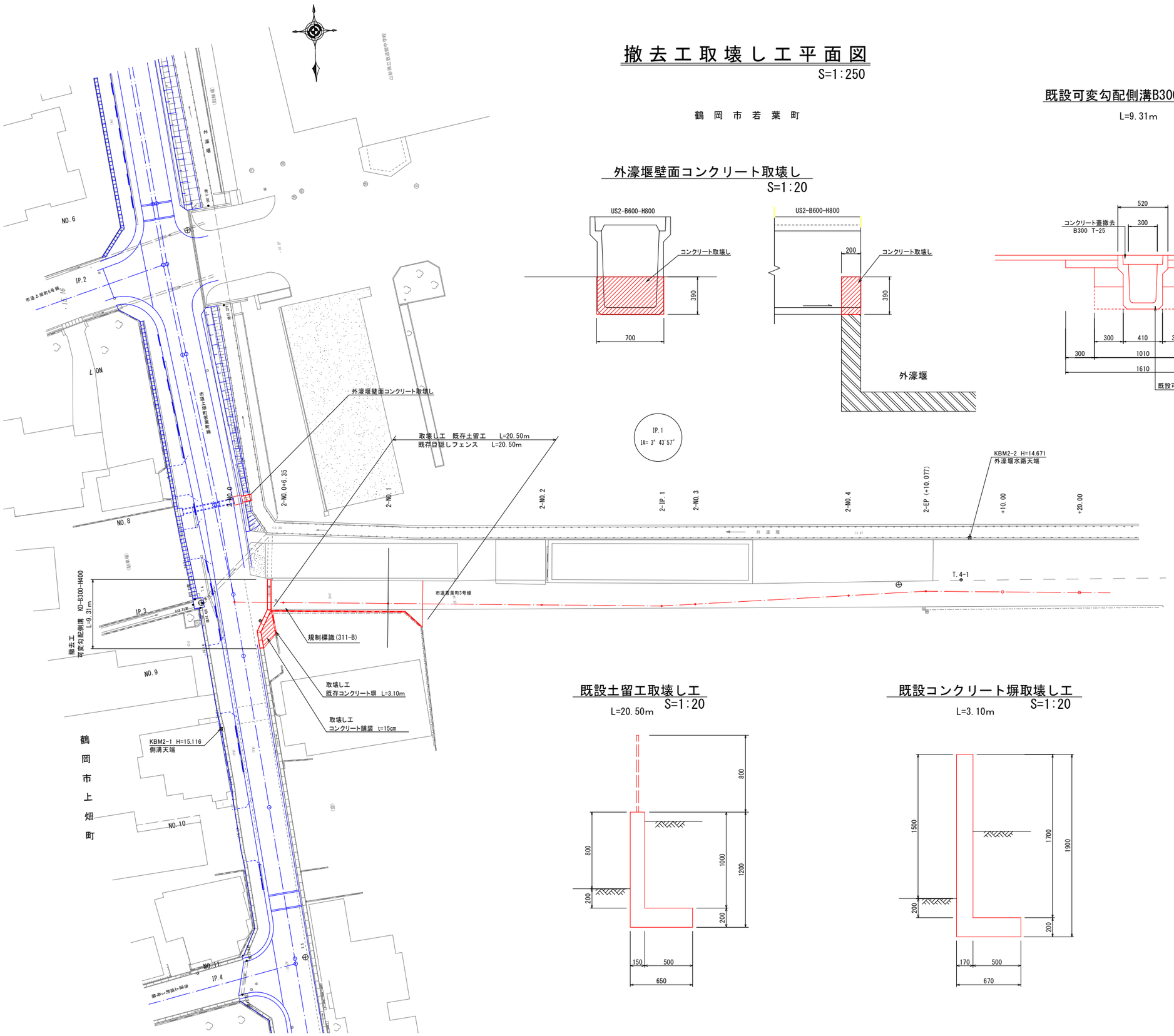
実施

令 和 8 年 度		図 番	8 葉 7
路線名又は河川名	市道若葉町3号線		
工 事 名	市道上畑町若葉町線道路改良工事		
位 置	鶴岡市上畑町・若葉町地内		
小型重力式擁壁工構造図 目隠しフェンス詳細図 (参考図)			1 葉 1
縮 尺	図 示	鶴 岡 市	

撤去工取壊し工平面図

S=1:250

鶴 岡 市 若 葉 町



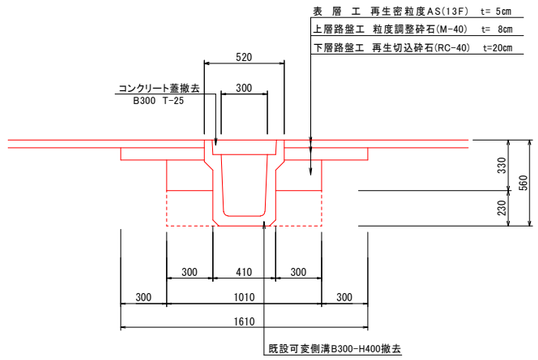
外濠堰壁面コンクリート取壊し

S=1:20

既設可変勾配側溝B300-H400撤去工

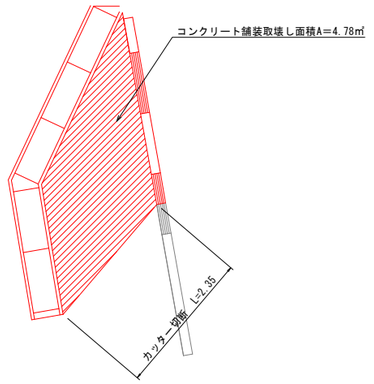
L=9.31m

S=1:20



コンクリート舗装取壊し工

S=1:50



既設土留工取壊し工

L=20.50m

S=1:20

既設コンクリート塀取壊し工

L=3.10m

S=1:20

特記事項

・指示標識の撤去移設については、公安委員会に依頼する。

・青色の計画線は、市道上畑町若葉町線の計画を示す。

実施

令 和 8 年 度		図 番	8 葉 8
路線名又は河川名	市道若葉町3号線		
工 事 名	市道上畑町若葉町線道路改良工事		
位 置	鶴岡市上畑町・若葉町地内		
撤去工取壊し平面図 1 葉 1			
縮 尺 図 示	鶴 岡 市		

見　積　参　考　資　料

工　事　名　　市道上畑町若葉町線道路改良工事

１）この「見積参考資料」は、対象工事の現場条件等を考慮し標準的な施工内容等を参考に示した資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工方法、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
２）この「見積参考資料」の有効期間は、この工事の入札日までとする。
３）原則として、各種補正や単価等の金額に関する質問には回答できません。

鶴岡市建設部土木課

第　1号　　1㎥当たり　　単価表

掘削

バックホウ 小規模

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
掘削	土砂、上記以外(小規模)、標準	㎥	1			
	土質:土砂 施工方法:上記以外(小規模) 施工数量:標準					
計						

第　2号　　1㎥当たり　　単価表

残土運搬処理

小規模

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
整地	残土受入れ地での処理	㎥	1			
	作業区分:残土受入れ地での処理					
土砂等運搬	小規模、ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.28m3(平積0.2m3)、土砂(岩塊・玉	㎥	1			
	土砂等発生現場:小規模 積込機種・規格:ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.28m3(平積0.2m3) 土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)					
	DID区間の有無:有り 運搬距離:9.0km以下					
計						

第　3号　　1㎡当たり　　単価表

法面整形

切土部

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
法面整形	切土部、無し、ﾚｷ質土､砂及び砂質土､粘性土	㎡	1			
	整形箇所:切土部 現場制約の有無:無し 土質:ﾚｷ質土､砂及び砂質土､粘性土					
計						

第　4号　　1㎡当たり　　単価表

基面整正

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
基面整正		㎡	1			
計						

第　5号　　1㎡当たり　　単価表

基礎砕石

RC-80 t=100

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
基礎砕石	7.5cmを超え12.5cm以下	㎡	1			
	砕石の厚さ:7.5cmを超え12.5cm以下					
計						

第　6号　　10㎡当たり　　単価表

型枠工

防草ｺﾝｸﾘｰﾄ

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
土木一般世話役		人				
型わく工		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式	1			
計						
１㎡当たり						

第　7号　　100㎡当たり　　単価表

ｺﾝｸﾘｰﾄ打設 防草ｺﾝｸﾘｰﾄ

人力打設 目地材設置有

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
生ｺﾝｸﾘｰﾄ	18-8-40　W/C≦60　高炉	㎥	12.1			
諸雑費		式	1			
計						
１㎡当たり						

第　8号　　1㎥当たり　　単価表

床堀

バックホウ 0.45㎥

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
床掘り	土砂、平均施工幅1m以上2m未満、無し、無し	㎥	1			
	土質:土砂 施工方法:平均施工幅1m以上2m未満 土留方式の種類:無し					
	障害の有無:無し					
計						

第　9号　　1㎥当たり　　単価表

埋戻工

バックホウ 0.45㎥

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
埋戻し	最大埋戻幅1m未満	㎥	1			
	施工方法:最大埋戻幅1m未満					
計						

第　10号　　1㎥当たり　　単価表

購入土　再利用土砂

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
再利用土砂	CBR≧12%,庄内	㎥	1			
計						

第　11号　　1㎥当たり　　単価表

残土運搬処理

バックホウ 0.45㎥

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
土砂等運搬	標準、ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.45m3(平積0.35m3)、土砂(岩塊・玉	㎥	1			
	土砂等発生現場:標準 積込機種・規格:ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.45m3(平積0.35m3) 土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)					
	DID区間の有無:有り 運搬距離:9.0km以下					
整地	残土受入れ地での処理	㎥	1			
	作業区分:残土受入れ地での処理					
計						

第　12号　　1㎡当たり　　単価表

基面整正

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
基面整正		㎡	1			
計						

第　13号　　10m当たり　　単価表

防音側溝

B300×H300×L2000　1000kg/個以下 基礎砕石

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
防音側溝	B300×H300	個	5			
再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ	粒径0～80㎜(無規格品)	m^3	0.6			
排水構造物工 昼間 U型側溝	L2000 1000kg以下 制約無	m	10			
計						
１ｍ当たり						

第　14号　　10m当たり　　単価表

防音勾配調整側溝

B500×H600×L2000　1000kg/個以下 制約無,基礎砕石

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
防音勾配調整側溝 3種 T-25	500×600×2000 W=755kg	本	5			
再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ	粒径0～80mm(無規格品)	m^3	0.84			
排水構造物工 昼間 U型側溝	L2000 1000kg以下 制約無	m	10			
計						
１ｍ当たり						

第　15号　　10m当たり　　単価表

自由勾配側溝　　（縦断用）

600×800×2000㎜

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
自由勾配側溝　　（縦断用）	600×800×2000㎜	個	5			
再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ	粒径0～80㎜(無規格品)	㎥	1.02			
生ｺﾝｸﾘｰﾄ	21-8-25　W/C≦55　高炉	㎥	0.91			
排水構造物工 昼間 自由勾配側溝	L2000 1000kg以下 制約無	m	10			
計						
１ｍ当たり						

第　16号　　10m当たり　　単価表

鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄU型(落蓋式)

60×80×200cm(T-25t)

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄU型(落蓋式)	60×80×200cm(T-25t)	個	5			
再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ	粒径0～80mm(無規格品)	m^3	0.96			
排水構造物工 昼間 U型側溝	L2000 1000超2000kg以下 制約無	m	10			
計						
１ｍ当たり						

第　17号　　1枚当たり　　単価表

コンクリート蓋設置

防音側溝用　300用　(T-25)

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
防音側溝用ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋	300用　(T-25)	枚	1			
排水構造物工 昼間 蓋版	Co･鋼製 40kg/枚以下 制約無	枚	1			
計						

第　18号　　1枚当たり　　単価表

コンクリート蓋設置

防音側溝用　500用　(T-25)

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
防音側溝用ｺﾝｸﾘｰﾄ製蓋 T-25	500 W=69kg	枚	1			
排水構造物工 昼間 蓋版	Co･鋼製 40超170kg/枚以下 制約無	枚	1			
計						

第　19号　　1枚当たり　　単価表

コンクリート蓋設置

側溝蓋(落蓋式U型用) 60cm用 (T-25t)

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
側溝蓋(落蓋式U型用)	60cm用 L=50cm (T-25t)	個	1			
排水構造物工 昼間 蓋版	Co･鋼製 40超170kg/枚以下 制約無	枚	1			
計						

第　20号　　1枚当たり　　単価表

コンクリート蓋設置

自由勾配側溝用　600用　(T-25)

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
自由勾配側溝用コンクリート蓋	車道用 600用　長500	枚	1			
排水構造物工 昼間 蓋版	Co･鋼製 40超170kg/枚以下 制約無	枚	1			
計						

第　21号　　1枚当たり　　単価表

グレーチング蓋設置

防音側溝用　500用　(T-14)

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
防音側溝用鋼製蓋 T-14	500用 L=500 W=23.2kg	枚	1			
排水構造物工 昼間 蓋版	Co･鋼製 40kg/枚以下 制約無	枚	1			
計						

第　22号　　1m当たり　　単価表

遠心ボックスカルバート設置

Ⅰ型　φ500×L2400　1440kg/本

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
鉄筋コンクリート台付管	据付、450㎜(350～500㎜)	m	1			
	作業区分:据付 管径:450㎜(350～500㎜)					
計						

第　23号　　1m当たり　　単価表

遠心ボックスカルバート設置

Ⅰ型　φ700×L2400　2590kg/本

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
鉄筋コンクリート台付管	据付、600㎜(600～800㎜)	m	1			
	作業区分:据付 管径:600㎜(600～800㎜)					
計						

第　24号　　1㎥当たり　　単価表

床堀

バックホウ 0.45㎥

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
床掘り	土砂、平均施工幅1m以上2m未満、無し、無し	㎥	1			
	土質:土砂 施工方法:平均施工幅1m以上2m未満 土留方式の種類:無し					
	障害の有無:無し					
計						

第　25号　　1㎥当たり　　単価表

埋戻工

バックホウ 0.45㎥

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
埋戻し	最大埋戻幅1m未満	㎥	1			
	施工方法:最大埋戻幅1m未満					
計						

第　26号　　1㎥当たり　　単価表

購入土

再利用土砂

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
再利用土砂	CBR≧12%,庄内	㎥	1			
計						

第　27号　　1㎥当たり　　単価表

残土運搬処理

バックホウ 0.45㎥

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
土砂等運搬	標準、ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.45m3(平積0.35m3)、土砂(岩塊・玉	㎥	1			
	土砂等発生現場:標準 積込機種・規格:ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.45m3(平積0.35m3) 土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)					
	DID区間の有無:有り 運搬距離:9.0km以下					
整地	残土受入れ地での処理	㎥	1			
	作業区分:残土受入れ地での処理					
計						

第　28号　　1㎡当たり　　単価表

基面整正

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
基面整正		㎡	1			
計						

第　29号　　1基当たり　　単価表

H型ボラード基礎設置

400×400×500

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
H型ボラード基礎設置	据付　400×400×500	基	1			
	作業区分:据付 製品質量(kg/基):80kgを超え200kg以下 基礎砕石の有無:有り					
H型ボラード基礎	400×400×500	基	1			
計						

第　30号　　1本当たり　　単価表

H型ボラード設置

コンクリート基礎式　二重管　無

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
H型ボラード	コンクリート基礎式	本	1			
横断･転落防止柵設置工(Ｃｏ建込用)	門型､支柱間隔3m	m	1.5			第 112号単価表
計						

第　31号　　1m当たり　　単価表

ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ撤去工（土中建込、耐雪型）

Gr-A3･B3･C2-3E

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ撤去工（土中建込、耐雪型）	Gr-A3･B3･C2-3E	m	1			
計						

第　32号　　1m当たり　　単価表

ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ設置工（土中建込、耐雪型）

塗装品 Gr-C2-3E、直線部,手間のみ

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ設置工（土中建込、耐雪型）	塗装品 Gr-C3-2E	m	1			
ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ材料費控除	塗装品 Gr-C-4E	m	1			
計						

第　33号　　1m当たり　　単価表

ガードパイプ撤去工

門型 支柱間隔3m

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
横断･転落防止柵撤去工（ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ Ｃｏﾌﾞﾛｯｸ建込用）	門型 支柱間隔3m	m	1			
計						

第　34号　　1ｔ当たり　　単価表

スクラップ

ヘビーH2

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
スクラップ費	特級Ｂ　山形単価	t	1			
計						

第　35号　　1ｔ当たり　　単価表

現場発生品運搬

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
現場発生品及び支給品運搬	ﾄﾗｯｸﾍﾞｰｽﾄﾗｯｸ2t積、吊能力2.9t、有り	t	1			
	ﾄﾗｯｸ機種:ﾄﾗｯｸﾍﾞｰｽﾄﾗｯｸ2t積、吊能力2.9t DID区間の有無:有り 片道運搬距離(km):5.0km以下					
計						

第　36号　　1箇所当たり　　単価表

カーブミラー撤去再設置

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
標識柱･基礎撤去工（路側式､単柱式）	φ60.5～φ101.6	基	1			第 113号単価表
標識柱･基礎設置工（路側式､単柱式）	φ60.5～φ101.6	基	1			第 114号単価表
計						

第　37号　　1㎥当たり　　単価表

床堀

バックホウ 0.45㎥

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
床掘り	土砂、平均施工幅1m以上2m未満、無し、無し	㎥	1			
	土質:土砂 施工方法:平均施工幅1m以上2m未満 土留方式の種類:無し					
	障害の有無:無し					
計						

第　38号　　1㎥当たり　　単価表

埋戻し

バックホウ 0.45㎥

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
埋戻し	最大埋戻幅1m未満	㎥	1			
	施工方法:最大埋戻幅1m未満					
計						

第　39号　　1㎥当たり　　単価表

購入土

再利用土砂

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
再利用土砂	CBR≧12%,庄内	㎥	1			
計						

第　40号　　1㎥当たり　　単価表

残土運搬処理

バックホウ 0.45㎥

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
土砂等運搬	標準、ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.45m3(平積0.35m3)、土砂(岩塊・玉	㎥	1			
	土砂等発生現場:標準 積込機種・規格:ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.45m3(平積0.35m3) 土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)					
	DID区間の有無:有り 運搬距離:9.0km以下					
整地	残土受入れ地での処理	㎥	1			
	作業区分:残土受入れ地での処理					
計						

第　41号　　1m当たり　　単価表

舗装版切断

ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版、15cm以下	m	1			
	舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚:15cm以下					
計						

第　42号　　1㎡当たり　　単価表

舗装版破砕

ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版、無し、不要、15cm以下	㎡	1			
	舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 障害等の有無:無し 騒音振動対策:不要					
	舗装版厚:15cm以下					
計						

第　43号　　1㎥当たり　　単価表

殻運搬処理

アスファルト殻

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
殻運搬	舗装版破砕、機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下)、有り、10	㎥	1			
	殻発生作業:舗装版破砕 積込工法区分:機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) DID区間の有無:有り					
	運搬距離:10.5km以下					
ｱｽﾌｧﾙﾄ塊処分費	(鶴岡建設)	㎥	1			
計						

第　44号　　1㎥当たり　　単価表

構造物とりこわし工(機械施工) 昼間

無筋構造物 制約無,低騒音・低振動対策不要

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
構造物とりこわし工 昼間	無筋構造物 機械施工 制約無	㎥	1			
計						

第　45号　　1㎥当たり　　単価表

殻運搬処理

コンクリート殻　無筋構造物

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし、機械積込、無し、8.0km以下	㎥	1			
	殻発生作業:ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし 積込工法区分:機械積込 DID区間の有無:無し					
	運搬距離:8.0km以下					
ｺﾝｸﾘｰﾄ塊処分費	無筋(田川砂利工業)	㎥	1			
計						

第　46号　　1㎥当たり　　単価表

構造物とりこわし工(機械施工) 昼間

鉄筋構造物 制約無,低騒音・低振動対策不要

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
構造物とりこわし工 昼間	鉄筋構造物 機械施工 制約無	㎥	1			
計						

第　47号　　1㎥当たり　　単価表

殻運搬処理

コンクリート殻　鉄筋構造物

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし、機械積込、無し、8.0km以下	㎥	1			
	殻発生作業:ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし 積込工法区分:機械積込 DID区間の有無:無し					
	運搬距離:8.0km以下					
ｺﾝｸﾘｰﾄ塊処分費	鉄筋(田川砂利工業)	㎥	1			
計						

第　48号　　1㎡当たり　　単価表

不陸整正

粒調砕石　M-40 t=2cm

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
不陸整正	有り、16㎜以上22㎜未満	㎡	1			
	補足材料の有無:有り 補足材料平均厚さ:16㎜以上22㎜未満					
計						

第　49号　　1㎡当たり　　単価表

下層路盤工

RC-40　t =20ｃｍ

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
下層路盤（歩道部）	実数入力、1層施工	㎡	1			
	全仕上り厚:実数入力 施工区分:1層施工					
計						

第　50号　　1㎡当たり　　単価表

上層路盤工

M-40　t =8ｃｍ

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
上層路盤（歩道部）	実数入力、1層施工	㎡	1			
	全仕上り厚:実数入力 施工区分:1層施工					
計						

第　51号　　1㎡当たり　　単価表

表層工

再生密粒度As(13F)　t=5ｃｍ

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
表層（車道・路肩部）	3.0m超、再生密１３Ｆ　プライムコート	㎡	1			
	平均幅員:3.0m超 1層当り平均仕上り厚:実数入力 材料:各種(2.30以上2.40t/m3未満)					
	瀝青材料種類:ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3					
計						

第　52号　　1　当たり　　単価表

不陸整正

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
不陸整正	有り、16㎜以上22㎜未満	㎡	1			
	補足材料の有無:有り 補足材料平均厚さ:16㎜以上22㎜未満					
計						

第　53号　　1㎡当たり　　単価表

路盤

RC-40 t=10cm

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
下層路盤（歩道部）	実数入力、1層施工	㎡	1			
	全仕上り厚:実数入力 施工区分:1層施工					
計						

第　54号　　1㎡当たり　　単価表

表層

再生細粒度As(13) t=3cm

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
表層（歩道部）	1.4m以上、実数入力、各種(2.20以上2.30t/m3未満)、ﾌﾟ	㎡	1			
	平均幅員:1.4m以上 1層当り平均仕上り厚:実数入力 材料:各種(2.20以上2.30t/m3未満)					
	瀝青材料種類:ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3					
計						

第　55号　　1㎡当たり　　単価表

下層路盤工

RC-40　t =15ｃｍ

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
下層路盤（歩道部）	実数入力、1層施工	㎡	1			
	全仕上り厚:実数入力 施工区分:1層施工					
計						

第　56号　　1㎡当たり　　単価表

上層路盤工

M-40　t =10ｃｍ

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
上層路盤（歩道部）	実数入力、1層施工	㎡	1			
	全仕上り厚:実数入力 施工区分:1層施工					
計						

第　57号　　1㎡当たり　　単価表

表層工

再生密粒度As(13F) t=5cm

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
表層（車道・路肩部）	1.4m以上3.0m以下、実数入力、各種(2.30以上2.40t/m3	㎡	1			
	平均幅員:1.4m以上3.0m以下 1層当り平均仕上り厚:実数入力 材料:各種(2.30以上2.40t/m3未満)					
	瀝青材料種類:ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3					
計						

第　58号　　100㎡当たり　　単価表

再加熱式舗装

アートフレーム工法参考（型押し無）

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
労務費						
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
材料費						
エポキシ強化アクリル樹脂		ℓ	85			
機械運転費						
小型樹脂散布装置		日				
空気圧縮機(電動ｺﾝﾌﾟﾚｯｻ)賃料	3.7㎥/分	日				
発動発電機(ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ駆動)賃料	15ｋVA	日				
軽　油	1.2号	ℓ	8.4			
運搬経費		式	1			
諸雑費		式	1			

第　58号　　100㎡当たり　　単価表

再加熱式舗装

アートフレーム工法参考（型押し無）

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
計						
1 ㎡当たり						

第　59号　　1,000ｍ当たり　　単価表

区画線工 ﾍﾟｲﾝﾄ式(車載式) 昼間 豪雪補正無

実線 15cm 制約無,供用区間

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
区画線工 昼間 除豪雪地	ﾍﾟｲﾝﾄ式(車載式)実線 15cm 制約無	m	1,000			
ﾄﾗﾌｨｯｸﾍﾟｲﾝﾄ(加熱型)	2種A 水性型 白	ℓ	70			
ｶﾞﾗｽﾋﾞｰｽﾞ	JIS R 3301 1号	kg	59			
軽　油	1.2号	ℓ	33			
諸雑費		式	1			
計						
１ｍ当たり						

第　60号　　1,000ｍ当たり　　単価表

区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正無

実線 15cm 制約無,排水性舗装でない,供用区間

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
区画線工 昼間 除豪雪地	溶融式(手動) 実線 15cm 制約無	m	1,000			
ﾄﾗﾌｨｯｸﾍﾟｲﾝﾄ(溶融型)	3種1号 ﾋﾞｰｽﾞ含有量15～18% 白	kg	390			
ｶﾞﾗｽﾋﾞｰｽﾞ	JIS R 3301 1号	kg	25			
接着用ﾌﾟﾗｲﾏｰ	区画線用	kg	25			
軽　油	1.2号	ℓ	40			
諸雑費		式	1			
計						
１ｍ当たり						

第　61号　　1箇所当たり　　単価表

ﾎﾟﾝﾌﾟ設置･撤去

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)運転費(ｸﾚｰﾝ機能付)	標準型･超低騒音型 排対	日				
諸雑費		式	1			
計						

第　62号　　日当たり　　単価表

ﾎﾟﾝﾌﾟ運転工(作業時)

0≦排水量＜120㎥/h, 全揚程10m

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
特殊作業員		人				
工事用水中ﾎﾟﾝﾌﾟ運転費(作業時排水)	普通型(潜水ﾎﾟﾝﾌﾟ)	日				
発動発電機運転費(作業時排水)	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ駆動・超低騒音型 排対	日				
諸雑費		式	1			
計						

第　63号　　1人当たり　　単価表

交通誘導警備員

交通誘導警備員Ｂ

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
交通誘導警備員Ｂ		人				
計						

第　64号　　1㎥当たり　　単価表

掘削工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
掘削	土砂、ｵｰﾌﾟﾝｶｯﾄ、無し、無し、5,000m3未満	㎥	1			
	土質:土砂 施工方法:ｵｰﾌﾟﾝｶｯﾄ 押土の有無:無し					
	障害の有無:無し 施工数量:5,000m3未満					
計						

第　65号　　1㎥当たり　　単価表

床掘

バックホウ　0.80㎥

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
床掘り	土砂、標準、無し、無し	㎥	1			
	土質:土砂 施工方法:標準 土留方式の種類:無し					
	障害の有無:無し					
計						

第　66号　　1㎥当たり　　単価表

埋戻工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
埋戻し	最大埋戻幅1m未満	㎥	1			
	施工方法:最大埋戻幅1m未満					
計						

第　67号　　1㎥当たり　　単価表

残土運搬処理

運搬・整地

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
土砂等運搬	標準、ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.8m3(平積0.6m3)、土砂(岩塊・玉石混	㎥	1			
	土砂等発生現場:標準 積込機種・規格:ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.8m3(平積0.6m3) 土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)					
	DID区間の有無:有り 運搬距離:8.5km以下					
整地	残土受入れ地での処理	㎥	1			
	作業区分:残土受入れ地での処理					
計						

第　68号　　1㎥当たり　　単価表

床掘

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
床掘り	土砂、平均施工幅1m以上2m未満、無し、無し	㎥	1			
	土質:土砂 施工方法:平均施工幅1m以上2m未満 土留方式の種類:無し					
	障害の有無:無し					
計						

第　69号　　1㎥当たり　　単価表

埋戻し

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
埋戻し	最大埋戻幅1m未満	㎥	1			
	施工方法:最大埋戻幅1m未満					
計						

第　70号　　1㎥当たり　　単価表

残土運搬処理

運搬・整地

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
土砂等運搬	標準、ﾊﾞｯｸﾎｳ山積1.4m3(平積1.0m3)、土砂(岩塊・玉石混	㎥	1			
	土砂等発生現場:標準 積込機種・規格:ﾊﾞｯｸﾎｳ山積1.4m3(平積1.0m3) 土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)					
	DID区間の有無:有り 運搬距離:2.5km以下					
整地	残土受入れ地での処理	㎥	1			
	作業区分:残土受入れ地での処理					
計						

第　71号　　1㎡当たり　　単価表

基面整正

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
基面整正		㎡	1			
計						

第　72号　　10m当たり　　単価表

防音側溝設置工（L=2000㎜）昼間

B300×H300×L2000

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
防音側溝	B300×H300	個	5			
再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ	粒径0～80㎜(無規格品)	m^3	0.6			
排水構造物工 昼間 U型側溝	L2000 1000kg以下 制約無	m	10			
計						
１ｍ当たり						

第　73号　　10m当たり　　単価表

防音勾配調整側溝設置工 T-25

B300×H400×L2000

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
防音勾配調整側溝 3種 T-25	300×400×2000 W=398kg	本	5			
再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ	粒径0～80mm(無規格品)	m^3	0.6			
排水構造物工 昼間 U型側溝	L2000 1000kg以下 制約無	m	10			
計						
１ｍ当たり						

第　74号　　1㎥当たり　　単価表

勾配調整コンクリート

21-8-25

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
コンクリート	無筋・鉄筋構造物、人力打設、21-8-25(高炉)、一般養生、無し	㎥	1			
	構造物種別:無筋・鉄筋構造物 打設工法:人力打設 ｺﾝｸﾘｰﾄ規格:21-8-25(20)(高炉)					
	養生工の種類:一般養生 現場内小運搬の有無:無し					
計						

第　75号　　1枚当たり　　単価表

防音側溝用ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋
300用　(T-25)

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
防音側溝用ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋	300用　(T-25)	枚	1			
排水構造物工 昼間 蓋版	Co･鋼製 40kg/枚以下 制約無	枚	1			
計						

第　76号　　1枚当たり　　単価表

防音側溝用ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ
300用　(T-25)

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
防音側溝用ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ	300用　(T-25)	枚	1			
排水構造物工 昼間 蓋版	Co･鋼製 40kg/枚以下 制約無	枚	1			
計						

第　77号　　1㎡当たり　　単価表

型枠

一般型枠

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
型枠	一般型枠、鉄筋･無筋構造物	㎡	1			
	型枠の種類:一般型枠 構造物の種類:鉄筋･無筋構造物					
計						

第　78号　　1㎥当たり　　単価表

コンクリート

18-8-40

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
コンクリート	無筋構造物　人力打設　18-8-40(高炉) 一般養生、無し	㎥	1			
	構造物種別:無筋・鉄筋構造物 打設工法:人力打設 ｺﾝｸﾘｰﾄ規格:18-8-40(高炉)					
	養生工の種類:一般養生 現場内小運搬の有無:無し					
計						

第　79号　　1㎡当たり　　単価表

不陸整正

粒調砕石 M-40 t=2cm

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
不陸整正	有り、16㎜以上22㎜未満	㎡	1			
	補足材料の有無:有り 補足材料平均厚さ:16㎜以上22㎜未満					
計						

第　80号　　1㎡当たり　　単価表

下層路盤工

RC-40　t=20cm

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
下層路盤（車道・路肩部）	RC-40　t=20cm 1層施工	㎡	1			
	全仕上り厚:実数入力 施工区分:1層施工					
計						

第　81号　　1㎡当たり　　単価表

上層路盤工

M-40　t =8cm

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
上層路盤（車道・路肩部）	M-40　t =8cm 1層施工	㎡	1			
	材料:再生粒度調整砕石 M-40 全仕上り厚:実数入力 施工区分:1層施工					
計						

第　82号　　1㎡当たり　　単価表

表層工

再生密粒度アスコン(13Ｆ) t=5cm

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
表層（車道・路肩部）	3.0m超、実数入力、各種(2.30以上2.40t/m3未満)、ﾌﾟﾗ	㎡	1			
	平均幅員:3.0m超 1層当り平均仕上り厚:実数入力 材料:各種(2.30以上2.40t/m3未満)					
	瀝青材料種類:ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3					
計						

第　83号　　1㎡当たり　　単価表

路盤工

RC-40 t=10cm

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
下層路盤（歩道部）	実数入力、1層施工	㎡	1			
	全仕上り厚:実数入力 施工区分:1層施工					
計						

第　84号　　1㎥当たり　　単価表

表層工(コンクリート)

21-8-25 t=15cm

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
コンクリート	無筋･鉄筋構造物、人力打設、21-8-25(高炉)、一般養生	㎥	1			
	構造物種別:無筋･鉄筋構造物 打設工法:人力打設 ｺﾝｸﾘｰﾄ規格:21-8-25(20)(高炉)					
	養生工の種類:一般養生 現場内小運搬の有無:無し					
計						

第　85号　　1,000ｍ当たり　　単価表

区画線工 ﾍﾟｲﾝﾄ式(車載式) 昼間 豪雪補正有,
実線 15cm 制約無,供用区間

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
区画線工 昼間 豪雪地	ﾍﾟｲﾝﾄ式(車載式)実線 15cm 制約無	m	1,000			
ﾄﾗﾌｨｯｸﾍﾟｲﾝﾄ(加熱型)	2種A 水性型 白	ℓ	70			
ｶﾞﾗｽﾋﾞｰｽﾞ	JIS R 3301 1号	kg	59			
軽　油	1.2号	ℓ	33			
諸雑費		式	1			
計						
１ｍ当たり						

第　86号　　1m当たり　　単価表

舗装版切断

アスファルト舗装版　t=15ｃｍ以下

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版、15cm以下	m	1			
	舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚:15cm以下					
計						

第　87号　　1㎡当たり　　単価表

舗装版取壊し

15cm以下

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版、無し、不要、15cm以下	㎡	1			
	舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 障害等の有無:無し 騒音振動対策:不要					
	舗装版厚:15cm以下					
計						

第　88号　　1㎥当たり　　単価表

殻運搬処理

アスファルト殻

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
殻運搬	舗装版破砕、機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下)、有り、10	㎥	1			
	殻発生作業:舗装版破砕 積込工法区分:機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) DID区間の有無:有り					
	運搬距離:10.5km以下					
ｱｽﾌｧﾙﾄ塊処分費	(鶴岡建設)	㎥	1			
計						

第　89号　　1㎥当たり　　単価表

コンクリート取壊し

無筋構造物

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
構造物とりこわし工 昼間	無筋構造物 機械施工 制約無	㎥	1			
計						

第　90号　　1㎥当たり　　単価表

殻運搬処理

コンクリート殻　無筋構造物

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
積込（ルーズ）	土砂、土量50,000m3未満	㎥	1			
	土質:土砂 作業内容:土量50,000m3未満					
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし、機械積込、有り、5.7km以下	㎥	1			
	殻発生作業:ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし 積込工法区分:機械積込 DID区間の有無:有り					
	運搬距離:5.7km以下					
ｺﾝｸﾘｰﾄ塊処分費	無筋(田川砂利工業)	㎥	1			
計						

第　91号　　1㎥当たり　　単価表

構造物とりこわし工(機械施工) 昼間

鉄筋構造物 制約無,低騒音・低振動対策不要

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
構造物とりこわし工 昼間	鉄筋構造物 機械施工 制約無	㎥	1			
計						

第　92号　　1㎥当たり　　単価表

殻運搬処理

コンクリート殻　鉄筋構造物

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
積込（ルーズ）	土砂、土量50,000m3未満	㎥	1			
	土質:土砂 作業内容:土量50,000m3未満					
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし、機械積込、有り、5.7km以下	㎥	1			
	殻発生作業:ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし 積込工法区分:機械積込 DID区間の有無:有り					
	運搬距離:5.7km以下					
ｺﾝｸﾘｰﾄ塊処分費	鉄筋(田川砂利工業)	㎥	1			
計						

第　93号　　100m当たり　　単価表

フェンス撤去

H=800㎜

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
支柱撤去		本	50			第 115号単価表
フェンス撤去		m	100			第 116号単価表
計						
１ｍ当たり						

第　94号　　1ｔ当たり　　単価表

スクラップ

アルミ　込みガラ

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
スクラップ	アルミ　込みガラ	t	1			
計						

第　95号　　1ｔ当たり　　単価表

現場発生品運搬

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
現場発生品及び支給品運搬	ﾄﾗｯｸﾍﾞｰｽﾄﾗｯｸ2t積、吊能力2.9t、有り	t	1			
	ﾄﾗｯｸ機種:ﾄﾗｯｸﾍﾞｰｽﾄﾗｯｸ2t積、吊能力2.9t DID区間の有無:有り 片道運搬距離(km):5.0km以下					
計						

第　96号　　1基当たり　　単価表

標識柱･基礎撤去工（路側式、単柱式）

φ60.5～φ101.6

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
標識柱撤去（路側式）	単柱式	基	1			
計						

第　97号　　1基当たり　　単価表

標識柱･基礎設置工（路側式、単柱式）

φ60.5（下地亜鉛ﾒｯｷ+静電粉体塗装 白色),手間のみ

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
標識柱･基礎設置（路側式）	単柱式φ60.5（下地亜鉛ﾒｯｷ+静電粉体塗装 白色）	基	1			
標識柱材料費控除(路側式、単柱式)	φ60.5（下地亜鉛ﾒｯｷ+静電粉体塗装)	基	1			
計						

第　98号　　1㎡当たり　　単価表

基面整正

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
基面整正		㎡	1			
計						

第　99号　　1㎥当たり　　単価表

小型重力式擁壁

18-8-40

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
小型擁壁	0.8m以上1.0m以下、18-8-40(高炉)	㎥	1			
	擁壁平均高さ:0.8m以上1.0m以下 ｺﾝｸﾘｰﾄ規格:18-8-40(高炉) 基礎砕石の有無:有り					
	均しｺﾝｸﾘｰﾄの有無:無し 養生工の種類:一般養生・特殊養生(練炭)					
計						

第 100号　　1㎡当たり　　単価表

目地板

瀝青繊維質 t=10㎜

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
目地板	30m2未満	㎡	1			
	1工事当り使用量:30m2未満					
計						

第 101号　　100m当たり　　単価表

フェンス設置

H=800㎜

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
フェンス材料費		m	100			
支柱設置		本	50			第 117号単価表
フェンス設置(張立)		m	100			第 118号単価表
計						
１m当たり						

第 102号　　1ｔ当たり　　単価表

現場発生木材運搬処理

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
現場発生品及び支給品運搬	ﾄﾗｯｸﾍﾞｰｽﾄﾗｯｸ2t積、吊能力2.9t、有り	t	1			
	ﾄﾗｯｸ機種:ﾄﾗｯｸﾍﾞｰｽﾄﾗｯｸ2t積、吊能力2.9t DID区間の有無:有り 片道運搬距離(km):14.0km以下					
建設発生木材処分費	生木（枝葉）(㈱渡会電気土木田代工場)	t	1			
計						

第 103号　　1箇所当たり　　単価表

現場打ち集水桝

700×700×800

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
現場打ち集水桝（本体）	18-8-40(高炉)、0.55m3を超え0.58m3以下、ﾊﾞｯｸﾎ	箇所	1			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格:18-8-40(高炉) 1箇所当りｺﾝｸﾘｰﾄ使用量:0.55m3を超え0.58m3以下 ｺﾝｸﾘｰﾄ打設工法:ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設					
	養生工の種類:一般養生・特殊養生(練炭)					
計						

第 104号　　1枚当たり　　単価表

桝蓋設置工

グレーチング蓋 700×700用 T-14t

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
正方形桝蓋（落し込式 受枠共）	T-14　700×700用 819×820㎜	枚	1			
排水構造物工 昼間 蓋版	Co･鋼製 40超170kg/枚以下 制約無	枚	1			
計						

第 105号　　1㎥当たり　　単価表

調整コンクリート

18-8-40

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
コンクリート	無筋構造物 人力打設 18-8-40(高炉) 一般養生、無し	㎥	1			
	構造物種別:無筋・鉄筋構造物 打設工法:人力打設 ｺﾝｸﾘｰﾄ規格:18-8-40(高炉)					
	養生工の種類:一般養生 現場内小運搬の有無:無し					
計						

第 106号　　1箇所当たり　　単価表

現場打ち集水桝

900×900×700

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）	18-8-40(高炉)、0.92m3を超え0.97m3以下、ﾊﾞｯｸﾎ	箇所	1			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格:18-8-40(高炉) 1箇所当りｺﾝｸﾘｰﾄ使用量:0.92m3を超え0.97m3以下 ｺﾝｸﾘｰﾄ打設工法:ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設					
	養生工の種類:一般養生・特殊養生(練炭)					
計						

第 107号　　1枚当たり　　単価表

桝蓋設置工

グレーチング蓋 900×900用 T-14t

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
正方形桝蓋（落し込式 受枠共）	T-14　900×900用 995×1000㎜	枚	1			
排水構造物工 昼間 蓋版	Co･鋼製 40超170kg/枚以下 制約無	枚	1			
計						

第 108号　　1㎥当たり　　単価表

調整コンクリート

18-8-40

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
コンクリート	無筋構造物 人力打設 18-8-40(高炉) 一般養生、無し	㎥	1			
	構造物種別:無筋・鉄筋構造物 打設工法:人力打設 ｺﾝｸﾘｰﾄ規格:18-8-40(高炉)					
	養生工の種類:一般養生 現場内小運搬の有無:無し					
計						

第 109号　　1基当たり　　単価表

プレキャスト集水桝(第2-1号～第2-3号集水桝)

800×800×1000

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
プレキャスト集水桝	据付、1200kgを超え1600kg以下、有り	基	1			
	作業区分:据付 製品質量(kg/基):1200kgを超え1600kg以下 基礎砕石の有無:有り					
プレキャスト集水桝	B800-H1000	基	1			
計						

第 110号　　1枚当たり　　単価表

正方形桝蓋設置

800×800用 T-25

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
正方形桝蓋（落し込式 受枠共）	T-25t 800×800用 890×900㎜	枚	1			
排水構造物工 昼間 蓋版	Co･鋼製 40超170kg/枚以下 制約無	枚	1			
計						

第 111号　　1㎥当たり　　単価表

調整コンクリート

18-8-40

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
コンクリート	無筋構造物 人力打設 18-8-40(高炉) 一般養生、無し	㎥	1			
	構造物種別:無筋・鉄筋構造物 打設工法:人力打設 ｺﾝｸﾘｰﾄ規格:18-8-40(高炉)					
	養生工の種類:一般養生 現場内小運搬の有無:無し					
計						

第 112号　　1m当たり　　単価表

横断･転落防止柵設置工(Ｃｏ建込用)

門型、支柱間隔3m

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
横断･転落防止柵設置工（Ｃｏ建込用）	門型 支柱間隔3m	m	1			
計						

第 113号　　1基当たり　　単価表

標識柱･基礎撤去工（路側式、単柱式）

φ60.5～φ101.6

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
標識柱撤去（路側式）	単柱式	基	1			
計						

第 114号　　1基当たり　　単価表

標識柱･基礎設置工（路側式、単柱式）

φ60.5～φ101.6

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
標識柱撤去（路側式）	単柱式	基	1			
計						

第 115号　　100本当たり　　単価表

支柱撤去

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
計						
１本当たり						

第 116号　　100m当たり　　単価表

フェンス撤去

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
計						
１ｍ当たり						

第 117号　　100本当たり　　単価表

支柱設置

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式	1			
計						
１本当たり						

第 118号　　100m当たり　　単価表

フェンス設置(張立)

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
計						
１ｍ当たり						